

目次

フラッシュ・TAIKYO

ごあいさつ 祝辞

第1章 体育協会の沿革と現況	1	22. 特定非営利活動法人磐田剣道連盟	50
第2章 組織図	3	23. 磐田合気道クラブ	52
役員名簿 (H30年度)	4	24. 磐田市インディアカ協会	54
役員の変遷 (H22~H30)	5	25. 磐田トライアスロンクラブ	56
加盟団体一覧表	7	26. 磐田サーフィンクラブ	57
第3章 加盟団体の紹介		27. 少年野球磐田支部	58
① 競技団体		28. 磐田ファミリーバドミントン協会	60
1. 磐田市陸上協会	10	29. 磐田ボディビル・フィットネス連盟	62
2. 磐田市バレーボール協会	12	30. 磐田ビーチサッカー振興協会	64
3. 磐田卓球協会	14	31. 磐田武道協会	66
4. 野球連盟磐田支部	16	② 地区体育部	
5. 野球連盟福田支部	18	1. 岩田地区	67
6. 磐田サッカー協会	19	2. 大藤地区	68
7. 磐田市空手道連盟	20	3. 向笠地区	69
8. 磐田山の会	22	4. 田原地区	70
9. 磐田バスケットボール協会	24	5. 御厨地域づくり協議会	71
10. 磐田市テニス協会	26	6. 南御厨地域づくり協議会	72
11. 磐田市ソフトテニス協会	28	7. 西貝地区	73
12. 磐田市バウンドテニス協会	30	8. 南地区	74
13. 磐田市ソフトボール協会	32	9. 長野地域づくり協議会	75
14. 磐田弓道協会	34	10. 見付地域づくり協議会	76
15. 磐田バドミントン協会	36	11. 中泉地区	77
16. 磐田市水泳協会	38	12. 福田地区	78
17. 磐田市相撲連盟	40	13. 竜洋地区	79
18. 磐田市アーチェリー協会	42	14. 豊田地区	80
19. 磐田市ラグビーフットボール協会	44	15. 豊岡地区	81
20. 磐田市グラウンド・ゴルフ協会	46	③ スポーツ少年団	
21. 磐田ボクシング協会	48	1. 青城ジュニアフットボールクラブスポーツ少年団	82

2. 豊田南サッカースポーツ少年団	83	32. 磐田天理空手道場スポーツ少年団	113
3. 豊田ジュニアフットボールクラブスポーツ少年団	84	33. 公益社団法人日本空手協会大空塾	114
4. 磐田豊岡JFCスポーツ少年団	85	34. 磐田松涛館スポーツ少年	115
5. 福田サッカースポーツ少年団	86	35. 見付バレーボールクラブスポーツ少年団	116
6. 竜洋FCスポーツ少年団	87	36. 磐田東部バレーボールクラブスポーツ少年団	117
7. 田原フットボールクラブスポーツ少年団	88	37. 竜洋VSCスポーツ少年団	118
8. FCポールスター磐田	89	38. 福田バレーボールスポーツ少年団	119
9. 磐田第一ジュニアフットボールスポーツ少年団	90	39. 豊岡JVCスポーツ少年団	120
10. テンマサッカークラブスポーツ少年団	91	40. 磐田向陽スポーツ少年団	121
11. ASKAサッカークラブスポーツ少年団	92	41. 磐田豊田VSCスポーツ少年団	122
12. 磐田南フットボールクラブスポーツ少年団	93	42. 福田ミニバススポーツ少年団	123
13. バディF・Cスポーツ少年団	94	43. 福田スポーツサウンドクラブスポーツ少年団	124
14. 豊田クラブスポーツ少年団	95	44. 豊田北部少年剣道クラブスポーツ少年団	125
15. 豊田グリーンズスポーツ少年団	96	45. 豊田南部少年剣道クラブスポーツ少年団	126
16. 豊岡野球少年団	97	46. 福田剣道スポーツ少年団	127
17. 福田ベースボールクラブスポーツ少年団	98	47. 豊田柔道クラブスポーツ少年団	128
18. 福田本町スポーツ少年団	99	48. いわた体操クラブ	129
19. 新田野球スポーツ少年団	100	49. 竜洋西卓球スポーツ少年団	130
20. 竜洋野球スポーツ少年団	101	50. 豊田町卓球スポーツ少年団	131
21. 富士見スポーツ少年団	102	51. 龍池舎	132
22. 磐田見付北クラブスポーツ少年団	103	52. テニス（硬式）スポーツ少年団	133
23. 磐田スモールキング野球少年団	104	53. 磐田ソフトボールクラブ	134
24. 中泉クラブスポーツ少年団	105	54. MARIO FUTSAL SCHOOL/SANTOS FC SAJ IWATA	135
25. 磐田南クラブスポーツ少年団	106	55. 磐田タグラグビークラブ	136
26. 磐田東野球スポーツ少年団	107		
27. 磐田向陽ベースボールクラブ	108	第4章 体育賞に輝いた方々 (H21～H29)	138
28. 日本空手協会豊田支部スポーツ少年団	109	創立60周年記念特別表彰に輝いた方々	147
29. 竜洋空手スポーツ少年団	110		
30. 磐田空手道スポーツ少年団	111	編集後記	148
31. 修空会スポーツ少年団	112		



フラッシュ TAIKYO

ジュビロ磐田 メモリアルマラソン



第21回 ジュビロ磐田メモリアルマラソン エントリー人数 11,078人



第20回出場者記念品



第20回 ジュビロ磐田メモリアルマラソン エントリー人数 11,354人



第19回 ジュピロ磐田メモリアルマラソン エントリー人数 11,089人



第18回 ジュピロ磐田メモリアルマラソン エントリー人数 11,116人



第17回
ジュビロ磐田
メモリアルマラソン

エントリー人数
10,636人



第16回
ジュビロ磐田
メモリアルマラソン

エントリー人数
10,521人



第15回 ジュビロ磐田メモリアルマラソン エントリー人数 10,171人



第14回
ジュビロ磐田
メモリアルマラソン

エントリー人数
7,458人



第13回
ジュビロ磐田
メモリアルマラソン

エントリー人数
5,370人



第12回 ジュビロ磐田メモリアルマラソン エントリー人数 4,768人

いわたスポレク 健康フェスティバル



第8回 いわたスポレク健康フェスティバル



第9回 いわたスポレク健康フェスティバル



第7回 いわたスポレク健康フェスティバル



第3回 いわたスポレク健康フェスティバル



第6回 いわたスポレク健康フェスティバル



第4回 いわたスポレク健康フェスティバル

磐田U-12 国際サッカー大会



平成28 磐田U-12国際サッカー大会



平成29 磐田U-12国際サッカー大会



平成30 磐田U-12国際サッカー大会

車いすツイン バスケットボール大会



第14回 車いすツインバスケット大会



第14回 車いすツインバスケット大会



第13回 車いすツインバスケット大会



第13回 車いすツインバスケット大会



第12回 車いすツインバスケット大会



第12回 車いすツインバスケット大会

磐田市5地区選抜 グラウンド・ゴルフ大会



第3回 磐田市5地区選抜グラウンド・ゴルフ大会



第2回 磐田市5地区選抜グラウンド・ゴルフ大会



第1回 磐田市5地区選抜グラウンド・ゴルフ大会



しずおか 市町対抗駅伝



第19回 静岡県市町対抗駅伝 市の部 6位

WE ♥ HOMETOWN

静岡新聞 SBS

スタートは、ふるさとから。

12.03 10:00 START!

2016 第17回 しずおか市町対抗駅伝

静岡新聞 電話 89-4311

静岡新聞社・静岡放送 提供



第18回 静岡県市町対抗駅伝 市の部 5位



第17回 静岡県市町対抗駅伝 市の部 5位



第16回 静岡県市町対抗駅伝 市の部 8位





第15回 静岡県市町対抗駅伝 市の部 9位



第14回 静岡県市町対抗駅伝 市の部 10位



第13回 静岡県市町対抗駅伝 市の部 10位



第12回 静岡県市町対抗駅伝 市の部 10位



第11回 静岡県市町対抗駅伝 市の部 7位



第10回 静岡県市町村対抗駅伝 市の部 8位

長藤マラソン大会



第37回 長藤マラソン大会 エントリー人数 1,024人



第36回 長藤マラソン大会 エントリー人数 979人



第35回 長藤マラソン大会 エントリー人数 1,101人



第34回 長藤マラソン大会 エントリー人数 1,027人



第33回 長藤マラソン大会 エントリー人数 903人



第32回 長藤マラソン大会 エントリー人数 893人



第31回 長藤マラソン大会 エントリー人数 831人



第30回 長藤マラソン大会 エントリー人数 691人



第29回 長藤マラソン大会 エントリー人数 619人



第28回 長藤マラソン大会 エントリー人数 419人

いかまい磐田 ふれあいウォーク



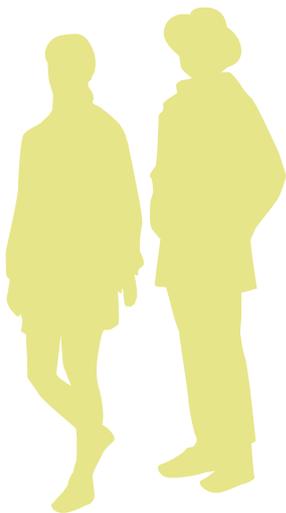
第14回 いかまい磐田ふれあいウォーク



第13回
いかまい磐田
ふれあいウォーク



第11回 いかまい磐田ふれあいウォーク



第10回 いかまい磐田ふれあいウォーク



第9回 いかまい磐田ふれあいウォーク

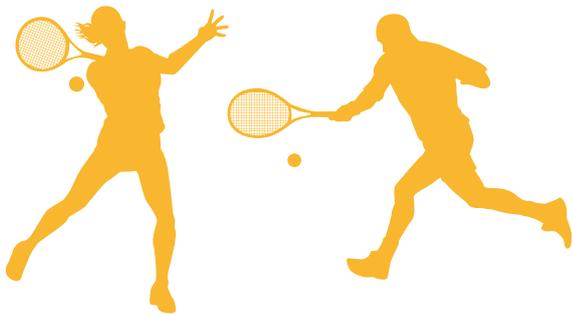
新施設



磐田アーチェリー場 平成30年4月



磐田卓球場(愛称 ラリーナ) 平成30年4月



磐田東大久保運動公園テニスコート 平成28年4月



磐田市竜洋体育センター 平成27年10月



NPO法人磐田市体育協会 体育史



ごあいさつ

河島 直明（NPO法人磐田市体育協会会長）

祝 辞

川勝 平太（財団法人静岡県体育協会会長）

渡部 修（磐田市長）

増田 暢之（磐田市議会議長）

村松 啓至（磐田市教育委員会教育長）



NPO法人磐田市体育協会 会長 河島 直明

NPO法人磐田市体育協会は、昭和22年7月、市民のスポーツに寄せる関心の高まりや教育活動の一環としてのスポーツの普及高揚のための組織化が求められ磐田町体育協会が設立されました。その後、23年に市制施行に伴い、24年9月磐田市体育協会と名称変更し70年という時を刻むこととなりました。

この間、歴代会長の卓越した見識と加盟競技団体、地域スポーツ組織、学校体育団体及び体育関係者のご尽力により確実に前進し足跡を刻んでまいりました。日夜、市民の体育の振興と体力の向上・健康の増進を図り、スポーツ精神を養うことを願う大きな成果を挙げていることは関係者の並々ならぬご支援の賜物と衷心より感謝申し上げます。

当体育協会は、平成13年にNPO法人格の取得、17年に市町村合併により体育協会の合併等大きな組織変更があり、平成20年指定管理制度のもと磐田市総合体育館外11施設、福田屋内スポーツセンター外13施設、東大久保公園外3施設の指定管理の応札、25年度より磐田市総合体育館外13施設の応札、27年度より(株)ジュビロ磐田と磐田スポーツ交流の里ゆめりあ球技場外5施設の応札、30年度より磐田市総合体育館外20施設の受託し、市民のスポーツ活動の環境整備に努めています。また、平成23年度より豊岡体育センター外、27年より竜洋体育センター、30年度からは磐田卓球場(ラリーナ)、磐田アーチェリー場の管理委託業務の受託もしています。

事業としては、長藤マラソン大会、ウォーキング大会、車いすツインバスケットボール大会、ジュビロ磐田メモリアルマラソン等を開催しています。また、27年合併10周年記念事業として磐田市5地区選抜グラウンドゴルフ大会が開催され現在も継続されています。そして、ジュビロ磐田と28年から、国内外から12チームによりU-12国際サッカー大会が盛大に開かれています。磐田市から受託されている静岡県市町対抗駅伝競走大会では、28年、29年と5位入賞を果たしております。

オリンピック・パラリンピック関係では、平成20年北京オリンピックには男子卓球の水谷隼選手、同パラリンピックに男子マラソンに新野正仁選手、平成24年ロンドンオリンピックに男子卓球の水谷隼選手が出場。そして、平成28年のリオオリンピックには、男子卓球に水谷隼選手が、女子卓球に伊藤美誠選手、陸上男子1600mリレーに加藤修也選手が出場し、水谷隼選手、伊藤美誠選手は名誉あるメダルを獲得致しました。このほか、サッカーのジュビロ磐田、なでしこ2部のポニータ、ラグビーのヤマハ発動機ジュビロの活躍、そして、剣道、卓球、水泳、陸上、アーチェリー、テニス等が全国大会に出場し活躍しています。

このような状況の中、静岡産業大学との協定の締結、県からの委託事業の磐田部活への協力、磐田市内中学校・高等学校の部活動に対する支援、シンボルマークの製作等、体育協会の活動の充実や組織の団結力の強化にも取り組んでまいりました。今後は、2019年のラグビーワールドカップ、2020年の東京オリンピックに向けて、体育の振興、競技力の向上に努めてまいります。

結びに、この記念誌は10年間の足跡を記録にとどめ、今後のさらなる飛躍に向けての貴重な資料になることを期待しております。原稿を執筆して戴いた多くの皆様、編集に携わって戴いた皆様に深く感謝を申し上げ、発刊のことばといたします。



公益財団法人静岡県体育協会 会長 川勝 平太

このたびは、特定非営利活動法人磐田市体育協会創立 70 周年にあたり、記念誌が発刊されますことは、誠に意義深く、心からお祝い申し上げます。

貴協会は昭和 24 年の創立以来、陸上、野球、柔道、テニス、水泳等多くのスポーツの普及・育成に力を注ぎ、県のトップレベルまでに押し上げ、競技力向上においても常に西部の雄として静岡スポーツ界を牽引してまいりました。その中でも、昭和 32 年、平成 15 年の静岡国体に企画・運営等に参画し、優れた選手を数多く輩出し、天皇杯獲得に多大なる貢献をされましたことは、特筆すべきことです。

平成 17 年の 5 市町村の合併では、磐田市、福田町、竜洋町、豊田町、豊岡村の各地区のスポーツ施設・活動推進体制の確立を掲げ、その後は各地区の特質を生かしながら、スポーツ振興をなされていることには尊敬の念を抱きます。その表れの一つが、37 回を数える「長藤マラソン大会」、平成 10 年からの「ジュピロ磐田メモリアルマラソン」、14 回を数える「いかまい磐田ふれあいウォーク」、そして「県内初の学校の枠を超えた部活動支援」などと思います。市内外にスポーツの魅力を発信し、競技力の向上と生涯スポーツの大切さを磐田市民に提供・共有されている取り組みは、市町体育協会の模範となり、貴協会の活力を示しています。その成果として静岡県市町対抗駅伝の上位入賞等に表れていると思います。

また、磐田市は古くからの文化遺産が多く、学問の神様で東海随一の見付天神、国史跡の旧見付学校、弥生から古墳時代の古墳群、国特別史跡の遠江国分寺跡等の史跡が数多く存在し、風格と落ち着きがある街並みを形づくり、歴史と文化を学ぶ場としては最適地の筆頭であります。この環境下で、スポーツと文化を内外に発信する磐田市は子供たちの成長を、オール磐田で育てています。その一翼を担っている貴協会は、大きな役割を果たしておられます。

2019 ラグビーワールドカップ、2020 東京オリンピック・パラリンピックが県内施設で開催され、各地区で文化プログラム等が実施されます。多くの市町・市町体協が参画されることと推察いたします。このような背景の中、磐田市における貴協会の立場はこれからも益々大きく、さらなる成長が期待されます。

終わりにあたり、これからも県西部地域にとどまらず全県下の市町体育協会の牽引役として、スポーツの振興にご尽力いただくことを願ってやみません。70 周年記念を機に、益々のご発展を祈念し、発刊に寄せる祝辞といたします。



磐
田
市
長
祝
辞

磐田市長 渡部 修

NPO法人磐田市体育協会が創立70周年という大きな節目を迎えられ、併せて記念誌を発行されますこと、心よりお祝い申し上げます。

貴協会におかれましては、昭和24年の創立以来、各種スポーツ教室やイベント、大会の開催など様々な活動を通じて、本市のスポーツの振興と発展、市民の健康増進に多大な貢献をされておりますことに深く感謝申し上げます。また、70年という長きにわたり活動を継続されてきたことは、歴代の会長、役員の皆様をはじめ多くの会員の皆様の努力と情熱の賜物と改めて敬意を表します。

この70年の間には協会のNPO法人化や社会体育施設の指定管理受託、新「磐田市」誕生に伴う5体育協会の合併など様々な転機があったかと思えます。その中でも貴協会は、着実に成果を残されてきました。特にサッカー J リーグで活躍するジュビロ磐田の選手が参加する「ジュビロ磐田メモリアルマラソン」は、開催20回を超え、全国各地から1万人以上のランナーが参加する本市を代表する大きなイベントとなりました。また、「車椅子ツインバスケットボール大会」や「グラウンドゴルフ大会」、近年では、海外からも多くの選手が来磐する「磐田U-12国際サッカー大会」なども開催され、多様で幅広い事業を手がけていただいております。このように磐田の特色を生かすとともに誰もが楽しめるスポーツイベントの開催を積極的に展開していただいていることを大変ありがたく思っております。

現在、磐田市はスポーツ交流健康都市宣言とともに「たくさんの元気と笑顔があふれるまち」を将来像に掲げ、人づくりや活気あるまちづくりに取り組んでおります。

その中で東大久保運動公園テニスコートの改修や卓球場「ラリーナ」、アーチェリー場の整備をはじめとする施設整備、ジュビロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦や中学生を対象とした磐田スポーツ部活などのソフト事業を通して、気軽にスポーツを楽しめる機会の創出を着実に進めているところです。

これからは市民一人ひとりが、生涯にわたり気軽にスポーツを楽しむこと、そしていつまでも健康に暮らすことが一層重要となってきます。市といたしましても、そのための環境整備に精一杯努めてまいりますので、貴協会におかれましても、引き続き市とともに「スポーツのまちづくり」を進めていただけるようお願い申し上げます。

結びに、貴協会のますますのご発展と、磐田市が誰もがスポーツを楽しみ、笑顔があふれるまちとなることを祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

磐田市議会議員長祝辞



磐田市議会議員長 増田 暢之

このたびNPO法人磐田市体育協会が創立70周年を迎えられましたことに心からお祝いを申し上げます。今日に至る経過を後世に引き継ぐことが出来る記念誌を発行されますことは、誠に感慨深く意義のあることであり市議会を代表して心からお慶びを申し上げます。

さて、一口に70周年と申しますが、その間、スポーツを取り巻く環境は紆余曲折もあり大きな変化がありました。少子高齢化の昨今、競技スポーツだけでなく、余暇時間の増大や生活様式の多様化から老若男女がスポーツに愛着を持ち親しむ姿勢が肝要であり、生涯スポーツとして健康維持やレクリエーションを目的として幅広く行われるようになりました。また、多くの体育施設が整備され、誰でも気軽にスポーツが出来る環境が整ってまいりました。

このような時代の風潮とともに、貴協会の振興と活動、そして歴史を重ねつつ今日に至っております。昭和22年の設立から、平成13年のNPO法人格取得当時から現在に至るまで、スポーツイベントや体育施設の指定管理等、各種の実績を積み重ね、このように発展されましたのも、ひとえに、歴代役員の方々をはじめ関係各位の並々ならぬ御尽力のお陰であると御推察申し上げますとともに心から敬意と感謝を申し上げます。

さて、磐田市は、平成21年4月に「スポーツ交流都市宣言」を制定し、スポーツを誰もが共有出来る市民共通の文化として捉え、生涯を通じてスポーツ振興を図ることにより、健康で魅力的な人づくりと地域間交流が盛んなまちづくりを目指し積極的に取り組んでおられます。

そのような中、近年では磐田市出身者がオリンピックでメダルを獲得するなど、世界的に活躍する選手を輩出し、磐田市と言えば「スポーツのまち」と言うイメージが定着しております。

このことは、昨年20回を数えたジュピロ磐田メモリアルマラソンをはじめとした、長年に渡り継続して開催されている多くのスポーツ大会や加盟団体に対する支援等、これまで貴協会が着実に歩んでこられた実績と評価であります。

今後も、貴協会が磐田市のスポーツ振興と市民の健康増進に寄与し、創立70周年を契機として更に発展されますことを御祈念いたしまして発刊に寄せる祝辞いたします。





磐田市教育委員会 教育長 村松 啓至

NPO法人磐田市体育協会創立 70 周年を迎えられ、この間の歴史を綴る記念誌が発刊されますことは、まことに意義深く、心からお喜び申し上げます。

貴協会は、磐田陸上協会、野球連盟磐田支部、磐田柔道協会、磐田庭球協会が組織に加わり、昭和 24 年 9 月に磐田市体育協会として設立し、現在に至るまで、社会体育の充実とスポーツの振興にたゆみなく、着実に歩み続けてこられました。

今日では、32 競技団体、スポーツ少年団、地区組織を統括され、スポーツを「する、見る、支える」の 3 原則を掲げ、地域スポーツの普及と振興に大きく貢献されていることに加え、磐田市総合体育館をはじめ、磐田卓球場ラリーナや、ゆめりあ競技場などの市内体育施設の指定管理者として指定され、市民の皆さんに利用し易い施設管理を目指し、ご尽力いただいていることに対しまして、深く敬意を表するものであります。

貴協会の実績事業としては、ジュピロ磐田メモリアルマラソン、磐田 U-12 国際サッカー大会、車椅子ツインバスケットボール大会、グランド・ゴルフ大会、その他各種スポーツ教室、小中学生を対象とした各種大会など、競技力向上や、地域貢献に加え、市民が生涯に渡って心身の健康づくりに向けてスポーツに親しむことができる、環境づくりに貢献いただくとともに、様々なスポーツの普及と強化を図るなか、オリンピック選手をはじめ数多くの選手や指導者を輩出され、各種大会やイベントの開催など、輝かしい足跡を残されてきました。

2016 年のリオデジャネイロオリンピックにおいては、男子卓球の水谷隼選手、女子卓球の伊藤美誠選手、陸上男子 1600m リレーの加藤修也選手が出場しました。なかでも卓球の水谷隼選手、伊藤美誠選手はメダルを獲得し、日本中に感動をもたらすとともに、磐田市民にとりましても、勇気と元気を与えてくれました。同じ年の 9 月には、2 人の功績をたたえ祝賀パレードが開催され、3 万 1 千人が沿道に集まり歓喜に湧きました。

2020 年の東京オリンピック・パラリンピックの開催の決定は、日本に喜びと希望をもたらし、子どもたちに夢を与える契機となりました。このことが、磐田市民の皆さんが運動・スポーツに関心や親しみを持つ大きなきっかけとなり、地域住民に身近な存在である、貴協会の役割も増大してくると思っています。教育委員会としましても、今まで以上に貴協会や関係団体の皆様と一緒に、連携を深め進めてまいりたいと考えております。

結びに、磐田市体育協会が創立 70 周年という節目を契機に更なる発展を遂げられますことをご祈念するとともに、本誌編纂にあたりご尽力された方々に対し、深く感謝申し上げます、お祝いの言葉といたします。

第1章 体育協会の沿革と現況

磐田市体育協会の沿革と現況（平成20年～平成30年）

1 10年のあゆみ（平成20年度より）

- 平成20年 磐田市総合体育館外11施設指定管理受託
- 平成20年 日独スポーツ少年団同時交流実施
- 平成21年 創立60周年
- 平成23年 豊岡体育センター外管理業務受託
- 平成25年 磐田市総合体育館外13施設指定管理受託
- 平成26年 河島直明 会長就任
- 平成27年 静岡産業大学と「体育振興に関する協定」締結
- 平成27年 体育協会シンボルマーク誕生
- 平成27年 竜洋体育センター管理業務受託
- 平成27年 磐田市5地区選抜グラウンド・ゴルフ大会開始
- 平成27年 磐田市内中学校・高等学校部活動費の支援開始
- 平成28年 磐田スポーツ交流の里ゆめりあ球技場外5施設指定管理受託
- 平成28年 磐田U-12国際サッカー大会開始
- 平成29年 ジュビロ磐田メモリアルマラソン20回記念大会開催（出走者1万人超）
- 平成30年 磐田卓球場、磐田アーチェリー場の受付等管理業務受託
- 平成30年 磐田市総合体育館外20施設指定管理受託

2 現在の状況

平成20年（2008）度より受託している社会体育施設指定管理は、平成30年（2018）度には豊岡体育館をはじめとする豊岡地区の体育施設も、指定管理施設として受託することとなったため、磐田市総合体育館外20施設の管理となった。なお、これとは別に平成28年（2016）度より株式会社ジュビロと共に磐田スポーツ交流の里ゆめりあ球技場外5施設の指定管理も受託している。また、業務委託として、平成27年（2015）に完成した竜洋体育センターや、平成30年（2018）に完成した磐田卓球場（ラリーナ）・磐田アーチェリー場の受付等管理業務も行っている。

事業においては、現在、長藤マラソンが37回、ウォーキングと車いすツインバスケットボール大会は14回にわたり継続開催をしている。

また、ジュビロ磐田メモリアルマラソンは、平成23年（2011）に会場をヤマハスタジアム周辺に移し、磐田市街を走るコースとして大会規模が拡大した。磐田市内の多くの団体に支えられながら、平成29年（2017）に20回の節目を迎え、初めて出走者数が1万人を超えた。

平成27年（2015）度には磐田市合併10周年記念事業として、3月に磐田市5地区選抜グラウンド・ゴルフ大会が磐田スポーツ交流の里ゆめりあ球技場にて開催され、現在も引き続き行われている。同じくゆめりあ球技場をメイン会場として、平成28年（2016）より青少年育成、競技力向上、地域貢献を目的に、海外3チーム（韓国、中国、タイ）国内9チーム（Jリーグ所属クラブ下部組織）が磐田市に集結する磐田U-12国際サッカー大会が始まった。

そして、静岡市にて例年12月に開催される静岡県市町対抗駅伝競走大会では、平成29年（2017）過去最高の2時間14分21秒を記録し、市の部5位入賞（最高順位タイ）を果たした。平成22年（2010）よ

り毎年体育の日（10月10日前後）を「磐田スポーツ交流健康の日」としてスポーツを通じて、親子で健康を考える日とする「いわたスポーツ健康フェスティバル」を開催し、平成25年（2013）から磐田市と共催で「いわたスポレク健康フェスティバル」と名称を変えて行っている。

オリンピック・パラリンピック関係では直近の3大会で磐田市出身の選手が活躍された。平成20年（2008）北京オリンピックは男子卓球で水谷隼選手、同パラリンピック男子マラソン視覚障害の部へ新野正仁選手が出場。平成24年（2012）ロンドンオリンピックには男子卓球で水谷隼選手が出場。そして、平成28年（2016）リオオリンピックでは男子卓球で水谷隼選手、女子卓球に伊藤美誠選手、陸上男子1600mリレーに加藤修也選手が出場し、水谷隼選手、伊藤美誠選手は名誉あるメダルを獲得され、同年9月には、卓球の水谷選手、伊藤選手の偉業を称え祝賀パレードが開催され延べ約3万1千人が沿道に集まった。この外、磐田市内の団体との関わりとしては、平成27年（2015）に磐田市の体育振興を目的として、静岡産業大学と「体育振興に関する協定」を結び、相互に地域社会の体育振興と発展及び人材の育成について協力していくこととした。また同年より、磐田市内中学校高等学校へ部活動費の支援を開始した。これは、体育振興の一環として助成するもので、運動部活が活発になる一助になればと考えている。

平成26年（2014）度には、会長に河島直明が就任。翌年、シンボルマークの制作が検討され、公募により河島俊明氏のデザインによるシンボルマークが誕生した。

以上のとおり、自主事業、支援事業、体育施設管理、各種団体との相互協力を行うなかで、スポーツを「する、見る、支える」の3原則の達成のため活動し現在に至っている。

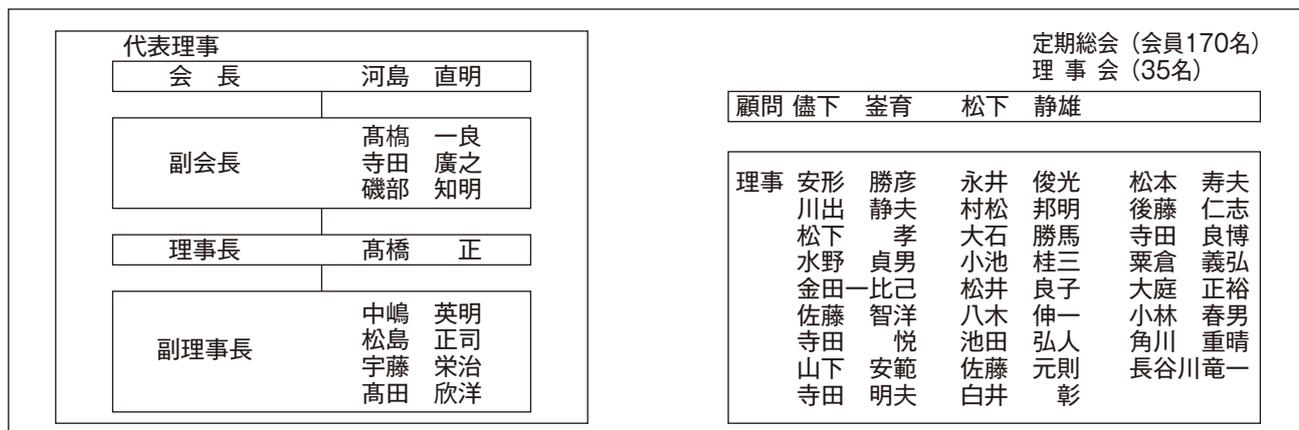
終わりに、磐田市体育協会の創立日（設立）を磐田市体育協会に名称変更した日（昭和24年9月1日）としていたが、（財）静岡県体育協会の静岡県体育史（昭和53年11月25日発行）に旧磐田町時代の昭和22年7月に設立総会が行われている記録があり、平成30年1月26日理事会において設立年月日を昭和22年7月1日と変更した。

3 今後の課題

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> i 高齢者の増加に向けた対応 <ul style="list-style-type: none"> ○体力・年齢・障害の程度に応じた教室イベントの開催 ○事業・教室・イベントに参加していただくための周知、広報活動 ii 少子化に向けた対応 <ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ少年団の支援・拡大 ○中高生に対する部活支援金の助成 ○中学校の部活に対しての指導者の派遣 iii 競技団体の体育協会加盟促進 <ul style="list-style-type: none"> ○新スポーツの加盟促進 ○国際大会、全国大会、県大会の開催支援 | <ul style="list-style-type: none"> iv 行政のスポーツ振興に対する協力 <ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ実施率の向上 ○磐田スポーツ部活への協賛 ○利用者に向けた施設設備の充実 ○イベント、合宿、大会への協力 v 体育協会の人材確保 <ul style="list-style-type: none"> ○体育協会職員の待遇改善 ○体育協会役員の若返り、加入の促進 vi 指定管理制度に対する対応 vii 企業・団体への支援要請 |
|--|--|

第2章 組織図・役員名簿・役員の変遷 加盟団体一覧表

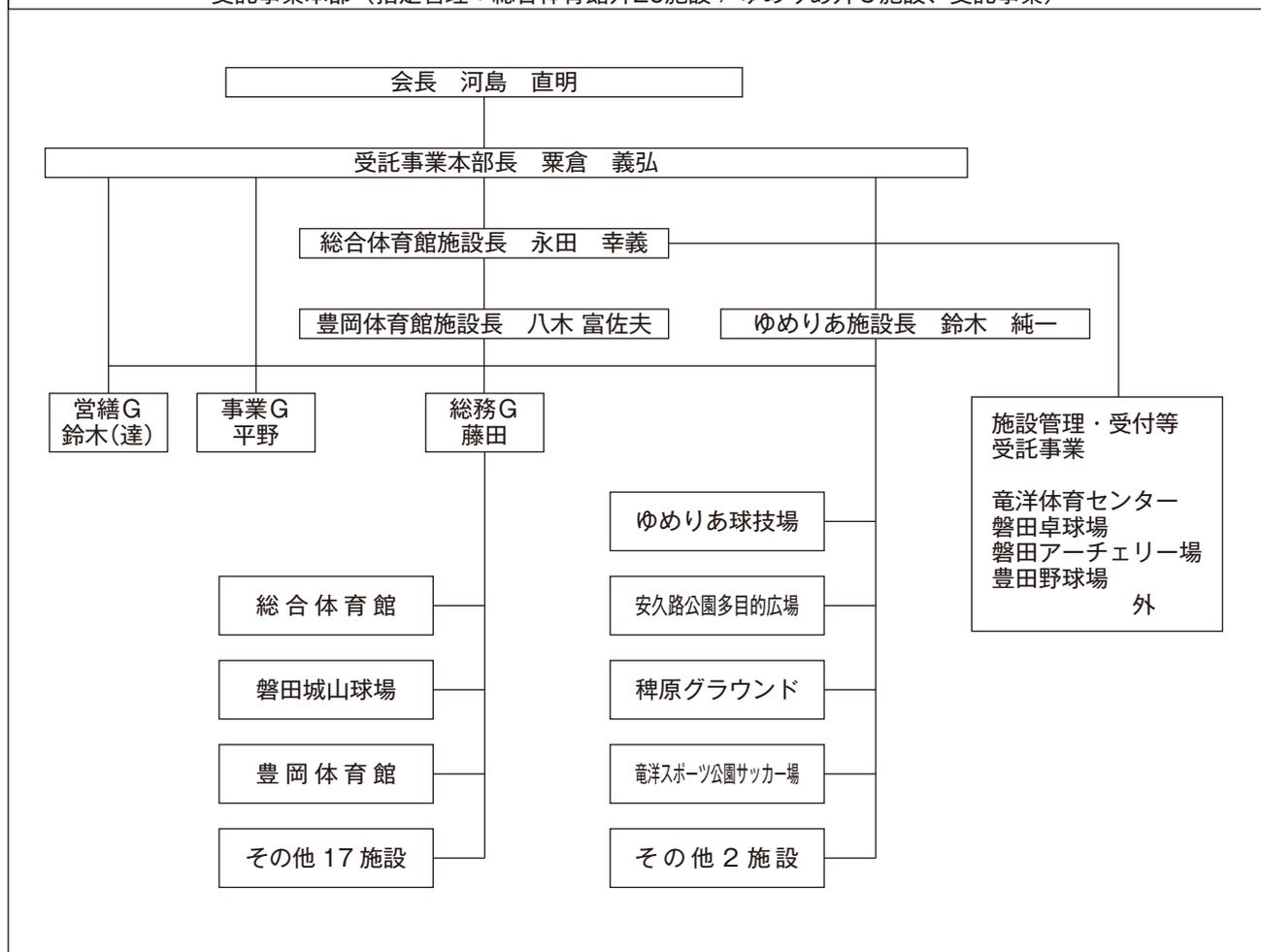
平成30年度 NPO法人磐田市体育協会体制・組織図



事務局長 中嶋 英明

事務局

受託事業本部（指定管理：総合体育館外20施設 / ゆめりあ外5施設、受託事業）



平成 30 年度 NPO 法人 磐田市体育協会 役員・理事名簿

役 職	氏 名	所 属
顧 問	儘 下 崙 育	磐田卓球協会
顧 問	松 下 静 雄	磐田市ソフトボール協会

会 長	河 島 直 明	磐田市アーチェリー協会
副 会 長	高 橋 一 良	磐田市相撲連盟
副 会 長	寺 田 廣 之	福田地区
副 会 長	磯 部 知 明	西貝地区
理 事 長	高 橋 正	磐田市陸上競技協会
副 理 事 長	中 嶋 英 明	磐田卓球協会
副 理 事 長	松 島 正 司	豊岡地区
副 理 事 長	宇 藤 栄 治	磐田市バレーボール協会
副 理 事 長	高 田 欣 洋	豊田地区
理 事	安 形 勝 彦	磐田市テニス協会
理 事	川 出 静 夫	静岡県野球連盟磐田支部
理 事	松 下 孝	竜洋地区
理 事	水 野 貞 男	豊田地区
理 事	金 田 一 比 己	竜洋地区
理 事	佐 藤 智 洋	豊岡地区
理 事	寺 田 悦	豊田地区
理 事	山 下 安 範	竜洋地区
理 事	寺 田 明 夫	福田地区
理 事	永 井 俊 光	田原地区
理 事	村 松 邦 明	豊岡地区
理 事	大 石 勝 馬	福田地区
理 事	小 池 桂 三	静岡県野球連盟磐田支部
理 事	松 井 良 子	豊田地区
理 事	八 木 伸 一	豊田地区
理 事	池 田 弘 人	静岡県野球連盟磐田支部
理 事	佐 藤 元 則	豊岡地区
理 事	白 井 彰	竜洋地区
理 事	松 本 寿 夫	磐田市陸上競技協会
理 事	後 藤 仁 志	御厨地区
理 事	寺 田 良 博	磐田市水泳協会
理 事	栗 倉 義 弘	静岡県野球連盟磐田支部
理 事	大 庭 正 裕	磐田卓球協会
理 事	小 林 春 男	磐田市ソフトボール協会
理 事	角 川 重 晴	磐田バスケットボール協会
理 事	長谷川 竜 一	磐田バスケットボール協会

監 事	中 野 眞	磐田地区
監 事	鈴 木 猛	磐田市水泳協会
監 事	鈴 木 勉	豊岡地区

NPO法人磐田市体育協会 理事名簿(平成22年～平成30年)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
顧問	長谷川 寿一	長谷川 寿一	長谷川 寿一	三ツ谷 金秋	杉山 元
	三ツ谷 金秋	三ツ谷 金秋	三ツ谷 金秋	小出 幸雄	大庭 隆一
	小出 幸雄	小出 幸雄	小出 幸雄	森 泰二郎	青島 安宏
	森 泰二郎	森 泰二郎	森 泰二郎	鈴木 康之	
		鈴木 康之			
会長	杉山 元	杉山 元	杉山 元	杉山 元	河島 直明
副会長	鈴木 康之	鈴木 康之	高橋 一良	高橋 一良	高橋 一良
	高橋 一良	高橋 一良	大庭 隆一	大庭 隆一	寺田 廣之
	大庭 隆一	大庭 隆一	青島 安宏	青島 安宏	儘下 峯育雄
理事長	松下 静雄				
副理事長	草地 博昭	草地 博昭	草地 博昭	高橋 正	高橋 正
	高橋 正	高橋 正	高橋 正	寺田 廣之	松島 正司
	寺田 廣之	寺田 廣之	寺田 廣之	松島 正司	密岡 恭之
	山下 安範	山下 安範	松島 正司	寺田 悦	寺田 悦
事務局長	草地 博昭	草地 博昭	草地 博昭	寺田 悦	寺田 悦
監事	中野 眞				
	清水 万大	清水 万大	清水 万大	清水 万大	佐藤 康夫
	上野 陽一郎	上野 陽一郎	佐藤 康夫	佐藤 康夫	村松 邦明
理事	青島 安宏	青島 安宏	安形 勝彦	安形 勝彦	安形 勝彦
	安形 勝彦	安形 勝彦	宇藤 栄治	宇藤 栄治	宇藤 栄治
	宇藤 栄治	宇藤 栄治	川出 静夫	川出 静夫	川出 静夫
	川出 静夫	川出 静夫	高田 欣洋	高田 欣洋	高田 欣洋
	水野 貞夫	水野 貞夫	中嶋 英明	中嶋 英明	中嶋 英明
	高田 欣洋	高田 欣洋	堀内 昌文	堀内 昌文	堀内 昌文
	中嶋 英明	中嶋 英明	松下 孝	松下 孝	松下 孝
	堀内 昌文	堀内 昌文	水野 貞夫	水野 貞夫	水野 貞夫
	儘下 峯育	儘下 峯育	儘下 峯育	儘下 峯育	金田 一比己
	大庭 常道	大庭 常道	大庭 常道	大庭 常道	佐藤 智洋
	金田 一比己	金田 一比己	金田 一比己	金田 一比己	山下 安範
	佐藤 智洋	佐藤 智洋	佐藤 智洋	佐藤 智洋	磯部 知明
	永井 俊光	永井 俊光	山下 安範	山下 安範	榎本 行宏
	松下 孝	松下 孝	磯部 知明	磯部 知明	鈴木 東吾
	佐藤 康夫	佐藤 康夫	榎本 行宏	榎本 行宏	寺田 明夫
	松島 正司	松島 正司	佐川 正治	佐川 正治	永井 俊光
	磯部 知明	磯部 知明	鈴木 東吾	鈴木 東吾	大石 勝馬
	伊藤 厚志	伊藤 厚志	寺田 悦	寺田 明夫	小池 佳三
	榎本 行宏	榎本 行宏	寺田 明夫	永井 俊光	松井 良子
	佐川 正治	佐川 正治	永井 俊光	密岡 泰之	八木 伸一
	鈴木 東吾	鈴木 東吾	密岡 泰之	村松 邦明	池田 弘人
	寺田 悦	寺田 悦	村松 邦明	大石 勝馬	佐藤 元則
	寺田 明夫	寺田 明夫	大石 勝馬	小池 佳三	白井 彰
	密岡 泰之	密岡 泰之	小池 佳三	松井 良子	鈴木 勉
	村松 邦明	村松 邦明	松井 良子	八木 伸一	鈴木 俊夫
			八木 伸一		鈴木 寿夫



NPO法人磐田市体育協会 理事名簿(平成22年～平成30年)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
顧問	杉山 元	杉山 元	杉山 元	儘下 崙育
	大庭 隆一	大庭 隆一	大庭 隆一	松下 静雄
	青島 安宏	青島 安宏	青島 安宏	
会長	河島 直明	河島 直明	河島 直明	河島 直明
副会長	高橋 一良	高橋 一良	高橋 一良	高橋 一良
	寺田 廣之	寺田 廣之	寺田 廣之	寺田 廣之
	儘下 崙育	儘下 崙育	儘下 崙育	磯部 知明
理事長	松下 静雄	松下 静雄	松下 静雄	高橋 正
副理事長	高橋 正	高橋 正	高橋 正	中嶋 英明
	松島 正司	松島 正司	松島 正司	松島 正司
	鈴木 猛	磯部 知明	磯部 知明	宇藤 栄治
		宇藤 栄治	宇藤 栄治	高田 欣洋
事務局長	高橋 正	高橋 正	高橋 正	中嶋 英明
監事	中野 眞	中野 眞	中野 眞	中野 眞
	佐藤 康夫	鈴木 猛	鈴木 猛	鈴木 猛
	村松 邦明	鈴木 勉	鈴木 勉	鈴木 勉
理事	安形 勝彦	安形 勝彦	安形 勝彦	安形 勝彦
	宇藤 栄治	榎本 行宏	榎本 行宏	川出 静夫
	川出 静夫	中嶋 英明	中嶋 英明	松下 孝
	高田 欣洋	金田 一比己	金田 一比己	水野 貞男
	中嶋 英明	川出 静夫	川出 静夫	金田 一比己
	堀内 昌文	佐藤 智洋	佐藤 智洋	佐藤 智洋
	松下 孝	高田 欣洋	高田 欣洋	寺田 悦
	水野 貞夫	松下 孝	松下 孝	山下 安範
	金田 一比己	水野 貞男	水野 貞男	寺田 明夫
	佐藤 智洋	山下 安範	山下 安範	永井 俊光
	山下 安範	大石 勝馬	大石 勝馬	村松 邦明
	磯部 知明	小池 佳三	小池 佳三	大石 勝馬
	榎本 行宏	寺田 明夫	寺田 明夫	小池 佳三
	鈴木 東吾	永井 俊光	永井 俊光	松井 良子
	寺田 明夫	松井 良子	松井 良子	八木 伸一
	永井 俊光	八木 伸一	八木 伸一	池田 弘人
	大石 勝馬	池田 弘人	池田 弘人	佐藤 元則
	小池 佳三	佐藤 元則	佐藤 元則	白井 彰
	松井 良子	白井 彰	白井 彰	松本 寿夫
	八木 伸一	鈴木 俊夫	鈴木 俊夫	後藤 仁志
	池田 弘人	松本 寿夫	松本 寿夫	寺田 良博
	佐藤 元則	村松 邦明	村松 邦明	粟倉 義弘
	白井 彰	寺田 悦	寺田 悦	大庭 正裕
	鈴木 勉	寺田 良博	寺田 良博	小林 春男
	鈴木 俊夫	永井 睦人	永井 睦人	角川 重春
	松本 寿夫	後藤 仁志	後藤 仁志	長谷川 竜一

平成 30 年度 加盟団体名簿 会長・連絡責任者一覧表

No.	競技団体	代 表	人 数	連絡責任者
1	【陸上】 磐田市陸上競技協会	会 長 高橋 正	80 人	〒438-0116 磐田市北島 13-2 吉 本 仁 TEL 35-7264
2	【バレーボール】 磐田市バレーボール協会	会 長 吉岡 伊作	29 チーム 468 人	〒438-0081 磐田市緑ヶ丘 3-10 中 井 きよ子 TEL 32-8386
3	【卓球】 磐田卓球協会	会 長 大庭 正裕	74 チーム 2,075 人	〒437-1101 袋井市浅羽 2236-7 中 嶋 英 明 TEL 23-7295
4	【野球】 静岡県野球連盟磐田支部	会 長 川出 静夫	34 チーム 709 人	〒438-0056 磐田市小島 277-9 池 田 弘 人 TEL 34-6899
5	【野球】 静岡県野球連盟福田支部	会 長 大石 勝馬	15 チーム 386 人	〒437-1203 磐田市福田 545 鈴 木 義 里 TEL 55-5633
6	【サッカー】 磐田サッカー協会	会 長 安間 英雄	42 チーム	〒438-0814 磐田市気子島 1346-2 原 田 和 洋 TEL 37-6136
7	【空手道】 磐田市空手道連盟	会 長 密岡 恭之	6 チーム 240 人	〒438-0086 磐田市住吉町 1320 永 見 基 全 TEL 32-3264
8	【山岳】 磐田山の会	会 長 倉知 英彦	22 人	〒438-0085 磐田市水堀 12 倉 知 英 彦 TEL 35-2257
9	【バスケットボール】 磐田バスケットボール協会	会 長 鈴木 祐司	68 チーム 975 人	〒437-0065 袋井市堀越 1032-2 山 崎 稔 宏 TEL 42-1703
10	【テニス】 磐田市テニス協会	会 長 中山 守	13 チーム 598 人	〒438-0078 磐田市中泉 108-11 大 石 博 之 TEL 32-8425
11	【ソフトテニス】 磐田市ソフトテニス協会	会 長 安達 紘	5 チーム 1,045 人	〒438-0005 磐田市勾坂上 413-3 田 中 文 博 TEL 38-2116
12	【バウンドテニス】 磐田市バウンドテニス協会	会 長 松浦 利治	7 チーム 100 人	〒438-0026 磐田市西貝塚 1994-5 松 浦 利 治 TEL 37-5002
13	【ソフトボール】 磐田市ソフトボール協会	会 長 安間 英雄	46 チーム 1,060 人	〒438-0057 磐田市千手堂 19-6 木 俣 周 吉 TEL 35-4661
14	【弓道】 磐田弓道協会	会 長 石井日出雄	115 人	〒438-0231 磐田市豊岡 6322-3 澤 井 健 TEL 66-5089
15	【バドミントン】 磐田バドミントン協会	会 長 増田 英雄	98 人	〒438-0077 磐田市国府台 51-1 山 下 智 健 TEL 32-2669
16	【水泳】 磐田市水泳協会	会 長 寺田 良博	65 人	〒438-0056 磐田市小島 1896-2 寺 田 良 博 TEL 34-6521
17	【相撲】 磐田市相撲連盟	会 長 高橋 一良	20 人	〒438-0812 磐田市海老塚 733-2 内 野 時 彦 TEL 090-2136-4701

平成 30 年度 加盟団体名簿 会長・連絡責任者一覧表

No.	競技団体	代 表	人 数	連絡責任者
18	【ボウリング】 磐田市ボウリング連盟	会 長 吉田 昭二		〒438-0078 磐田市中泉 322-1 大 島 利 仁 TEL 34-9271
19	【アーチェリー】 磐田市アーチェリー協会	会 長 寺田 幹根	32 人	〒438-0044 磐田市大泉町 5-13 山 中 正 三 TEL 37-4995
20	【ラグビー】 磐田市ラグビーフットボール協会	会 長 鈴木 亨司	75 人	〒438-0836 磐田市長森 328-4 内 藤 弘 隆 TEL 37-9065
21	【グラウンド・ゴルフ】 磐田市グラウンド・ゴルフ協会	会 長 鎌田要之助	292 人	〒438-0234 磐田市掛塚 987-2 大 澄 勝 利 TEL 66-2818
22	【ボクシング】 磐田市ボクシング協会	会 長 佐藤 文俊	85 人	〒438-0204 磐田市岡 888-1 佐 藤 文 俊 TEL 66-9307
23	【剣道】 NPO法人磐田剣道連盟	会 長 伊藤 孝悦	456 人	〒438-0077 磐田市国府台 51-2 大 場 隆 史 TEL 37-7589
24	【合気道】 豊田合気道クラブ	会 長 水野 恵助	140 人	〒438-0821 磐田市立野 186-3 水 野 恵 助 TEL 33-0285
25	【インディアカ】 磐田市インディアカ協会	会 長 渡瀬 訓孝	39 チーム 320 人	〒438-0078 磐田市中泉 1562-6 渡 瀬 訓 孝 TEL 35-3090
26	【トライアスロン】 磐田トライアスロンクラブ	会 長 杉山 悟	15 人	〒438-0233 磐田市駒場 1-30 杉 山 悟 TEL 66-1774
27	【サーフィン】 磐田サーフィンクラブ	会 長 谷川 豊	10 人	〒438-0041 磐田市西之島 18 芦 川 和 美 TEL 21-0181
28	【少年野球】 (財)日本少年野球連盟 磐田支部	会 長 鈴木 毅	35 人	〒437-0122 袋井市春岡 2-10-4 倉 嶋 則 文 TEL 49-0481
29	【ファミリーバドミントン】 磐田ファミリーバドミントン協会	会 長 村松 直司	20 チーム 187 人	〒437-1101 袋井市浅羽 2236-7 中 嶋 英 明 TEL 23-7295
30	【ボディビル】 磐田市ボディビル・フィットネス連盟	会 長 南 佳壽夫	50 人	〒438-0026 磐田市西貝塚 2028-2 後 藤 多 賀 子 TEL 32-4848
31	【ビーチサッカー】 磐田ビーチサッカー振興協会	会 長 鈴木 俊多	12 人	〒432-8042 浜松市中区上浅田 1-6-1 402 高 橋 亮 祐 TEL 090-8336-5623
32	【空手道】 磐田武道協会	会 長 松下 明	20 人	〒438-0001 磐田市藤上原 84-4 鈴 木 正 樹 TEL 38-0518
33	【スポーツ少年団】 磐田市スポーツ少年団連絡協議会	本部長 高田 欣洋	59 団体	〒438-0086 磐田市見付 4075 鈴 木 邦 代 TEL 33-3443

平成 30 年度 加盟団体名簿 会長・連絡責任者一覧表

No.	競技団体	代 表	連絡責任者
1	【岩田地区】 岩田地区自治会 体育部	会 長 青島 浄	〒438-0002 磐田市匂坂上 615-1 永島 三義 TEL 38-3516
2	【大藤地区】 大藤地区体育部	会 長 田中 好二	〒438-0002 磐田市大久保 450 伊藤 滋朗 TEL 38-0404
3	【向笠地区】 向笠地域づくり協議会	会 長 三浦 靖男	〒438-0013 磐田市向笠竹之内 372-1 稲垣 寿光 TEL 34-6915
4	【田原地区】 田原地区体育部	会 長 和田 行夫	〒438-0018 磐田市三ヶ野台 2-6 柴田 勝好 TEL 32-8472
5	【御厨地区】 御厨地域づくり協議会	会 長 新貝 雅海	〒438-0038 磐田市鎌田 1876 鈴木 延男 TEL 32-3050
6	【南御厨地区】 南御厨地域づくり協議会	会 長 藤原 孝一	〒438-0035 磐田市東新屋 613 南御厨交流センター長 TEL 35-0982
7	【西貝地区】 西貝地区体育部	会 長 中村 和良	〒438-0026 磐田市西貝塚 1377-5 西貝交流センター 小田 明子 TEL 32-4853
8	【南地区】 南地区体育部	会 長 吉添 繁雄	〒438-0046 磐田市下岡田 142-1 吉添 繁雄 TEL 35-7882
9	【長野地区】 長野地域づくり協議会	会 長 古山 晴海	〒438-0056 磐田市小島 374 長野交流センター 松山 捷利 TEL 32-5421
10	【見付地区】 見付地域づくり協議会	会 長 林 浩巳	〒438-0086 磐田市見付 1586-27 雪嶋 昇 TEL 37-0327
11	【中泉地区】 中泉地区体育部	会 長 星野 勝彦	〒438-0078 磐田市葦中泉 2404-1 中泉交流センター 榊原 誠也 TEL 35-3356
12	【福田地区】 福田地区体育部	会 長 栗田 正孝	〒437-1204 磐田市福田中島 396 栗田 正孝 TEL 55-2632
13	【竜洋地区】 竜洋地区体育部	会 長 白井 彰	〒438-0211 磐田市東平松 710-2 白井 彰 TEL 66-7417
14	【豊田地区】 豊田地区体育部	会 長 水野 貞男	〒438-0811 磐田市一言 3384 寺田 悦 TEL 34-6449
15	【豊岡地区】 豊岡地区体育部	会 長 松島 正司	〒438-0116 磐田市老貫地 122-1 松島 正司 TEL 0539-62-4852



第3章 加盟団体の紹介 競技団体

磐田市陸上競技協会

会 員 数 80人
会 長 高橋 正
創 立 年 昭和24年9月

磐田市陸上競技協会のあゆみ

昭和 24 年磐田市体育協会陸上部として発足し、昭和 56 年磐田陸上競技協会として再編、合併後名称を磐田市陸上競技協会と改め現在に至る。

平成 11 年 8 月かぶと塚公園内に磐田市陸上競技場が完成し、磐田市内の陸上競技のメッカとして、中学校・高等学校・一般からマスターズまで幅広い陸上競技の愛好者が集まっています。

当初は、3 種公認陸上競技場として立派な施設と設備を備えた競技場でしたが、陸上競技場の公認が無くなった現在も、選手それぞれが練習に励み各種競技大会において活躍し、中学生・高校生は毎年多くの選手が全国大会等に出場し、磐田市陸上競技場で練習をし、巣立って行った選手は日本選手権優勝者やアジア大会に出場し入賞する選手も輩出しています。

年間事業

- ジュビロ磐田陸上競技大会 (6 月)
- 磐田市陸上競技記録会 (4 月 5 月 9 月)
- 磐田市駅伝競走大会
- 磐周中地区学校新人陸上競技大会
- 長距離月例記録会 (天竜川ランニングコース)
- 磐田市陸上競技教室
- 磐田市ジュニア陸上練習会 (磐田陸上)

- 6 月に行うジュビロ磐田陸上競技大会は、(株)ジュビロのご協力のもと、県内各地から毎年約 1,500 人と多数の参加を得て開催しています。
- 陸上競技記録会 (磐田市陸上競技場)
は、毎年 4 月、5 月、9 月に陸上記録会を開催し、主に中学生が中心になりますが、一般・マスターズまで幅広いカテゴリーでの参加があります。
- 磐田市駅伝競走大会
合併に伴い平成 20 年度からスズキ(株)竜洋テストコースを会場にお借りして、県西部地区から約 130 チームが出場し毎年盛大に開催しています。
- 磐田市陸上競技教室は毎年前期後期に分け、それぞれ毎月第 4 土曜日に小学 1 年生から 6 年生と中学生を対象に磐田市陸上競技場にて開催して

います。指導者は静岡産業大学の陸上競技部の学生です。

また、陸上教室の受講生の中で大会に出場し記録を狙ってみたい、専門的に陸上競技に取り組みたい等の理由で、強化練習会と言う形で発足した「磐田陸上」も約 25 年を迎え、毎週水曜日の夜間に練習を行っています。

発足当初は少人数で市内の中学校の夜間照明をお借りして活動していましたが、現在は小学 4 年生から中学生約 100 人以上が練習に参加しています。

平成 11 年の陸上競技場オープン以後は静岡産業大学の陸上部員の皆さんに指導をしていただき練習に励んでいます。

大会は、磐田市の記録会を始めとして、毎年春・秋にエコパで行われる西部小学生陸上競技大会や静岡リレーカーニバル、静岡国際陸上等に参加しています。



陸上教室の様子

静岡産業大学との関わり

現在、静岡産業大学陸上競技部の学生は、磐田市陸上競技教室並びに磐田陸上の指導、また、競技会等の運営補助及び競技役員として協力をいただいています。

特に、磐田市陸上競技教室並びに磐田陸上については、小学生及び中学生に対し熱心な指導をしていただき大会等においても素晴らしい結果につながっています。

学生たちも 1 年生から 4 年生まで活動を続け、後輩に引き継いで現在に至っています。

全国大会に於いての主な成績

全日本中学選手権

- 平成 22 年度 鳥取
男子 200m 5 位 後藤 和嗣 21 秒 99 神明中
- 平成 29 年度 熊本
男子 100m 3 位 平野 智也 10 秒 97 磐田第一
男子 200m 4 位 平野 智也 21 秒 99 磐田第一
男子走高跳 優勝 太田 蒼翔 1m96 磐田竜洋

全国高等学校総合体育大会

平成22年度 沖繩

女子4×100mR 優勝浜松市立 46秒55

鈴木 海景1走(磐田第一) 名倉 彩夏3走(竜洋中)

女子砲丸投 6位 鈴木 綾乃 磐田東 12m91

平成23年度 北上

女子400m 6位 名倉 彩夏 浜松市立(竜洋中)

女子4×100mR 浜松市立2位 46秒46

鈴木 海景1走(磐田第一) 杉浦はる香3走(福田中)

女子4×400mR 浜松市立2位 3分42秒37

杉浦はる香1走(福田中) 名倉 彩夏2走(竜洋中)

女子砲丸投5位 鈴木 綾乃 磐田東 13m13

平成24年度 新潟

男子400m 3位 加藤 修也 48秒27 浜名高(豊岡中)

女子400m 5位 杉浦はる香 55秒90 浜松市立(福田中)

女子4×400mR 浜松市立 3分40秒28

杉浦はる香1走(福田中) 名倉 彩夏2走(竜洋中)

平成25年度 大分

男子400m 優勝加藤 修也 46秒11 浜名高(豊岡中)

女子200m 3位 杉浦はる香 24秒25 浜松市立(福田中)

女子400m 2位 杉浦はる香 54秒10 浜松市立(福田中)

女子4×100mR 浜松市立 45秒73 杉浦はる香3走(福田中)

女子4×400mR 浜松市立 3分37秒99 杉浦はる香2走(福田中)

平成29年度 天童

女子走高跳 4位 大滝 佐和 1m71 浜松西(磐田第一)

日本選手権

平成21年度93回 広島

男子三段跳 4位 15m74 鈴木 義啓 スズキ浜松AC(磐田南部中・磐田農高)

平成22年度95回 丸亀

男子三段跳 優勝 16m17 鈴木 義啓 スズキ浜松AC(磐田南部中・磐田農高)

平成23年度95回 熊谷

男子三段跳 4位 15m74 鈴木 義啓 スズキ浜松AC(磐田南部中・磐田農高)

女子棒高跳 7位 3m80 青島 綾子 日本体育大(城山中・磐田農高)

8位 3m60 尾上 裕香 日本体育大(磐田農高)

平成24年度第96回 長居

女子棒高跳 7位 4m00 青島 綾子 日本体育大(城山中・磐田農高)

平成25年度97回 調布

女子400m 優勝杉浦はる香 52秒52 浜松市立高(福田中)

女子3000m障害 5位 中村真悠子 10分11秒96 筑波大学院(磐田南部中・磐田北高)

平成26年度98回 福島

男子400m 4位 加藤 修也 46秒49 早稲田大(豊岡中)

女子3000m障害 2位 中村真悠子 9分53秒87 筑波大学院(磐田南部中・磐田北高)

平成28年度第100回 名古屋

女子棒高跳 優勝 4m00 青島 綾子 アルビレックス新潟(城山中・磐田農高)

国民体育大会

平成21年度64回 新潟

女子少年B砲丸投 2位 鈴木 綾乃 12m47(磐田東高)

平成22年度65回 千葉

女子成年棒高跳 7位 尾上 裕香 3m80 日本体育大(磐田農高)

女子少年B100m 5位 鈴木 海景 12秒09 浜松市立高(磐田一中)

平成25年度68回 東京調布

男子少年A400m 優勝 加藤 修也 46秒62 浜名高(豊岡中)

女子成年400m 4位 名倉 彩夏 54秒82 中京大(竜洋中)

女子少年A400m 優勝 杉浦はる香 53秒09 浜松市立高(福田中)

女子成年少年共通 4×100mR 44秒55 位

名倉 彩夏2走 中京大(竜洋中) 杉浦はる香3走 浜松市立高(福田中)

平成26年度69回 長崎

男子成年400m 優勝 加藤 修也 46秒27 早稲田大(豊岡中)

平成28年度71回 北上

男子成年400m 2位 加藤 修也 47秒30 早稲田大(豊岡中)

平成29年度72回 松山

男子成年少年共通 4×100mR 3位 39秒79 平野 智也 1走 磐田第一中

第17回アジア競技大会2014仁川

女子3000m障害 7位 中村真悠子 9分53秒87 筑波大学院(磐田南部中・磐田北高)



元旦にみんなで走ろう

ジュビロ磐田陸上競技大会



磐田陸上

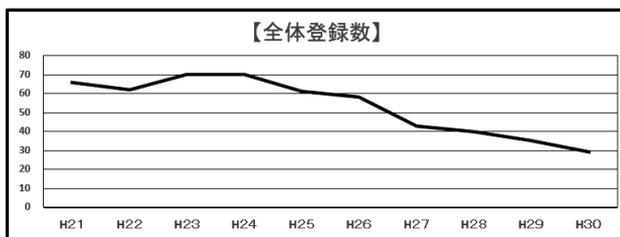
磐田市バレーボール協会

加盟チーム数 29チーム
 加盟人数 468人
 代表者 吉岡 伊作
 創立年 昭和50年度

【協会の概要】

磐田市バレーボール協会は、今年で創設44年目を迎えました。平成17年4月に磐田市・豊田町・豊岡村・竜洋町・福田町の5市町村が磐田市に合併され、バレーボール協会は（小学生部・家婦一部・家婦二部・一般部・シニア部・ソフトバレー部・中高校部）7専門部で構成されていました。合併二年目より、（旧）市・町・村から二名の役員を選出し指導普及部を新たに立ち上げ、磐田市バレー協会を対等に考えながら新しい風を協会に取り入れ、理事会にて活発な議論をしながら作り上げて来ました。現在は、役員85名・各部チーム登録会員人数約468名で運営されており、年間事業も各部で計画開催しております。今後はバレーボールを愛されるスポーツとして継続できるように、役員・チーム一丸となって取り組み、更なる若い意見を取り入れ市民スポーツとして、新たなニーズに沿った改革を求め楽しんで貰えるバレー協会目指して行きたいと思っております。

— チーム数の変動 —



— 役員の変更 —

◆(H21～28年度)・会長 佐藤 広海
 ・副会長 藤村 博美・理事長 吉岡 伊作

◆(平成29年～30年度)

・会長 吉岡 伊作
 ・顧問 松本 守弘 大場 貞夫 春田 良一
 大橋 なか 橋本 秀夫 宇藤 栄治
 ・副会長 藤村 博美
 ・参与 佐藤 広海
 ・理事長 佐藤 誠徳
 ・副理事長 市村 智 戸塚 靖
 ・事務局 中井きよ子
 ・会計 堀本 芳江

《専門部長》

・家庭婦人部 清水ゆう子
 ・婦人部 袴田 麻友
 ・シニア部 水野 早苗
 ・ソフトバレー部 鈴木 知之
 ・小学生部 秋元 富敏
 ・クラブ部 佐野 琢之
 ・普及部 鈴木 一郎

■ 協会事業 【H22年～活動状況】

1) H23年度『第26回 静岡縣市町協会等役員親睦バレーボール大会』磐田市当番開催。

初めての「ソフトバレー」にて多くのバレーOB役員が年齢層を感じさせない程笑顔で楽しんで頂きました。(参加：243名)

◆ 【静岡縣市町協会等 試合風景】



アッ 来た 行くわよー



年齢を忘れ笑顔笑顔・・・

2) H25年 NEC レッドロケッツバレー教室

❖ 磐田市合併10周年記念 ❖

■ 対象：中学生（女子）⇒126名（9校）



基本のパス・オデコの前で！

ナイスレシーブ



トップアスリートに
体験話して、バレー
選手は真剣に・・・



3) H26年バレーボール協会40周年記念事業

■ 静岡産業大学 磐田 女子バレーボール部
小学生バレー教室開催する。

(磐田登録8チーム参加)⇒ 145名



さー準備運動から、馬飛び頑張ってます。



バックパスそうそう・・・



できたー パチパチ・・・



市民男女混合7人制バレーで日頃の疲れをリフレッシュ!!

4) 第30回磐田信用金庫理事長杯 記念 大会

❖H28年度・家庭婦人、婦人部（43チーム）

磐田市近隣チーム参加により熱戦が笑いの中で大いに盛り上がる大会です。



磐田市バレーボールを引っ張ってくれる（いちえチーム）固定



初心者でも楽しめるバレー「小学軽量4号」ローテーション

5) 今後の取組み

グループ競技団体は役員・指導者不足により厳しくなると推測されます。今後は20～30代の意見を聞きながら育成に力を入れ、年齢に関係なく知恵を出しあって何事にもチャレンジし、親しみやすさ、楽しさを見出すなど更なる活性化を図ってバレーボール協会を盛り上げ、磐田市民に愛されるスポーツを目指して努力することと致します。

磐田卓球協会

加盟チーム数 74チーム
加盟人数 2,075人
代表者 大庭 正裕
創立年月 昭和53年7月

<組織>

磐田市及びその周辺地域の企業、クラブチーム、高等学校、中学校、スポーツ少年団等団体と個人の加盟を以って組織する。

<役員名簿>(平成30年4月現在)

会 長	大庭正裕
副 会 長	仲村保宣 海野嘉明 田中赫子
参 与	儘下高育
顧 問	片岡繁輝 内山 毅 尾高利男
理 事 長	永井睦人
副理事長	池島弘典 佐久間民子
事務局長	中嶋英明
総 務	中田伯良
理 事	川合修平 三室康史 太田修司 内藤慎吾 松下連弥 鈴木千恵 石川史江 牧野しのぶ 高橋由紀子 安間千代子 荒井孝子 村木由起 実淵玲奈 袴田由加里 永井舞香 水谷万記子
会計監査	鈴木重晴

<卓球協会概要>

昭和53年7月 磐田信用金庫、NTN磐田、ヤマハ発動機、磐田市役所等々の卓球関係者・地域の卓球愛好者により、磐田卓球協会が設立され、平成31年創立40周年を迎えます。

平成20年代より、スポーツ少年団の活躍で全日本卓球選手権大会において団体戦・個人戦で優勝することが出来ました。その後、毎年のように好成績を収め、順調に成長しました。平成28年リオ五輪では、水谷隼選手・伊藤美誠選手が団体戦・個人戦で銀・銅メダルを獲得しました。同年9月には、磐田市・体育協会のもと、磐田駅から市役所まで凱旋パレードが行われ、商店街を3万1千人の市民が沿道を埋め尽くしました。



平成28年9月3日凱旋パレード

市内のこのようなパレードはサッカー「ジュビロ磐田」の優勝以来、2度目のことでした。

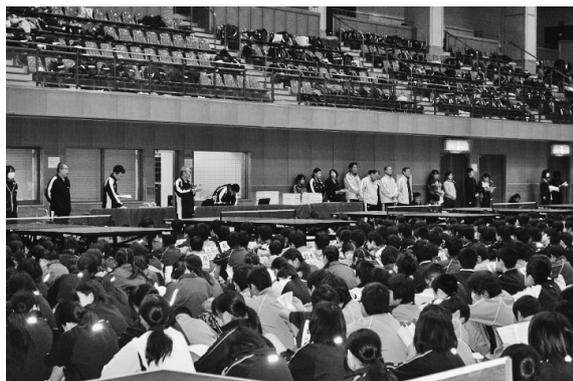
水谷隼選手・伊藤美誠選手をはじめとする磐田市出身者が、全日本卓球選手権大会・世界選手権及び東京五輪での活躍が期待されています。また、このような選手の活躍は、磐田市・磐田市体育協会のご支援の賜物だと思っています。今後とも微力ながら努力してまいります。

<現在の活動状況>

毎年、各関係団体からのご支援により、定期的に大会を実施しています。特色のある大会のひとつとして、平成25年6月8日アミューズ豊田にて、前期日本卓球リーグ・ホームマッチ磐田大会、「アスモ(現デンソー)対サンリツ」の試合を主管しました。



毎年新年早々の大会「いわしん理事長杯争奪卓球大会」は、県内外の小中高校生及び一般までの幅広い年代層の参加を頂き、個人戦とダブルス戦を実施しています。また、「ジュビロ杯争奪小笠・磐周中学生卓球大会」は小笠・磐周地区の中学生の強化を目標に、掛川・袋井・磐田の3協会の持ち回りで実施しています。



平成28年11月12日ジュビロ杯

また、無料卓球教室を月2回開催しています。老若男女を問わず『ゲームができるまで・卓球を楽しむことができるまで』を目標に活動中です。



無料卓球教室風景

平成30年3月磐田卓球場「ラリーナ」(全国でも珍しい卓球専用体育館)が完成いたしました。磐田市・磐田市体育協会、豊田町卓球スポーツ少年団指導者の水谷信雄氏、磐田卓球協会前会長儘下高育氏をはじめ、多くの方のご尽力によるものです。



平成30年3月21日完成記念式典

総合体育館を含め、ハード面では充実しつつありますが、ソフト面で卓球場ラリーナ』との関わり方が今後の課題でもあります。

本年度は試行的ではありますが、中学生の強化と指導者育成講習会を開催します。将来は地元出身の卓球経験者を講師に技術指導及び指導者育成講習会を定期的に開催することができたらと考えています。

<平成30年度協会主管大会>

- 全日本選手権大会(カデットの部)西部地区予選
- 全日本選手権大会(ダブルスの部)県予選
- ジュビロ杯争奪小笠・磐周中学生卓球大会

<協会主催大会>

- 第40回会長杯争奪卓球大会
- 第40回TSP杯争奪卓球大会
- 第61回磐田市民卓球大会
- 第40回ニッタク杯争奪卓球大会
- 第4回バタフライ・ダブルスカップ
- 第28回いわしん理事長杯争奪卓球大会
- 第27回セントラル杯争奪卓球大会

静岡県野球連盟磐田支部

加盟チーム数 34(一般21、少年6、学童7)
加盟人数 709人
代表者 支部長 川出 静夫
創立年 昭和24年

【組織】

昭和24年静岡県野球連盟磐田支部を結成

歴代支部長

初代 故 山本金一 S24～S63
二代 杉山 元 H元～H10
三代 故 藤田明弘 H11～H17

現役員

支部長 川出静夫
副支部長 鈴木房夫 鈴木文夫
理事長 鈴木房夫(副支部長兼任)
副理事長 鈴木啓司 加藤高敏
常任理事

鈴木俊夫 三上武夫 熊谷通彦 加藤文重
兼子 功 鈴木貴大 石川 剛 山下信好
丸之内保夫 本木 弘嗣 高森 剛

監事 井下田力 佐藤洋紀

会計 田代孝治

事務局 池田弘人

少年部長 小池桂三

審判部長 土田裕之

審判副部長 菅沼 達

審判部会計 内山和政

【現在の活動状況】

1. 県大会予選大会

(一般)A、B、Cの3クラスに分かれ下記大会に参加している。天皇賜杯、都市対抗以外は、ブロック大会を経て県大会へ出場する。

東海五県(A、B)、国体(A)

東日本、高松宮賜杯(1部B、2部C)

天皇賜杯(A、B)、都市対抗(A、B、C)

会長旗(C)

(全日本少年)

磐田支部内の中学校により予選を行い、全国大会で、全国大会が8月に横浜スタジアムで開催される。

2. 支部大会

市長杯(A、B) 山本杯、市議長杯(C)

3. 高校野球磐田市内大会

市内5校の参加により本年度で第37回を数える伝統ある大会である。第28回～37回の優勝は、



平成30年8月撮影 支部役員

磐田東5回、磐田南3回、磐田西1回、磐田農1回となっている。

4. 県西部中学校新人野球磐田大会

本年度で第61回を数える大会だが、春の選抜大会の磐周地区予選大会となっており、事前に開催される福田大会優勝校は参加しない。

第52回～60回の優勝は、磐田東3回、城山2回、磐田南部1回、浅羽1回、豊南・磐田第一合同チーム1回となっている。

5. 硬式野球教室

磐田、袋井、森の高校野球指導者に講師をお願いし、磐周地区の中学3年生を対象として9月から11月に開催している。29年度から4チームを編成し試合形式を取り入れた。

【平成 21 年から 30 年の全国大会出場チーム】

★JUGGLER(ジャグラー) 平成 21 年

第 31 回東日本軟式野球大会に出場し、キッセイ薬品(長野)と対戦し 13 対 0 で敗退した。



★磐田東中学校 平成 22 年

全日本少年春季軟式野球大会に開催地代表として出場。オール群馬クラブに 1 対 0 で惜敗した。



★マスターズ磐田 平成 30 年

第 62 回高松宮賜杯軟式野球大会に開催地代表として出場。吉田商店(茨城)に 3 対 1 で惜敗



【磐田支部協力事業】

1. 野球教室&野球検診

平成 26 年 1 月 19 日(日)に第 1 回が開催され本年で 6 回となる。ヤマハ野球部とOBによる野球教室と医師及び理学療法士による肩、肘を中心とした検診が行われ、第 4 回からは、エコーを使い肘の異常を正確に発見できる。



野球教室参加人数

第 1 回	264 人
第 2 回	244 人
第 3 回	243 人
第 4 回	251 人
第 5 回	270 人



現中日ストッパー 鈴木博之投手(左)

2. 幼児童期『ボール遊びの環境づくり』

～スポーツ(多様な遊び)を通じて幼児童の発育促進、健康で文武両道の幼児童を育てる。～
ヤマハ硬式野球部OB会ジュニア野球を指導する会の大場会長を中心に川出支部長、小池少年部長他で平成 29 年 9 月から活動している。



静岡県野球連盟福田支部

加盟チーム数 15チーム
加盟人数 386人
代表者 大石 勝馬
創立年 昭和27年

【組織】

・組織の概要

旧福田・竜洋・豊田地域のいずれかに居住又は、勤務所を有するもので編成されたチームを主体に構成している。

・歴代支部長

初代 百鬼 末太郎
2代 寺井 祐二
3代 中村 房一
4代 佐藤 須美男
5代 寺田 弘司
6代 内野 篤一
7代 太田 竹十
8代 古川 行雄
9代 加藤 徳郎
10代 鈴木 秀治

・現役員

顧問 鈴木 秀治・寺田猛司
支部長 大石 勝馬
副支部長 山部 弘司
理事長 後藤 譲
副理事長 新谷 賢紀・佐藤 繁
理事 鈴木 清・川島 広幸
鈴木 健仁・鈴木 成明
審判部長 政鹿 克之
副審判部長 山部 弘司
少年部長 加藤 章二
副少年部長 鈴木 啓之
事務局 鈴木 義里

【現在の活動状況】

1. 支部大会

登録チームが少ないためB・Cの2クラスに分かれ年間8大会を実施している。

一般（社会人）の部

（Bクラス）

東日本軟式大会1部

高松宮賜杯全日本軟式野球大会1部

（Cクラス）

東日本軟式大会2部

高松宮賜杯全日本軟式野球大会2部

（B・Cクラス）

東海5県軟式野球大会

国民体育大会軟式野球競技

天皇賜杯全日本軟式野球大会

県下都市対抗軟式野球大会

福田支部長杯軟式野球大会

暁杯軟式野球大会

少年（中学生）の部

全日本少年軟式野球大会

磐周地区中学新人軟式野球大会

クラブ交流中学野球福田大会

少年（学童）の部

しずぎんカップ軟式野球大会

高円宮賜杯全日本学童軟式野球大会

JA共済トーナメント大会

しずちゅう旗学童軟式野球大会

東海大学黒潮旗学童軟式野球大会

選抜少年野球福田大会

遠州若潮杯スーパージュニア野球福田大会

静ガス杯スーパージュニア野球大会

磐田サッカー協会

加盟チーム数 42チーム
代表者 安間 英雄
創立年 昭和56年から磐田サッカー協会規約を実施。設立はそれ以前

【組織】

〈役員〉

会長	安間 英雄
副会長	石川 操
副会長	三浦 哲治
副会長	山本 好夫
理事長	駒形 一路
副理事長	山田 智章
理事	大石健太郎
理事	大石 光治
技術委員長	新井 達雄
技術副委員長	永田 厚
審判委員長	小野田 敦
審判副委員長	松井 健吾
ジュビロ磐田	鈴木 祐志
社会人部長	水野 幸博
大学部長	成嶋 徹
高校部長	松浦 克行
中学部長	新井 達雄
少年部長	寺田 義則
シニア	鈴木 康之
フットサル	原 隆秀
顧問	鳥居 節夫
事務局	原田 和洋

【現在の活動状況】

活動計画（主催・主管・後援事業）

4月下旬から5月
磐田J C杯争奪磐田市U-11サッカー大会
11月
ジュビロ磐田メモリアルマラソン運営ボランティア
2月から3月
磐周社会人サッカー大会
3月下旬
西部高校サッカーフェスティバル磐田

その他（参加リーグ戦・大会など）

ジュビロ磐田 Jリーグ、天皇杯など
静産大磐田ボニータ なでしこリーグ2部
ジュビロ磐田U-18 プレミアリーグ
磐田東高校サッカー部 県Aリーグ
磐田南高校サッカー部 西部地区ユースリーグ
磐田北高校サッカー部 西部地区ユースリーグ
磐田西高校サッカー部 西部地区ユースリーグ
磐田農業高校サッカー部 西部地区ユースリーグ
ジュビロ磐田U-15 U-15東海リーグ
ジュビロSS磐田 U-15東海リーグ
ジュビロ磐田U-14 JリーグU-14リーグ
ジュビロ磐田U-13 U-13東海リーグ
IWATA EAST SC 県リーグ3部
FC 磐田APEX 県リーグ4部
中体連所属11チーム 各種大会参加
4種14チーム 各種大会参加
磐田東高校女子サッカー部 東海女子リーグ
磐田北高校女子サッカー部 県女子リーグ
ジュビロ磐田レディース 県女子リーグ
磐田シニア 県O-40、O-50、O-60リーグ

ゆめりあ、安久路公園、竜洋スポーツ公園、稗原
サッカー場などで試合を行います。
応援よろしくお願い致します。

磐田市空手道連盟

加盟チーム数	6チーム
加盟人数	240人
会 長	密岡 恭之
創 立 年	平成4年4月

組織

日本空手協会磐田支部
日本空手協会豊田支部
日本空手協会豊岡支部
日本空手協会竜洋支部
和道会修空会
ヤマハ発動機空手部の6団体で構成。

役員

会 長 密岡恭之
副 会 長 小林孝一・大庭信博
理 事 長 木村浩一
副理事長 今井政明・山田忠明
事務局長 永見基全・高橋征史
理 事 岩本一輝・寺田正子
加藤公人・佐藤 賢
鈴木義孝・平田直巳
名倉則宏

昭和34年9月 見付地脇町の宣光寺御住職の空手道に対する暖かいご理解とご協力により、初めて磐田市に道場を開設。

道場とは言え、寺院境内の一隅を借用し裸電球の下練習を開始、これが磐田支部発祥の基となる。(磐田支部の母団体 日本空手協会は文部科学省正式認可唯一の公益法人)

この年の11月磐田市教育委員会・中日新聞社の協賛を得て磐田市公会堂において、この年東海地方を襲った伊勢湾台風の災害救助募金を兼ねた第1回演武会を開催したのである。当日来賓でご出席頂いた当時の教育長が大変感激され、早速体育協会加入のご努力をいただき、磐田市体育協会に加盟を承認された。

平成4年4月 かねてより親交のあった和道会に呼びかけ、(社)日本空手協会・和道会の2流派5団体にて新に磐田市空手道連盟を発足。各道場合同の技術向上の合同練習及び演武会や大会等を行い錬成に努めている。

平成6年10月 県民スポーツ祭では磐田市で空手の大会が催され運営等を担当する。

平成7年10月 「市民体育のつどい」では日本・ブラジル修好100周年記念スポーツ交流大会演武会が行われ、ブラジル人の選手も交えて試し割りや型を披露。

平成18年まで磐田市代表として毎年県民スポーツ祭に参加。(この年をもって県スポは終了)

平成28年より、日本空手協会3団体(豊田支部、豊岡支部、竜洋支部)が加盟し現在に至る。



平成30年8月撮影 支部役員



和道会修空会支部の指導員と道場生



ヤマハ発動機空手道部



空手協会竜洋支部指導者と道場生



空手協会豊田支部指導者と道場生



空手協会豊岡支部指導者と道場生

優秀選手の紹介

小田俊也選手

静岡県空手道選手権大会 準優勝
国体静岡県代表

栗田 尊選手

文部科学大臣杯（高校の部組手） 準優勝

村松李音選手

静岡県大会（中学2年女子組手） 優勝

栗田 侑選手

東海大会（小学6年男子組手） 優勝
静岡県大会（小学6年男子組手） 優勝

永田あかり選手

静岡県大会（中学1年女子形） 優勝

今井政明選手

熟練者全国大会（団体静岡県代表） 優勝

練習風景



少年による板割り

山岳部

部員数 22名
代表者 倉知 英彦
創立年 昭和39年3月

「山ガール」という言葉が躍りだしてからそろそろ10年になろうとしています。以前は中高年の登山ブームと言われ、どこの山に行っても出会うのは中高年登山者ばかりでしたが今ではどこの山に行っても必ず若い登山者に出会います。「山ガールが山に入ればもれなく山ボーイもついてくる」とはどなたのセリフだったのでしょうか。今や老いも若きもファミリー登山者も山に登る時代になり、山ブームはもはやブームではなく誰もが始めようと思えばすぐに始められる「趣味は登山」として定着しました。

テレビでは芸能人が山岳ガイドに案内され百名山に登る番組が放映され、雑誌では山の基礎知識や道具、山岳保険にいたるまで特集され、時に観光案内さながらに山の景色や山小屋が紹介されています。その上インターネット上には数えきれない山の記事やブログが並んでいます。

磐田山の会の設立から今年で58年になりますがそうした溢れる情報のおかげで登山を始めるのは以前に比べ易なことであるかもしれません。しかしながらその一方で、経験値の浅い登山者による遭難事例がここ数年増えていることも事実です。数字の上では中高年遭難者、と括られてしまうのですが30代～50代の遭難件数は確実に増えている現状です。

磐田山の会設立当時からの会員は一部永年会員となり、年々会員の平均年齢は上がっていますが毎月第二木曜日の定例会においては、月一回の定例山行の計画、報告、反省、そして個人山行の報告などが話し合われます。また、春は残雪の山へ、夏はアルプスへ、秋は紅葉を求めて、そして白銀の冬山へと、季節の山行も積極的に行っています。山頂を目指してがむしゃらに歩いてきたピークハントの時代を経て、最近は季節の高山植物を愛でたり山からの眺望を心ゆくまで楽しんだりする時間も増え、会員の平均年齢上昇の良い表れかもしれません。



南アルプス 北岳の固有種 キタダケソウ



南アルプス 兎岳に咲く タカネヒランジ



八ヶ岳横岳 ツクモグサ

昭和40年代から毎年行ってきた市民登山ではありませんが、会員の高齢化と会員減少に伴い現在市民登山は行っておられません、登山教室として不定期に行っています

平成21年

平成22年 京丸山 (静岡県1469m)

平成23年 比叡山 (京都府848m)

平成24年

平成25年 石割山 (山梨県1412m)

平成26年

平成27年

平成28年 筑波山 (茨城県 876m)

平成29年 傘山 (長野県1542m)

二度目の東京オリンピックが開催される2020年、磐田山の会は設立60周年を迎えますが、過去に一度も一人も遭難者を出していません。当然のこととは言え、時に命がかかる登山においてこれは大変誇って良いことだと思っております。これからも「家に帰るまでが登山」と心得て仲間と共に楽しく、安全第一に活動していこうと考えております。



平成25年春山行 残雪の槍ヶ岳



平成26年夏山行 劔岳登頂 (テント泊)



平成23年11月 比叡山登山教室



平成29年夏山行 赤石岳から望む

【文責 片倉朋子】

磐田バスケットボール協会

加盟チーム数 68チーム
加盟人数 975人
代表者 鈴木 祐司(副代表)
創立年 昭和55年

【加盟団体（所属部）】

- ・小学生対象：ミニバスケットボールの部
- ・中学生対象：中学校の部
- ・高校生対象：高校の部
- ・大学生対象：大学の部
- ・市民全般：市民の部
(車いすツインバスケットボール、
一般社会人対象クラブを含む)

【組織】

① 組織の概要

磐田バスケットボール協会は、バスケットボールを通して、親睦を深めたり、心身を鍛えたりすることを目指すバスケットボール愛好者をもって構成する。

② 役員氏名

- ・会長：鈴木祐司
- ・副会長：角川重晴
- ・理事長：堀内昌文
- ・副理事長：春田智道
- ・事務局：山崎稔宏
- ・ミニの部理事：永井久義
藤原宏恭
高田大紀
- ・中学校の部理事：鈴木勝則
小沼裕樹
相場 誠
國永賢吾
- ・高校の部理事：長谷川竜一
浅井宏子
- ・市民の部理事：松本 武
水野 彰
久保慶之
- ・袋井代表理事：名倉宏和
- ・顧問：鈴木源市
榎本行宏
堀内 豊

【現在の活動状況】

① 事業内容

- ・各部における大会
- ・市民を対象にしたバスケットボール教室
- ・バスケットボールの競技力を向上させるためのトレーニングセンター
- ・審判技術向上のための審判講習会
- ・バスケットボール競技の楽しさを広めるための大会の誘致
- ・会員相互の親睦及び研鑽を図るための必要な事項
- ・関係機関との連携、その他目的達成のための必要な事項

② 主な活動状況と課題

- ・ミニバスケットボールの部
男子11チーム、女子10チームが加盟しており、年間を通して3つの公式戦を開催している。
県内各地区、県外チームとの交流が進み、西部支部大会を勝ち進み県大会や東海大会に出場するチームが出てきている。
ミニバスケットボールは、1試合に10人の選手がコートに立たなくてはならないルールである。近年、競技人口の減少に伴い、入部して間もない子どもや低学年の子どもも試合に出なくてはならない状況にあり、競技人口を増やすことが課題になっている。



ミニバスケットボールの大会の様子

・中学校、高校の部

中学生、高校生の大会を支援すると共に、強化に向けた施策を行っている。

ミニバスケットボールの指導者との交流を深め、小中高一貫してバスケットボールを発展させようとする取り組みを進めている。



高校の大会の様子

・大学の部

磐田市にある静岡産業大学が各種大会で活躍している。小中高生との練習交流やボランティアとしての大会運営への協力など、部門間の交流を積極的に進めている。

・市民の部（3×3大会）

多くの市民が参加できる出会いの場を作ること为目标に、3×3のゲームを通じて、バスケットボールの楽しさと新しい仲間とのふれあいを大切にした、バスケットボール教室を開催している。

・市民の部(車いすツインバスケットボール)

平成30年6月にアミューズ豊田で、第31回日本車いすツインバスケットボール選手権大会が開催された。全国から予選を勝ち抜いた12チームが集まり熱戦を繰り広げた。

また、8月には毎年、磐田市長杯争奪車いすツインバスケットボール大会を開催し、平成30年で14回を数えている。

磐田バスケットボール協会でも役員を動員し、これらの大会を全面的に支援している。

車いすバスケットボールは教育的にも福祉的にも意義の深い大会である。静岡県西部で活動している静岡バリアーズの支援を進めると共に、小学校での車いすバスケットボール体験や、高校生や大学生の大会ボランティア参加等、車いすツインバスケットボールの普及に努めていきたい。



ボランティアで活動する学生の様子

磐田市テニス協会

加盟チーム数 13団体598名
加盟人数 (平成30年4月現在)
代表者 中山 守
創立年 昭和52年8月

【概要】平成22年～

平成6年山内市長時代より、当協会では東大久保テニスコートの改修を要請してきましたが、平成28年3月に砂入り人工芝8面のテニスコートが完成しました。

それまでは設備の老朽化とハードコートのため安全性、利便性に問題がありました。それらの問題も解消され、利用する市民も多くなり磐田市はもちろんのこと近隣地域のテニス振興にも大きく貢献しています。

磐田市のテニスコート面数は設備の集約化のため、2会場のテニスコートが閉鎖されトータル3面減少しましたが、ナイター設備が充実しました。



完成記念式典（平成28年3月8日）

組織

(会長)

中山守 平成17年2月～

(理事長)

安形勝彦 平成17年2月～平成24年3月

高橋尚久 平成24年4月～

組織の目的

磐田市テニス協会は次の3項目を事業目的として活動を行っています。

1) テニス教室の開催

主に初心者を対象としたテニス教室を磐田、豊田、竜洋の各地域で開催しています。市民の健康増進と生涯スポーツとしてのテニス振興を目的とし、老若男女を問わず幅広い年代層から参加されています。

指導者には協会会員が担当し、ボランティア精神で協力を頂いています。コーチ陣にはこの場をお借

りまして感謝を申し上げる次第です。

2) テニス大会の実施

この事業は磐田市を含め、近隣地域のテニス選手相互の親睦と技術向上を目的として実施しています。試合から得られる楽しみ・感動・緊張感は挑戦しなければ得られません。

数年前よりネットからも大会申し込みができるようにし、遠方からの参加もし易くなりました。そのほか開催種目などにも考慮して、多くの選手が楽しめる試合をモットーに取り組んでいます。その改善効果のためでしょうか、参加者数が大幅に増加しています。

3) 磐田市体育協会主催行事への参画

NPO法人磐田市体育協会の加盟団体である当協会は、その主催行事には積極的に協力し参加しています。今後もジュビロ磐田メモリアルマラソンを始め、事業運営には協力していきたいと思っています。

【現在の活動状況】

東大久保運動公園テニスコート完成記念

平成28年3月6日東大久保コートの完成記念式典が行われた後、市制10周年記念事業の一環として当協会による記念イベントを開催しました。

全日本テニス選手権シングルの歴代優勝者である本村剛一プロ・浅越しのぶプロ・小畑沙織プロを招待し、エキシビションマッチ、プロとの挑戦マッチ、レッスン等を企画しました。参加者は間近にプロテニス選手のプレーに接し、日頃できない体験が味わえたのではないかと思います。天候にも恵まれ大勢のギャラリーが集まり成功裡に終わりました。



エキシビションマッチの招待選手 木村剛一プロ、小畑沙織プロ、浅越しのぶプロ、太田洋平（左端より）

新春テニス初打ち交流会

東大久保コート完成とともに、1月3日を「新春テニス初打ち交流会」と銘打って新たな事業を計画しました。昨年1回目を開催しました。準備期間も少なく参加者の集まりも心配でしたが市内・近隣から67名の参加がありました。今年の2回目も天候に恵まれ81名の参加者がありました。これからも企画内容の質を高め、活気あるものにしたいと考えています。

東大久保コート1周年記念イベント

平成29年4月2日には、東大久保コート完成1周年記念で国仲圭吾プロ・岡あゆみプロらを招き、エキシビジョンマッチ・テニス教室、その他スピードコンテストなどを企画、天候にも恵まれ多くのギャラリーを喜ばせ楽しい一日となりました。

年間行事

1) テニス教室

開催時期 開催コート 募集定員

- ・ 5月 リバーサイドテニスコート 15名
- ・ 5月 東大久保テニスコート 45名
- ・ 6月 ラブリバーテニスコート 25名
- ・ 9月 東大久保テニスコート 45名
- ・ 9月 リバーサイドテニスコート 15名
- ・ 10月 ラブリバーテニスコート 25名
- ・ 2月 東大久保テニスコート 20名

2) テニス大会

- ・ 4月 神谷杯テニス大会（ダブルス5種目）
- ・ 5月 春季大会（ダブルス5種目）
- ・ 6月 BC級ダブルス大会（3種目）
- ・ 7月 夏季大会（ダブルス5種目）
- ・ 8月 協会交流大会（ダブルス3種目）
- ・ 9月 磐田市民大会（ダブルス5種目）
- ・ 10月 双葉杯シングルス大会（6種目）
- ・ 11月 団体戦（1種目）
- ・ 12月 オール磐田ダブルス大会（5種目）
- ・ 2月 リバーサイドテニス大会（男子の部）
- ・ 3月 リバーサイドテニス大会（混合の部）
- ・ 3月 中速ダブルス大会（3種目）

3) その他

- ・ 1月3日 新春テニス初打ち交流会
- ・ 理事会の開催（1回/2ヶ月）
- ・ 3月 磐田市テニス協会総会
- ・ 静岡県テニス協会総会、代表者会議参画
- ・ 県大会・全国大会への代表選手支援

【今後の課題】

東大久保運動公園の砂入り人工芝コート8面は規模の大きな大会が開催できる会場になり、静岡県テニス協会からも大きな注目を集めています。しかし県レベルの大会誘致にはまだ付帯設備が不十分であり、更衣室・シャワー室、雨天待機所、管理室などの設置を要望していきたいと思います。

テニス教室の開催内容とテニス大会の試合要項・結果などは、当協会ホームページ

「<http://www.i-ta.jp>」に掲載しています。随時更新していますので興味のある方はぜひ閲覧してください。協会への加盟も随時受け付けております。

磐田市ソフトテニス協会

加盟チーム数 5チーム
加盟人数 1,045人
代表者 会長 安達 紘
創立年 平成18年3月

【組織】

組織の概要

(磐田市ソフトテニス協会の設立)

磐南5市町村合併に併せ、当協会の設立に向け関係者での話し合いを持ち、平成18年3月17日に設立した。

組織の紹介

当協会は設立以前の旧磐田市・旧竜洋町・旧豊田町の活動を継承しており、一般の大会・中学生の各種大会を開催するとともに、ソフトテニスの普及・発展のための教室の開催、ジュニアの育成に努めています。

平成28年度からは、磐周地区の中学校も入会し、静岡県ソフトテニス連盟にも加盟し協会として活動の範囲もひろがりました。

役員を紹介します (平成30年4月現在)

会長	安達 紘
副会長	古山 登章
〃	加藤 清
理事長	高田 静彦
副理事長	杉野 徹
理事	西本 鉄也
〃	永田 真有美
〃	小林 和彦
〃	長谷川 智
理事	町田 純一
事務局	田中 文博
会計	〃

【ソフトテニスの歴史】

明治30年頃、日本で始まったもので、硬式にかわってゴムボールによるテニス、軟式テニスの名で普及したもので、大正・昭和と衰退・隆盛を繰り返し、現在に至っている。

平成元年に、軟式テニスからソフトテニスに名称も変わり、平成5年に国際競技規則(国際ルール)が定められ、平成16年には競技規則が改正されている。

【ソフトテニスの楽しみ方】

協会で、毎年8月に初心者ソフトテニス教室を実施しております。最初は全くボールが打てなかった人が、体験・練習することによって徐々に上達して打てるようになっていきます。

テニス教室に限らず、その、うまくなっていく過程が大変楽しく、充実感も味わえます。ゲームをやるとより楽しめます。

【現在の活動状況】

(現在までの活動状況)

○平成29年度大会実績

5/3 第18回磐田中学生選手権大会

男子72チーム

女子93 〃

5/4 第18回ツルヤ杯中学生大会

団体戦 男子12チーム

女子16 〃

5/13 第31回豊田中学生女子春季大会

女子88チーム

7/2 第21回竜洋リバーサイド親睦大会

一般男女19チーム

9/2 第31回豊田中学生女子秋季大会

女子88チーム

9/18 磐田市民中学生大会

男子58チーム、女子68チーム



市民大会開会式の様子

9/30 磐周地区中学生新人大会

男子団体戦 12チーム

- | | |
|--|-------------------------------|
| 10/1 磐周地区中学生新人大会
男子個人戦 69チーム
女子団体戦 16チーム | 10/6・7 磐周地区中学生新人大会
個人戦・団体戦 |
| 10/7 磐周地区中学生新人大会
女子93チーム | 11/17 第17回中学校対抗竜洋大会
女子団体戦 |
| 11/11 第16回中学校対抗竜洋大会
女子団体戦 16チーム | 12/8 磐周地区中学1年男子大会
団体戦 |
| 12/10 磐周地区中学1年生大会
男子団体戦 12チーム | 1/12・13 第30回竜洋リバーサイド大会 |
| 1/6 第29回竜洋リバーサイド大会
女子53チーム | 1/19 豊田中学生女子選抜インドア大会 |
| 1/13 第29回竜洋リバーサイド大会
男子48チーム | 2/9 第15回磐周地区中学生大会
1年男子 |
| 1/27 豊田中学生女子選抜インドア大会
女子42チーム | 2/10 第17回磐南地区中学生大会
1年女子 |
| 2/3 第16回磐周地区中学生大会
1年女子 63チーム | 2/16 磐周地区中学1年生女子大会
団体戦 |
| 2/17 磐周地区中学1年女子大会
団体戦 16チーム | |
| 3/3 第14回磐周地区中学生大会
1年男子 62チーム | |

協会設立以来、以上の各種大会開催の他、年間を通して教室の開催をした。

○平成30年度大会計画

- 5/3 第19回磐田中学生選手権大会
- 5/4 第19回ツルヤ杯中学生大会 団体戦
- 5/12 第32回豊田中学生女子春季大会
- 7/1 第22回竜洋リバーサイド親睦大会
- 9/1 第32回豊田中学生女子秋季大会
- 9/17 磐田市民中学生大会

磐田市バウンドテニス協会

加盟クラブ数 7チーム
加盟人数 100人
代表者 松浦 利治
創立年 昭和61年

[組織]

加盟クラブ数 7チーム

加盟クラブ	創部年
磐田クラブ	昭和61年
ひまわり	平成15年
ジョイ	平成15年
ドリーム磐田	平成19年
SAKURA	平成19年
NICE IWATA	平成21年
向笠クラブ	平成21年

[役員]

会長	小沢ハル子
理事長	松浦利治
理事・事務局	内山依佐子
理事	松浦一浩
理事	長谷川貞恒
理事	谷崎仁博
理事	松下美津子
理事	石田充

[主な行事]

磐田市バウンドテニス協会親善交流大会
ひまわり親睦大会
SAKURAかき氷大会
SAKURA交流大会
磐田市体育協会主催のボランティア活動
(ジュピロマラソン・スタッフ、かぶと塚公園ク
リーンアップ作戦等)

[目的]

バウンドテニス
いつでも！どこでも！だれでも！
をキャッチフレーズとし、生涯スポーツとして常に
普及活動に励み大勢の仲間づくりをして楽しんで
ただけると共に、競技スポーツとしても活躍してい
ただければと思います。

[現在の活動状況]

県内外各地の交流大会及び練習会、東海ブロック大会、全国大会等に参加。平成30年5月5日に行われた、第36回全日本バウンドテニス選手権大会では、男子ダブルス・シニアの部でSAKURAの立石芳見・ドリーム磐田の村田裕さんペアが3位入賞を果たしました。他にも県予選を勝ち抜いて参加したドリーム磐田の境伸英さんシングルス・フリー、松下美津子さんシングルス・ミドル、向笠クラブの横山玲子さんシングルス・フリー、女子ダブルス・ミドルSAKURAの内山依佐子・ジョイの鈴木多美子さん達が頑張りました。各クラブ週1回～3回位の練習で技術向上と親睦を深めています。会員は男女を問わず幅広く楽しんでいます。(10代～70代)近年では、ジュニアの育成を全国的に広めるように通達が来て、向笠クラブにて5名のジュニアが練習に励んでいます。↓



[クラブの紹介]

	クラブ名	人数	代表者名	連絡先	電話番号
1	磐田クラブ	23	谷崎仁博	磐田市富士見町2-15-5	080-9720-4649
2	ひまわり	19	谷崎仁博	磐田市富士見町2-15-5	080-9720-4649
3	ジョイ	9	長谷川貞恒	浜松市南区三和町278-5	090-4183-0777
4	ドリーム磐田	7	松下美津子	磐田市野箱71-2	090-3380-5977
5	SAKURA	10	松浦利治	磐田市西貝塚1994-5	090-1747-2831
6	NICE IWATA	7	金原久代	磐田市富士見町3-13-2	090-4469-6191
7	向笠クラブ	25	石田充	磐田市向笠新屋740-32	080-5130-1574

[大会状況]

年	月	日	曜日	大会名	会場
30	4	1	日	第25回県民スポレク祭	藤枝市・県武道館
	5	5	土祝	第36回全日本BT選手権大会・ダブルス	東京体育館
		6	日	第36回全日本BT選手権大会・シングルス	東京体育館
		13	日	第29回けんこう長寿祭BT大会	静岡市南部体育館
	7	29	日	第17回東海ブロックミックスダブルス大会兼 第4回東海ブロックジュニア大会	愛知県・北スポーツセンター
	8	5	日	第7回かき氷大会	豊岡総合体育館
	9	16	日	第22回磐田市バウンドテニス協会親善交流大会	磐田市総合体育館
		30	日	第27回東海ブロック親善交流大会	岐阜県・瑞浪体育館
	10	6	土	第21回全日本ゴールド大会・1日目	愛媛県・
		7	日	第21回全日本ゴールド大会・2日目	愛媛県・
	12	16	日	第14回東海ブロック静岡県予選大会	県営草薙体育館
		24	月祝	第22回西部大会兼第4回ジュニア大会	浜北グリーンアリーナ
31	1	5	土	第23回ふじさんCUP	藤枝市・県武道館
		13	日	第7回SAKURA交流大会	アミューズ豊田
		20	日	第14回東海ブロックBT選手権大会	磐田市総合体育館
	3	10	日	第35回BT選手権大会第37回兼全日本予選& 第5回ジュニア選手権大会	静岡市中央体育館

磐田市ソフトボール協会

加盟チーム数 46チーム
加盟人数 1,060人
代表者 安間 英雄
創立年 昭和47年

[組織]

各クラスより選出された常任理事により常任理事会にて事案決定。

(主な役職)

会 長	安間 英雄
理 事 長	小林 春男
事務局 長	木俣 周吉
会 計	柴田 雅弘
県ソ協審判副委員長	白井 達己
審 判 長	藤田 哲夫
記 録 長	鈴木 正良
会場整備長	竹島 孝

[活動状況]

1年の間に4クラスに分かれてリーグ戦や小学生大会及び市民大会等の各種大会を開催するとともに、毎年2～3種目の県大会及び県リーグ等を開催している。主な事業・成績は次のとおりである。

平成22年度

県成年男子・女子国体選考会、しずおかスポーツフェスティバル西部地域大会、県高校男子・女子新人大会及び県男子・女子リーグを開催

第61回東海地域総合女子選手権大会にドリーム☆ワールドが出場

平成23年度

日本女子リーグ2部第2節を2日間にわたり、磐田城山球場・福田公園野球場で開催（ドリーム☆ワールドなど8チームが参加）

県レディース大会（全日本予選）、県小学生男子・女子新人大会及び県男子・女子リーグを開催

第51回全日本実業団女子選手権大会及び第62回東海地域総合女子選手権大会にドリーム☆ワールドが出場

平成24年度

県小学生男子・女子大会（全日本予選）、県高校女子新人大会西部地区予選会及び県男子リーグを開催

第52回全日本実業団女子選手権大会にドリーム☆ワールドが出場し、第3位

平成25年度

県高校総体西部地区予選会、県一般男子大会、県ジョイフルスローピッチ大会を開催

第26回全国健康福祉祭（ねんりんピック）に磐田シニアクラブが出場

第53回全日本実業団女子選手権大会にドリーム☆ワールドが出場し、第3位

平成26年度

第11回ジョイフルスローピッチ全国大会を豊岡野球場ほか3会場で開催。男子の部23チーム（台湾・米国・中国を含む）、女子の部15チーム、混合の部3チームの総勢41チームが参加

県壮年大会、県男子リーグを開催

平成27年度

磐田市合併10周年記念及び磐田市ソフトボール協会創立40周年記念事業として、第48回日本女子リーグ1部第1節を磐田城山球場で開催。ビッグカメラ高崎など6チームが参加し、2日間で約4,000名の観客が世界レベルの試合を魅了した。

県クラブ男子・女子選手権大会、西部連絡会男子・女子大会を開催

第67回全日本女子総合選手権大会にドリーム☆ワールドが出場
国民体育大会東海ブロック大会（成年女子の部）にドリーム☆ワールドチームが主体となり県代表として出場

平成28年度

県高校男子・女子選手権大会、県男子リーグを開催

第49回日本女子リーグ1部第9節を磐田城山球場で県協会と共同開催

平成29年度

県壮年大会、県エルダー大会、県実年大会を開催
第41回東海地域一般男子大会に親和会が会場

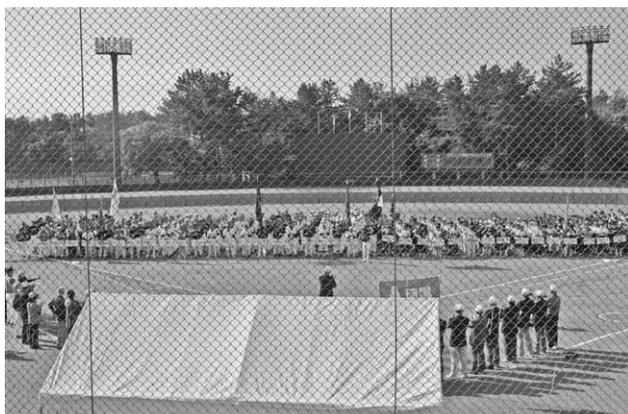
平成30年度

県一般男子選抜大会、しずおかスポーツフェスティバル西部地域大会、県男子リーグを開催

第15回全日本一般男子大会に親和会が会場



平成25年度第26回全国健康福祉祭（高知県）に磐田シニアクラブ出場。



平成26年度第11回ジョイフルスローピッチ全国大会を豊岡野球場他3会場で開催。男子の部23チーム（台湾・米国・中国を含む）女子の部15チーム・混合の部3チーム総勢41チーム参加。



平成27年度磐田市合併10周年記念及び・磐田市ソフトボール協会創立40周年記念事業として第48回日本女子ソフトボールリーグ第1節を磐田城山球場で開催、2日間で約4000人の客が観戦、上野投手の前で小学生にとって最高の思い出になったと思います。

第15回静岡県一般男子ソフトボール大会
兼 第15回全日本一般男子ソフトボール大会予選会（最終日）

期 日 平成30年5月19日（土）

会 場 裾野市営グラウンド他

心配された雨も早朝にはあがり、絶好のコンディションにて最終日を迎えた。

雨により順延となっていた準決勝を行い、決勝戦は八坂球友会（清水）と親和会（磐田）との熱い戦いとなり、接戦を制した親和会（磐田）が初優勝を飾った。



優勝 親和会（磐田）

優勝チームは本県代表として全国大会へ推薦出場する予定である。

（全国大会 9月1日～3日 島根県 雲南市）

平成30年度第15回県一般男子大会で親和会が見事優勝 島根県で開催された全国大会に出場した。

磐田弓道協会

協会員数 115人
代表者 石井 日出雄
創立年 昭和24年

【役員】

会長 石井 日出雄
支部長 山下 哲章
副会長 杉本 信博 新橋 秀次郎
会計 國武 春作 上野 早織
競技運営 加藤 真健 田中 淳司 丸山 圭介
平田 富子 石原 和美
体協社員 澤井 健 長谷川靖 伊藤 健
幹事 伊藤 英男

【弓道協会沿革】

磐田弓道協会は、見付旧専売公社で産声を上げ、昭和24年に静岡県弓道連盟の結成と同時に「専売道場」として加入しました。

昭和46年城山球場北側に「市営弓道場」が建てられそこに拠点を移し「磐田支部」の名称で静岡県弓道連盟に登録しました。

昭和47年には磐田弓道協会として磐田市体育協会に加盟し現在に至っております。

道場は、「見付旧専売公社内弓道場」次に、城山球場北側の「市営弓道場」を拠点としていましたが、平成4年に「かぶと塚公園」内に弓道場が建てられ現在に至っております。

【弓道協会の紹介】

現在会員数は115名と静岡県弓道連盟に所属する支部でも上位5位に入る会員数です。年齢層は10代から90代までと幅広く初心者から段位、称号者で均等に在籍しているのが近隣弓道会にはない特徴であり、強みです。道場での練習時間は8時30分～21時30分までと年配者、主婦、学生、会社員という日々弓道に費やせる時間が異なる様々な協会員にもうれしい環境です。

最近は女性の入会者が増加し、会員の4割以上を占めるようになりました。



平成18年元旦初射会記念撮影

(行事)

会の年間行事は主に、月例会（1回/月）、磐田市長杯弓道大会（5月）、射初会（元旦）、年度末総会（3月）、初心者弓道教室（9月～11月）があり、その他外部（他支部）で開催される大会・審査・講習会にも積極的に参加しています。



磐田道場での射風景

(成績)

静岡県支部対抗弓道大会 優勝4回、準優勝5回、3位入賞8回・県民スポーツ祭（市の部） 優勝3回、準優勝1回、3位入賞6回 静岡県西部地区大会優勝、入賞多数 我々磐田弓道協会から国民体育大会、ねりんピックの県代表選手が誕生しており、その他にも全国大会、東海大会、県大会、西部地区各大会で優勝や上位入賞と優秀な成績が数多く残っています。

(昇段審査)

磐田弓道協会員は的中数を競う競技会だけではなく、体配、射法、射技の全てが審査される「昇段審査」にも積極的にチャレンジして、毎年数多くの昇段者が誕生しています。

【最近10年間の活動】

(広報活動)

平成26年弓道の競技及び磐田弓道協会の活動を広く知らしめる為、「磐田弓道協会公式ホームページ」を開設しました。これと同時に協会の活動を詳細に紹介するブログ「磐田弓道協会だより」も開設し、協会の活動を一般の方々を知っていただくことが出来るようになったと思っています。

このホームページやブログを見て弓道の経験者で再開したいと思っていた方々の当協会への入会が飛躍的に増加したことは喜ばしい事です。

ホームページのメールで「初心者弓道教室」の応募を受付開始するとその気軽さで、電話応募のみの時より格段多くの応募があり、弓道を始めてみようと思う方々の助けになっています。



弓道協会公式ホームページ

(弓道競技の普及活動)

磐田弓道協会は「初心者弓道教室」の活動を充実させながら毎年継続しています。毎年15名ほどの教室卒業者が弓道協会に入会し会員の増加と共に弓道競技の普及に貢献しています。それ以外に磐田体育協会主催のスポレク活動の中で弓道協会として「ミニ弓道教室」を開催し毎年350名以上の親子に実際に弓を引いてもらい、弓道の楽しさを伝える活動を継続しています。



初心者弓道教室の講習風景

【現在の活動と今後の展望】

(年間行事)

- 1月1日 新年射初会(しんねんいぞめかい)
- 1月5日～2月4日 寒稽古期間
- 2月中旬 月例射会
- 3月中旬 年度総会と月例射会
- 4月中旬 月例射会
- 5月下旬 磐田市長杯弓道大会準備と大会
- 6月中旬 月例射会兼県支部対抗戦選考会
- 7月・8月中旬 月例射会
- 9月中旬 月例射会(五十射会)
- 9月上旬～11月上旬 初心者弓道教室
- 10月体育の日 スポレク(ミニ弓道教室)
- 10月・11月中旬 月例射会
- 12月中旬 大掃除と納射会

(今後の展望)

外部競技会参加等の活動と共に弓道の普及活動をより充実させ進めていきます。それと同時に平成30年度完成した弓道遠的場を積極的に活用し、遠的競技の競技力を向上し磐田支部から多くの国体選手の育成を図っていきます。

磐田バドミントン協会

加盟人数 98人

代表者 会長 増田 英雄

創立年 昭和50年6月

磐田バドミントン協会は、磐田市体育協会に昭和50年6月に18番目の専門部として加盟が承認されました。

バドミンントンの歴史は、諸説ありますが有力とされている説は、西暦1820年代にインドのプーナで行われていた「プーナ」という皮でできた球をネット越しに打ちあう遊びを、当時イギリスの植民地であったインドから帰ってきたイギリス人兵士が1873年に本国に伝えたのが始まりとされています。プーナを紹介するためにシャンパンの栓（コック）に鳥の羽根を刺したものをういてテニスラケットで打ち合っせて見せた場所がイギリスのグロスターシアのバドミントン荘という邸宅であったためバドミンントンの名称がつかまりました。

近年のバドミンントンは、1988年のソウルオリンピックの公開競技を経て、1992年のバルセロナオリンピックより正式種目として採用されています。

北京オリンピックの「スエ・マエ」「オグ・シオ」の女子ダブルスの活躍からこれまでにないバドミンントンの人気を博しています。最近の日本人トップレベルにランキングされているプレイヤーは、世界ランキングにも上位に顔を連ねています。世界で活躍するトッププレイヤーの影響で競技者としてのバドミンントンプレイヤーは、確実に増加しています。一般の方でも興味を持ってバドミンントンに取り組む事は、底辺の拡大として大変重要なことです。

磐田市の現状として、磐田市内の高等学校には部活としてのバドミンントン部があります。しかし、競技として始める年齢が高校生になってからのプレイヤーが殆どなのが現状です。現在では、ジュニアから育成していかなければ、なかなか日本でもトッププレイヤーとして活躍できないのが現状です。

磐田バドミンントン協会では、競技としてバドミンントンを始める“きっかけ”作りとして毎年「初心者バドミンントン教室」を実施しています。大勢の参加者がありますが継続して競技としてのバドミンントンをされる方が多くは現れません。参加者の多くは、社会人の方が多く健康の維持・増進のため体を動かしてみたいという目的の方が大半です。初心者バドミンントン教室を卒業された方で、市内のバドミンント

ン競技の団体に加盟して継続してプレーをされている方も大勢います。生涯スポーツとしては、大変立派なことであると考えます。今後も「初心者バドミンントン教室」を実施して競技者としてのプレイヤーの発掘と生涯スポーツとしての底辺拡大と普及を図ります。

競技として参加者を募り「磐田市民バドミンントン大会」を毎年実施しています。競技としてのバドミンントン経験者が増加しているため参加者も確実に増加しており、競技レベルの向上もしております。生涯スポーツとして継続している年配者もいるため参加者の年齢も上がってきています。

今後は、磐田市から日本のトッププレイヤーが輩出できるような環境作りをしていきたいと思ひます。

磐田市民バドミンントン大会成績

平成29年3月

男子ダブルス

- 第1位 渡邊・山岸
- 第2位 浅川・穴井
- 第3位 馬場園・高木
- 〃 山田・松永

女子ダブルス

- 第1位 鈴木・村上
- 第2位 島田・佐野
- 第3位 大庭・木下
- 〃 藤森・浅見

男子シングルス

- 第1位 鈴木
- 第2位 串山
- 第3位 松永
- 〃 浅川

女子シングルス

- 第1位 村上
- 第2位 鈴木
- 第3位 大庭

平成30年3月

男子ダブルス

第1位 高橋・井上

第2位 金原・浅川

第3位 渡邊・山岸

〃 松岡・重本

女子ダブルス

第1位 亀山・村上

第2位 島田・増田

第3位 中尾・中村

男子シングルス

第1位 松永

第2位 金原

第3位 浅川

〃 上村

女子シングルス

第1位 亀山

第2位 浅見

第3位 野島



大会風景

磐田市水泳協会

構成人数 約65人

代表者 寺田 良博

創立年 昭和59年5月25日

歴代会長

- (1) 大杉信孝（昭和59年5月～平成11年4月）
- (2) 川島文雄（平成11年5月～24年4月）
- (3) 寺田良博（平成24年5月～ 現在 ）

活動内容等

主な事業は、水球教室、小学生水泳教室、水泳大会の開催で、その実績については下記のとおりです。

平成20年以前の状況については、体協60年記念誌に掲載してあります。

また、平成23年8月には「磐田の水泳史」を発行し、市内の学校や図書館などに配布してあります。

(1) 小中学生水球教室

毎年7月末に磐田南高校・磐田西高校プールを使用して水球教室を開催しています。

期間中は同校の水泳部員や磐田水球クラブ会員も補助員として手伝ってくれています。

年度	開催期日	会場	参加者
平21	6/10～9/12	磐田南高	44人
平22	7/28～8/1	〃	36〃
平23	7/27～8/6	磐南/西高	62〃
平24	7/27～7/31	〃	55〃
平25	7/24～7/28	〃	24〃
平26	7/29～8/2	〃	46〃
平27	7/28～8/1	〃	55〃
平28	7/27～7/31	〃	70〃
平29	7/26～7/30	磐田南高	57〃
平30	7/26～7/29	〃	50〃

平成3年全国高校総体水球競技が磐田南高校で開催され、これを契機に磐田で水球が盛んになりました。

近年は県選抜チームとして「PISCINA静岡」小学生・中学生・高校生のチームを編成しジュニアオリンピックなどに出場しています。



平成26年7月水球教室

(2) 小学生水泳教室

小学生水泳教室は、平成24年8月までは磐田市民プールで開催していましたが、同プールが閉鎖になってからは中部小学校で開催してきました。そして平成30年からは、磐田北小プールが改築されたので、同校で開催するようにしました。

年度	開催期日	会場	参加者
平21	8/13～16	市民プール	92人
平22	8/12～15	〃	69〃
平23	8/11～14	〃	49〃
平24	8/11～14	中部小	51〃
平25	8/10～13	〃	46〃
平26	8/9～12	〃	97〃
平27	8/13～16	〃	77〃
平28	8/13～16	〃	86〃
平29	8/11～14	〃	122〃
平30	8/11～14	磐田北小	109〃



平成30年8月水泳教室

(3) 中遠地区広域兼磐田市水泳競技大会

昭和59年に市民プールがオープンしてから毎年9月に開催してきた本大会は、平成23年夏に同プールが閉鎖となったので、平成23年9月の第27回大会をもって終了となりました。

回	開催年	月日	会場	参加者
1	昭60年	9/8	市民プール	438人
2	昭61年	9月の	同上	300人
~	~	第1		~
24	平20年	日曜日		500人
25	平21年	9/6	同上	307人
26	平22年	9/5	同上	303人
27	平23年	9/4	同上	379人



平成22年9月大会

(4) 磐田市短水路水泳競技大会

平成23年まで開催してきた「中遠地区広域兼磐田市水泳競技大会」に代わり、平成24年からは会場を福田屋内スポーツセンタープールで「磐田市短水路水泳競技大会」として始められました。

回	開催年	月日	会場	参加者
1	平24	9/30	福田屋内SCプール	367人
2	平25	9/29	同上	390人
3	平26	9/28	同上	400人
4	平27	9/27	同上	424人
5	平28	10/2	同上	389人
6	平29	9/30	同上	345人
7	平30	9/30	同上	372人



平成27年9月大会

市内の現況

磐田市内では、飛込とアーティスティックスイミングを組織立って活動しているものはありません。水球は磐田南校、磐田西高校で行われています。競泳は市内5高校、4中学に水泳部があります。

民間のスイミングクラブは磐田カルチャースイミングセンターとJSS磐田スイミングスクールの2社、プールを有するスポーツクラブはスポーツクラブアクトス磐田とJSSホイッスル磐田スポーツクラブです。

公営のプールは磐田市温水プール、福田屋内SCプール、竜洋海洋センタープールの3ヶ所です。

磐田市相撲連盟

加盟人数 20人

代表者 会長 高橋 一良

創立年 昭和31年

【目的】

相撲という国技を通じ、日本の伝統と礼節を守り、青少年の健全な心身を育み、ふるさと・磐田の発展に寄与しよう。

【主な年間行事】

- ・元旦祭、土俵清め式
- ・磐田すもうクラブの各種行事
 - 卒業式
 - 優秀選手表彰式
 - ちゃんこお楽しみ会
- ・各種対外相撲大会への参加
 - 全国小中学生木曾福島大会
 - 静岡県小学生すもう大会
 - 会長杯中学生相撲選手権大会
 - 国民体育大会県選考会(相撲の部)
 - 静岡県相撲選手権大会
 - 中体連大会、東海大会相撲競技
 - 全国都道府県中学生相撲選手権
 - しずおかスポーツフェスティバル他
- ・若宮八幡宮奉納相撲の取り仕切り
- ・ジュビロ磐田杯争奪市民相撲大会
 - わんぱく相撲磐田場所を一般社団法人磐田青年会議所と合同開催（市民大会は第42回、わんぱくは第32回）
 - わんぱく相撲は県大会、全国大会あり
- ・すもう教室の開催
- ・通常稽古は週3回、水木土曜日は夜7時から、磐田市営相撲場にて実施。（国府台上野公園内）

【近年と現在の活動状況】

ここ数年は、わんぱく相撲は県大会の壁が破れず、東京国技館に行けていない。しかし、稽古は、ベテラン内野時彦、若手中村拓也、中村大輔コーチのもと、熱心に行われている。女子の参加も増え、お母さん方の応援もあり、土俵回りも賑やか。体協の60年史に記載した平成21年以降では、磐田第一中学校から県高校相撲の名門飛龍高校に、中村拓也、大輔兄弟そして城山中学校から八木裕真が進学し、激しく厳しい稽古に勤しんだ。



八木裕真君西島杯優勝

八木裕真は、現在平成30年同校2年生。小中学校時代の活躍は以下の通り。小5年わんぱく相撲全国大会出場。同6年ベスト16、中1、2、3年と全国中体連大会に出場し、城山中学校と磐田の名前を高めた。3年で個人ベスト32が最高成績だった。

なお、神明中出身で磐田すもうクラブの一員だった江塚薫は、平成28年5月大相撲の初土俵を四股名「江塚」で飾り、小さな頃からの夢だった各界入りを果たした。ハンディキャップに負けないで、関取をめざす。



現在序二段江塚薫関の雄姿

磐田市アーチェリー協会

加盟人数 32名
代表者 寺田 幹根
創立年 昭和62年

【組織】

1.協会の概要

磐田市アーチェリー協会は、昭和62年4月の設立と同時に磐田市体育協会、静岡県アーチェリー協会に加盟し、昨年の平成29年に30周年を迎えるに至った。会員数は、設立時は7名の会員でスタートしたが、初心者教室の開催、経験者の加入等により現在は32名になっている。

練習日は、毎週日曜日の午前を協会の基本練習日とし、会員のレベルを考慮し短距離の30mを中心に練習しており、日曜以外は個人の自由練習で、4月に完成したかぶと塚の新アーチェリー場で行っている。

2.協会の紹介

現在の会員32名中アーチェリー経験者は10名程度で、多くの会員は協会が開催した初心者教室を経て会員となっている。また、年代別では60歳以上の会員が15名と約半数を占め年配者が多くなっている。

そのため、かつては県大会や全国レベルの大会に参加した競技志向の会員もあったが、現在では健康や体力の維持・向上、余暇の楽しみ、あるいは会員相互の親睦が主な目的となっている会員がほとんどで、矢を射る時間よりもおしゃべりの時間の方が多いい会員もみられる。



臨月でも楽しむ会員

3.役員を紹介

協会の役員としては、会長以下、理事長、事務局、会計、監査、理事数名をおいており、任期は2年となっている。

平成30年度の役員は下記の通りである。

顧問	河島 直明
会長	寺田 幹根
理事長	半場 久博
事務局	山中 正三
会計	田中 裕之
監査	岡本 公子
理事（競技運営）	横井 利博
理事（射場整備）	白井 康雄
理事（普及指導）	理事長兼務

【現在の活動状況】

1.競技の魅力

アーチェリーは矢をつがえ弓を引き、的を狙い弦を放す。そして矢の当たったところの点数で勝敗が決まる。至ってシンプルな競技であり、初めての人にもルールが解り易い。その反面、知的作業が含まれている。例えば風がどのくらい矢飛びに影響するか等を瞬時に判断しなければならない。

また、アーチェリーは自分の体格や力量に応じた強さの弓を引くことができることから、子供から年輩の方、障害を持った方も同じ条件で競技できる数少ないスポーツでもある。選手生命が長く、生涯スポーツとしても長く楽しむことができ、レクリエーションとして手軽にできるが、トップアーチャーになるには高度な技術と精神力が必要であり、入口は広く奥が深いスポーツである。

2.活動状況

(1) 新アーチェリー場の完成

協会設立当初は東大久保運動公園の一面をゲートボールと共用で利用していた。その後、平成4年に城山球場北側の旧弓道場を短距離用の練習場として借用することが出来たが、平成19年に建物の老朽化により取り壊しとなった。そのため、東大久保運動公園に恒久的な射場の設置を磐田市に働きかけた結果、50mまで可能な市営アーチェリー練習場を整備していただいた。

ところが、平成27年4月に隣接したテニスコートの拡張整備に伴い閉鎖となったことから、向笠地区にある向陽調整池グラウンドを仮射場として活動を余儀なくされたが、平成30年4月にかぶと塚公園に70mまで射ることが出来る本格的なアーチェリー場が完成し利用している。

(2) 初心者教室会の開催

協会の設立当初よりアーチェリーの魅力を伝え、普及と会員拡大を目的に初心者教室を春・秋の年2回開催してきた。

ところが、平成27年に仮射場に移動し準備等に手間がかかるようになったことから止むを得ず秋の1回開催としたが、今年新射場が完成したので従来通り年2回の開催でアーチェリーの魅力を伝えていく計画である。



新アーチェリー場での初心者教室

(3) 月例会の開催

毎月会員のレベルアップと親睦を目的に月例会を開催している。当初は50・30mの72射であったが、平成20年頃より初心者でも参加できるよう30mを72射、冬期はインドアの競技に合わせて18mを72射で行っている。

今後は、新射場が完成したことからオリンピックを含めた一般的な種目の70mでも行っていきたい。

(4) 県月例会の開催

静岡県アーチェリー協会は各種の大会を主催し、各支部が主管となり準備から開催まで担当しており、磐田市は例年6月例会を担当している。

開催場所は、かつては各主管支部内（磐田は東大久保運動公園）で開催していたが、平成17年より主にエコパのある小笠山運動公園で開催している。

3.優秀選手の紹介

将来有望な選手として、現在中学3年生の小林万里子、渥美統之両選手が挙げられる。

小林選手は、平成27年の小学6年で出場した全日本小中学生アーチェリー大会の小学生女子の部で優勝し、翌年全日本アーチェリー連盟のナショナル育成チームに選出された。

渥美選手は、今年開催された同大会の中学生男子の部において、決勝では9位であったが、予選の成績により同育成チームに選出された。

両名とも来年度より競技人口が大幅に増加する高校生になるが、今後の活躍を期待したい。

4.今後の目標や展望

現在協会が抱えている問題は会員数の伸び悩みと高齢化が進んでいることである。会員数はここ数年30名程度で推移しており年代別では60歳代が約半数を占めている。

会員勧誘のため春・秋の初心者教室を継続して開催するのはもちろんのこと、新射場がかぶと塚公園内に出来たことから、市民が大勢参加する体育の日のスポレク健康フェスティバル等に参加し、アーチェリーの楽しさ、魅力をPRして会員確保に努力していきたい。

磐田市ラグビーフットボール協会

加盟人数 75名
代表者名 会長 鈴木 亨司
創立年 平成10年

【組織】

1.協会の概要

設立当初の本協会は、ヤマハ発動機ラグビー部（前年国体準優勝・関西Aリーグ4位）を中心に数チームでの活動であった。平成15年よりトップリーグが始まり、ヤマハ発動機は「スポーツのまち磐田」の象徴の一つとして、活躍が期待されているところである。

平成16年より市内小中学校の校庭の芝生化事業が始まり、東部小学校を中心にタグラグビーが導入された。同年、全国小学生タグラグビー選手権大会で準優勝の快挙をあげ、その後も、県・東海大会を制覇し全国大会に出場している。また、平成23年度から実施された小学校体育指導要領の解説書にタグラグビーが明記されたことから、各小学校においてその取組が大いに注目された。

そこで、小学校におけるタグラグビーの普及を図りながら、スポーツのまちづくりの一端を担い、生涯スポーツの架け橋となることやラグビーフットボールの健全な発展を協会の目的として、新たな歩みをスタートさせた。ヤマハ発動機ジュビロの活躍を筆頭に、中・高校・ラグビースクール等と底辺の活性化、タグラグビーの普及活動を通してラグビー人口の拡大を願っている。

2.協会の紹介

平成10年 磐田ラグビーフットボール協会設立
磐田市体育協会・静岡県ラグビーフットボール協会に加盟

平成14年 ヤマハラグビースクール開校（県西部地域小中学校ラグビー普及に寄与）

平成18年 ジュビロカップ第1回タグラグビー大会を開催

平成19年 磐田市ラグビーフットボール協会に名称変更

平成20年 個人会員の募集を開始

平成21年 設立10周年

平成22年 トップリーグ応援バスツアー企画を始める。

平成23年 学習指導要領体育解説書にタグラグビーが明記され、講習会の依頼が多くなる。

平成27年 第10回ジュビロカップ開催
平成29年 第12回ジュビロカップと磐田市ラグビーフェスティバルを同日開催

3.役員紹介

	〈会長〉	〈理事長〉
平成19年度～	鈴木亨司	松下 悟
平成29年度～	鈴木亨司	内田正尚

【現在の活動状況】

1.競技の魅力

ラグビーは、楕円球を使うコンタクトゲームで、他の球技と違いパスを前に送ることができないのが大きな特徴になっている。近年、タグラグビーが注目され始め、学習指導要領の解説書に記載されてから、学校体育の中にも広がりを見せている。ラグビー精神「ワンフォアオール・オールフォアワン」は、社会に必要な協力性や個を大切に作る姿勢の育成に大きく役立つ物だと考えられる。

2.活動状況

(1)小中学校ラグビー普及活動

磐田市には、トップリーグ加盟チームであるヤマハ発動機ジュビロ、磐田市を拠点として活動している磐田クラブとヤマハ発動機ラグビースクールの3団体がある。毎年、ヤマハ発動機ジュビロホームゲーム開催時には、試合運営サポートをしたりタグラグビー交流会の運営を補助したりしている。また、磐田市内小中学校を中心にラグビー体験教室やいわたスポレクフェスティバルやジュビロマラソンなどに参加し、ラグビー普及に努めている。

(2)タグラグビー教室

平成19年度より、大人を対象としたタグラグビー教室を開催して以来、毎年企画をしてきた。平成23年度の学習指導要領体育の解説書にタグラグビーが明記されてからは、教員向けの講習会も行ってきた。近年では参加者が減りつつあるが、普及が進んだ結果とも捉えている。

(3)タグラグビー講習会講師派遣

タグラグビー教室に参加してタグラグビーに興味をもってくれた指導者の団体からの要請で、講師を派遣してきた。また、2019年に日本でのワール

ドカップ開催が決定し、更には袋井市のエコパでその試合が開催されることになった。その近隣の市でもラグビー熱が盛んになり始め、磐田市以外の団体からも講習会講師の依頼が多くなった。他市でも小学生のタグラグビー教室を開催することになり、講師として協会の指導者を派遣している。

(4) タグラグビー大会

平成18年度に、「ジュビロカップ第1回タグラグビー大会」をヤマハ発動機人工芝グラウンドで開催して以来、平成29年度には12回目の大会を開催した。この12回の中には、一般の部や中学生の部を設けた大会もあったが、ここ数年は、小学生のみの大会となっている。チーム数としては毎年40を超えるチームが参加をしている。

第12回大会においては、東京、愛知の県外、掛川市、浜松市など磐田市外からのエントリーも多く、大会は大いに盛り上がった。



ジュビロカップ終了後の記念撮影

(5) トップリーグ応援バスツアー

磐田市には、トップリーグに所属する「ヤマハ発動機ジュビロ」がある。平成22年度よりこのチームを応援するために、アウェイゲームの応援バスツアーを企画している。22年度以降、毎年1～2回のツアーを実施してきた。

(6) 磐田市ラグビーフェスティバル

平成29年度、ジュビロカップタグラグビー大会とラグビーフェスティバルを同日開催した。少しでもラグビーを身近なものに感じてもらおうという企画。ヤマハ発動機ジュビロの選手にも参加してもらい、タックル体験、キック体験、タグ取り体験、ラグビーボール体験の4つのブースを設けて誰でも参加できるものとした。選手に来ていただいたことで予想以上の盛り上がりを見せた。



ラグビーフェスティバルの様子

【今後の展望】

2019年、ワールドカップが日本で開催される。これまで以上にラグビーに対して関心が高くなる時である。これまでラグビーを身近なものに感じてもらおうとタグラグビーの普及に力を入れてきた。学校体育でも年間計画の中にタグラグビーを位置付ける学校は少なくない。ワールドカップ以降もラグビーの楽しさをいろいろな年代の人たちに感じてもらうための活動を続けていきたい。

磐田市グラウンド・ゴルフ協会

加盟人数 292名
代表者 会長 鎌田 要之助
創立年月 平成20年4月

「組織」

1. 協会の概要

磐田市グラウンド・ゴルフ協会は平成20年4月に設立し、同時に磐田市体育協会・静岡県グラウンド・ゴルフ協会、日本グラウンド・ゴルフ協会に加盟した。

磐田市グラウンド・ゴルフ協会の前身である竜洋町体育協会グラウンド・ゴルフ部を設立し年4月に設立し、新磐田市合併に伴い磐田市体育協会へ加盟し現在に至る

会員数は平成29年10月1日現在で磐田市体育協会グラウンド・ゴルフ部は292名で、そのうち磐田市グラウンド・ゴルフ協会会員として290名が県グラウンド・ゴルフ協会に加盟している。

磐田市グラウンド・ゴルフ協会は竜洋、豊田、磐田、福田、各地 区に合計18のクラブ及び11のグループが加入している。

2. 協会設立までの歩み

- 平成6年 竜洋町グラウンド・ゴルフクラブを2グループ46名でスタートした。
- 14年4月 竜洋町体育協会グラウンド・ゴルフ部を設立加盟 96名
- 17年4月 新磐田市合併に伴い磐田市体育協会へグラウンド・ゴルフ部として加盟124名、その後292名に増加した
- 20年4月 磐田市グラウンド・ゴルフ協会設立し同時に磐田市体育協会・静岡県グラウンド・ゴルフ協会・日本グラウンド・ゴルフ協会へ 292名加盟し以後増加傾向に有り29年10月現在300名名を超えている。

3. 最近の主催競技大会

- H30 1 磐田市竜洋自治会別グラウンド・ゴルフ大会
競技参加者32チーム
- 5 第14回磐田市民グラウンド・ゴルフ大会
競技参加者272名
- 11 第14回磐田市磐竜グラウンド・ゴルフ大会
競技参加者263名
- H30 11 第16回磐田市風竜グラウンド・ゴルフ大会
競技参加者522名
- 主管の大会開催（磐田市体育協会主催）
- H30 3 第3回磐田市5地区選抜3人1組団体戦
グラウンドゴルフ大会
大会競技参加者96チーム

「現在の活動状況」

1. 競技の魅力

グラウンド・ゴルフの歴史は他の競技に比べ発祥が昭和57年であるから歴史は浅いが最近急速に競技人口が拡大し、増加の一途を辿っている。その魅力はどこにあるのかグラウンド・ゴルフは、ゴルフをアレンジしたスポーツで、子供も大人も、女性も高齢者も身障者も健常者も、だれでも、いつでも、どこでも、全く同じ条件で楽しめるスポーツでありルールもやさしく参加者はいつも明るい笑顔と歓声にあふれ、特に高齢者には心身ともに健康維持、増進に大いに役立っている。

グラウンド・ゴルフの魅力は、独自のルールでホールインワンが出た時、合計打数から3が引けるため、うれしさが最高潮となり歓声ができるところである。



2. 活動状況

(1) 初心者教室

グラウンド・ゴルフは一般的には高齢者スポーツとして、行われているが、内容をよく知らない人からしばしばゲートボールと間違われることがある。

初心者教室を全課程6回でルール、実技教習会を年3回程度行うが、小学生も参加するがやはり持続性はない。

一方高齢者は手近なグループに入り見よう見まねで楽しんでいるが認定された指導者から正規なルール、実技を受講したい希望者が多く時には市外居住者からも電話申し込みがある。グラウンド・ゴルフは競技性よりレクリエーション的要素が多いが、楽しく行うにはルール、マナーが大切であることを理解してもらうことに重点をおいて、実技の初歩から指導している。

H30 4現在日本グラウンドゴルフ協会認定普及指導員数 1級1名 2級4名 3級33名

(2) 月例会

毎月会員を対象に月例会を開催している。会員292名のうち230名程度が一部入れ替わり参加している。

競技内容は最近人数が増えたこともあって、ホール数が多くなり8ホールを設定し4ラウンド合計32ホールの合計打数で競われる。ホールの長さは50m、30m、25m、15mの4種の標準コースを組み合わせて設定する。毎月の成績を得点制にし、年度上・下半期でトータルし得点、ホールインワン、バーディ部門別に表彰する。上位入賞者は新聞紙上みんなのスポーツ欄に毎月掲載し、向上心の更なる高揚を図っている。

(3) 会場の確保

協会設立前クラブ組織当時平成6～13年は練習会場が定期的に利用できず、各地の公園広場を探しながら確保することに苦労したが体育協会へ加盟した平成14年以降は竜洋海洋公園を主要会場として定期的に練習・講習大会にできるようになり

会員も予定表を見ながら安心して参加できるため好評を得ている。その他市内各地の公園等も利用許可を得て練習・小規模大会等を行っている。整備された会場を利用できることで満足している。

(4) 年間の活動状況

月例会開催月	参加者数	月例会開催月	参加者数
H29 10	190	H30 4	221
11	206	5	218
12	199	6	214
H30 1	198	7	224
2	202	8	195
3	198	9	203
H29下半期	延1,193	H30上半期	延1,275

練習日	回数	参加者数	
H29下半期	週2～3回	6ヵ月合計	延1,436
H30上半期	同上	同上	延1,387
年間練習参加者数			延2,823

(5) 今後の展望

グラウンド・ゴルフ協会を設立してから早くも10年となり会員数は増加している。会員には競技性を重視し対外大会に積極的に参加し上位入賞を目指し、常に努力している人たちが居り県西部大会、県大会でも磐田市グラウンド・ゴルフ協会は上位入賞者を多く出している、その一方で成績より自身の健康維持と仲間との親睦をグラウンド・ゴルフによって楽しみながら得ようと考えている会員も多い。しかし案外前者と後者が練習には仲良く時には上級者が初級者に指導し、和気あいあいと時間を過ごしている。今後の問題点の一つに全般的に会員の高齢化進み（会員数292名の平均年齢は75.3歳）病気や身心の衰えで少しずつ減少傾向にあり対策として60歳代の会員を勧誘し指導員を育成しグラウンド・ゴルフ協会の発展に微力ではあるが努力したいと考えている。

磐田市ボクシング協会

加盟人数 85名
代表者 佐藤 文俊
創立年 平成14年4月

【組織】

1. 協会の概要

磐田市ボクシング協会は、平成14年4月に設立し平成15年正式に町体育協会に加盟した。設立当初は練習場所が無く竜洋中学校体育館にサンドバッグ1個をバスケットゴールに吊るし、ミット、シャドー、ロープ、ディフェンスorオフェンスを中心とする週2回の練習を軸に開始した。平成17年4月に磐南5市町村合併に伴い、市体育協会に正式に磐田市アマチュアボクシング協会として加盟した。後に平成25年4月に競技中央団体である日本アマチュアボクシング連盟が日本ボクシング連盟と改称した為、我々の団体名称もアマチュアを取り除き磐田市ボクシング協会に名称変更した。

現在は、ボクシングの普及発展、そして、選手育成、成人のトータル的な健康と体力増進、青少年健全育成を目的に市内関係各位様のご理解、ご協力を賜り普及発展に取り組んでいます。

2. 役員の紹介

会長	佐藤 文俊
理事	山田 隆史
理事	密岡 昌紀
理事	鈴木 康文
理事	佐藤 理香
委員	伊藤 敏宏
委員	松本 昌三
委員	三好 海大
委員	原田 裕矢
委員	舟澤 宣宏
顧問	若干名

3. 競技の魅力

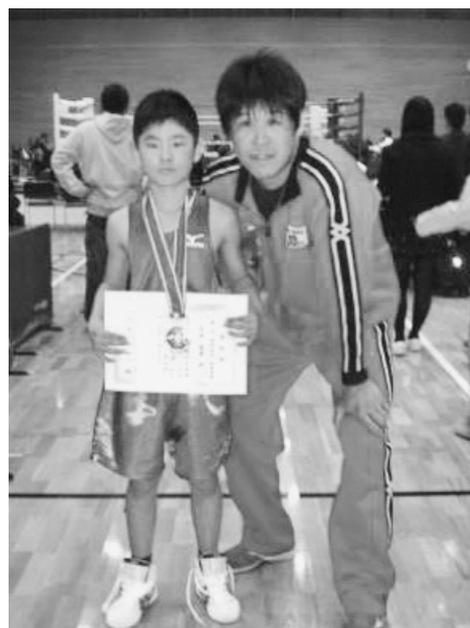
ボクシングは、古代ローマ時代から行われオリンピック競技の中では、最古の競技と聞いております。左右の拳で腰上から顔を殴り、ウエイトを伴ったパンチを当て、ポイントを取ったり、相手を倒したりと、簡単に表現をすると、相手にどれだけのダメージを負わせたかを競い合うスポーツである。また腰上から頭部までの後部は殴ってはいけないルールです。プロとアマチュアでは、根本的に相手が倒れた時のスコアの配点が違うのが特徴的である。我々の団体が行っているのは、アマチュアボクシングであります。年々、I O C加盟団体である国際ボクシング協会（A I B A）でルール変更があり、そのルール変更に合わせて練習方法、作戦を練らなければならない事があります。現在のルールは、リオオリンピックからプロ選手の出場が解禁になった為かプロボクシングに近いルールとなっております。但し、日本はプロ選手、又は元プロ選手のオリンピック出場を現在認めてません。

ボクシングの魅力は、相手にダメージを与えたり、パンチを外したり、フットワークを使いながらパンチを当て相手のパンチを外すアウトボクシングや、打ち合いをする為相手に近づきガンガン前出るインファイトボクシング、前述したボクシングを両方使えるボクサーファイタータイプ等、高度の技術、気、体力を使い勝敗を決するスポーツであります。また、簡単に記載しましたが、まだまだ、この文章で言い表す事ができない奥深い競技であります。この様な試合を観戦するのもスリルがあり、見応えのあるものだと思います。



4. 優秀選手の輩出

- 平成17年 岡山国体第3位 薩川知成
 平成21年 全国アンダージュニア選手権大会
 準優勝 川井勇利
 平成23年 全国アンダージュニア選手権大会
 準優勝 川井道夢
 平成24年 全国アンダージュニア選手権大会
 優勝 川井道夢
 平成25年 アジアジュニア選手権大会
 (カザフスタン共和国)
 銅メダル 川井勇利
 平成25年 全国アンダージュニア選手権大会
 準優勝 牧野蓮



5. 今後の展開と課題

ボクシングを通じて、選手育成、成人のトータルの健康と体力増進、青少年健全育成を骨格に活動をしていきたいと考えております。特に時代の流れが少子高齢化社会が更に進んでいく見通しとなっておりマイナー競技であるボクシング競技において良い素質や能力を持った選手の発掘、そして出会いをどの様に作っていくかのビジョンを模索して行かなければならないと考えています。



特定非営利活動法人磐田剣道連盟

加盟人数 456名

代表者 会長 伊東 孝悦

創立年 平成14年4月

【組織】

○組織の概要

会長 1人、副会長1人
理事長 1人 理事3人以上20人以内
監事 2人

○組織の変遷

昭和30年4月 磐田市、福田町、竜洋町、豊田町、浅羽町地区で設立
平成16年5月27日 NPO認証
平成16年6月2日 法人登記
平成19年4月 市町村合併による枠組み再編により浅羽剣友会が袋井剣道連盟に編入し、豊岡地区が磐田剣道連盟管内に編入。

○役員の変遷

初代会長 山下 貢 (昭和30年～昭和42年)
第2代会長 山内克己 (昭和43年～昭和51年)
第3代会長 斎藤亮一 (昭和52年～昭和55年)
第4代会長 鈴木雪雄 (昭和56年～平成2年)
第5代会長 堀田 周 (平成3年～平成13年)
第6代会長 寺田廣之 (平成14年～平成24年)
第7代会長 橋本昌行 (平成25年～平成28年)
第8代会長 伊東孝悦 (平成29年～現在)

○加盟団体(主な活動場所と稽古日、代表者)

- ・造士館 磐田剣道連盟道場 (月) 19:30～21:30 (水)(土)18:30～21:30 後藤仁志
- ・尚道館 磐田農高剣道場(月)(水)(土) 磐田剣道連盟道場 (金) 19:00～21:00 井筒功典
- ・錬武館 田原体育館(水)19:00～21:00 (土)16:00～18:00 (日)8:30～12:00 高木一之
- ・竜洋剣友会 竜洋西小体育館 (木) 19:30～20:45 (土)14:00～15:30 池田士美
- ・福田スポーツ少年団 (福田剣友会) 福田中学校武道場(月)(水)(金) 19:30～21:00 寺下信幸
- ・龍門館剣道教室 長野小学校体育館(水)(土) 18:00～21:00 山本 宙
- ・豊田北部少年剣道クラブ 豊田北部小体育館

(水)(土)19:00～21:00 西森和男

- ・豊田南部少年剣道クラブ 青城小体育館 (火)(金)19:00～20:30 後藤寛典
- ・豊岡南剣道教室 豊岡東小体育館(木)19:00～20:30 豊岡南小体育館(土)19:00～20:30 大隅啓進
- ・洗心会 豊岡中学校格技場 (火)(木)19:00～21:30 大城征哉
- ・大道無門館古寿母道場 大久保758-3 剣道(木)(金)19:00～20:00 居合(月)(木)(土)20:00～22:00 石原肇
- ・三道会 ふれあい交流センター体育館 (日) 9:00～12:00 剣道・居合道・杖道 山本哲夫
- ・遠江杖道会 総合体育館武道場(金)19:00～21:20 磐田剣道連盟道場 第1・第3日曜日 13:00～17:00 杉本順子

○会員数 (H29年度登録会員数)

- ・小学生 129名
- ・中学生 5校 92名
- ・高校生 5校 110名
- ・一般 125名

○磐田剣道連盟道場概要

- ・所在地 磐田市見付2988番地中央公園内



○道場概要

- ・敷地面積602㎡ (公園内占用面積) / 構造鉄骨造平屋建て / 建築面積470.46㎡ / 延床面積440.96㎡ / 建物用途 道場(剣道場2面、354.01㎡)、会議室 (31.09㎡) ホール、女子更衣室、男女

トイレ、シャワー室、倉庫／・建設期間平成21年8月1日～平成22年1月5日／・総事業費38,540千円（協賛金総額約10,000千円（約600件）市補助金8,000千円他

【主要事業】

○磐田剣道大会

平成30年度第55回磐田剣道大会が8月26日に盛大に開催された。小学生から中学生、高校生、一般男女、壮年の部までで、磐田市他中東遠の4市1町、浜松市の一部（旧天竜市）から140チーム700名の剣士が集い行われる年に一度の本市剣道の祭典。元気な小学生から全国レベルの中学生・高校生、その先輩・指導者を中心にした一般チームが高いレベルの試合を繰り広げた。

指導者や親の剣道を子どもが真剣な眼差しで見守り、相互に気の抜けない意味での刺激のある大会になっている。



○その他の事業

- ・段・級受験者のための講習会 年3回
- ・級審査会 6月、10月、2月
- ・稽古会 毎月第1、第3、第5日曜日
- ・小学生剣道交流大会 年4回
- ・ライオンズクラブ杯小中学校剣道選手権大会
- ・県剣道連盟受託事業（初段から三段までの審査会）

【現在の活動状況】

○小学生の剣道

少子化やスポーツの多様化により、剣道人口は減少している。平成29年度の会員数は、造士館が37人、豊田北部22人、以下豊田南部、龍門館、尚道館と続き、10人以下で活動している道場も5箇所あり、今後の普及が大きな課題となっている。

○中学生の剣道

平成30年度全国中学校大会女子団体で、磐田一中がベスト8。中学の部活は、市内4校のみ。小学校で道場や剣道教室に所属しても、中学に部活が無いため、剣道を続けにくい環境がある。

○高校生の剣道

平成30年度インターハイ男子団体に磐田東高、女子団体に磐田西高が揃って出場、両校ともベスト16に入る。男子個人では、磐田東高 野瀬俊也選手が第3位の活躍を見せた。



インターハイ開会式で入場する磐田東、磐田西剣道部 予選トーナメントを勝ち抜き両校ベスト16、個人では3位の活躍を見せた！

○一般の剣道

毎月第1、第3日曜日の夕方5時から磐田剣道連盟道場で定例稽古会を実施し、相互に交流を深めている。健康づくりや昇段を目指すなど目的は様々だが、剣道を通して交流を深めている。

【総括】

磐田剣道連盟は、連盟道場を活動の中心におき、剣道の普及と発展を図ってきた。これからも多くの子どもたち若者が剣道を愛し、正しく、楽しい剣道を続けられる環境づくりを目指していきます。

豊田合気道クラブ (養神館合気道静岡支部)

加盟人数 140名
代表者 水野 恵助
創立年 平成15年

【組織の概要】

豊田合気道クラブは、合気道を通じて地域の青少年育成を目的とし、平成15年に創立いたしました。幼児とご父兄一緒に楽しめる「ファミリーコース」、英語も一緒に学べる「イングリッシュコース」、小学生のための「少年少女コース」、大人のための「一般コース」などを設定し、それぞれの目的に合わせた稽古が可能となっています。

【指導者の紹介】

師範 水野恵助

養神館合気道静岡支部長。1963年生まれ。

18歳から大阪で合気道修行スタート。大学卒業後、地元磐田に戻り養神館合気道の修行開始。92年指導者資格取得。96年より5年間アメリカ合衆国ケンタッキー州に在住し、ケンタッキー大学にて合気道を指導。01年に帰国後、豊田合気道クラブを設立。同時に磐田市体育協会（旧豊田町）に加盟。地域密着型の合気道クラブとして合気道普及活動を行っています。



【合気道の魅力】

合気道は、相手の気持ちを考える武道です。相手がどのように考え、どうしたいかをいち早くキャッチし、如何に相手の力（気持ち）を利用し制することができるかを修行します。したがって、力はほとんど必要とせず、老若男女誰でもでき、特に礼儀作法、健康維持、女性のための護身術などに最適と言えます。

【活動状況】

豊田合気道クラブは、毎週土曜日と日曜日にアミューズ豊田および福田屋内スポーツセンターにて稽古を行っています。また、通常の稽古とは別に、地域住民の方々を対象とした「親子体験教室」「女性のための護身術講座」や、会員を対象とした「静岡県西部地区養神館合気道少年少女大会」を年1回主催しています。更には、学校の先生方を対象とした「護身術研修会」などの依頼を受け開催するなど、合気道を通じて地域へのスポーツ発展、貢献を目指しています。

〈静岡県西部地区養神館合気道少年少女大会〉

平成18年からスタートした本大会は、今年で12回目を数え、今年、豊田合気道クラブ創立15周年記念大会として開催されました。

本大会に出場したメンバーの中から、年1回駒沢オリンピック公園体育館で開催される全国大会（総勢800人超）への出場者が選抜され、子どもたちから大人まで、全国大会で数々の輝かしい賞を頂けるまでに成長してまいりました。

※参考 〈過去の全国大会入賞記録〉

平成21年

ファミリー団体演武 優秀演武賞

平成22年

小学生高学年の部 優勝 神村怜衣

平成24年

茶帯の部 第3位 原渉・大場勝仁

平成25年

少年少女団体演武 優秀演武賞

平成26年

黒帯の部 準優勝 山中美智明・原涉
茶帯の部 第3位 水野湧真・次藤佑樹

平成28年

黒帯の部 準優勝 原涉・水野湧真
茶帯の部 優勝 原侑也・多田彩人
一般団体演武 特別演武賞

平成29年

黒帯の部 準優勝 山中美智明・水野湧真
黒帯の部 第3位 原侑也・多田彩人
茶帯の部 準優勝 山内胡夫・山中沙耶
白帯の部 準優勝 吉岡政彦・海野鳳飛
少年少女団体演武 優秀演武賞



〈親子体験教室〉

年一回、親子体験教室を開催。対象は、幼児とそ
のご父兄。親子の絆を大切に、親子一緒になって
稽古を行うことでお互いの気持ちを理解し合う優し
さが身に付きます。



〈女性のための護身術講座〉

手を掴まれた、胸座を掴まれた、顔面を殴られそ
うになった、後ろから抱きつかれた場合など、どう
すればよいか、万が一の場合に備え、合気道の技を
使った対処法を体験します。年一回の本護身術講座
は、女性中心の人気講座となっています。



【今後の展望】

合気道を学ぶ事は、人生のあらゆる場面で心技体
共に適切に対応できる能力を養成する事に繋がると
思います。合気道養神館の創始者である塩田剛三先
生は、「合気道で一番強い技は何ですか？」との問
いに「自分を殺しに来た相手と友達になること
だ！」とおっしゃったそうです。この意味合いを
しっかり考えた上で、今後、若い世代にこの精神を
確実に伝承していく事が我々の永遠の課題だと思っ
ています。

HP : www.shizuoka-yoshinkan.com
E-mail : aikido@shizuoka-yoshinkan.com

磐田市インディアカ協会

加盟チーム数 39チーム
加盟人数 320人
代表者 渡瀬 訓孝
創立年 平成10年4月

【組織】

<組織の概要>

昭和57年より磐田市体育指導委員会が市民の健康作り、体力作りにと、レクリエーションスポーツとしての、ニュースポーツの中から、インディアカゲームを普及させることにした。

当初は、各地区の公民館（現在の交流センター）や市立体育館等でインディアカ教室や講習会を開き、インディアカの普及指導に努めた。

昭和59年12月に、第1回の磐田市インディアカ大会を開催、参加チーム数は24チームであった。

昭和60年に第1回の磐周インディアカ大会が開催され、磐田市から代表2チームを送り出した。

その後、各地区での活動も大会も盛んになり、インディアカの一層の普及のために、誰にでも親しめて気軽に参加できる磐周ルールが出来、各地区の体育指導員を中心に実技講習会を開催しながら普及させていった。

その後、体育指導委員と各地区の指導者を中心に協会の設立に向けて協議を重ね、平成10年4月に設立総会を経て、会員相互の連携を密にし、親睦と研修を深め、身近なスポーツとして、健康づくり、体力づくりの一環として積極的に取り組んでいく、という基本方針で活動をしています。

それと同時期に、静岡県統一ローカルルールが出来たので、当協会はこのローカルルールを主体として活動していくことにした。

静岡県でも地区によって、日本インディアカ協会公式ルール、また地方独自のルールでインディアカを楽しんでいる地区が多くあります。

【静岡県統一ローカルルールの紹介】

- * コートはバドミントン用コート、ダブルス外側のラインを使用する。
- * ネットの高さは男女共、2.24mとする。
- * 競技者の数は1チーム4名、1チームの登録メンバーは交代競技者を入れて8名以内とする。
- * 男女混成チームの構成は男子2名、女子2名がコート内に常時入らなければならない。
- * 競技者は必ず片手で、肘から先を使用する。

- * 競技するチームはネットを挟んで両側に分れ、羽球を落とさないように相手側コートに必ず3回目で返す、この場合一人1回しか触れられないから3人は参加出来る。
- * バレーボールのように、サーブで始まる、サーブは必ずアンダーサーブとする。
- * 同一サーバーが連続3得点をしたときは、ローテーションをして次のサーバーと交代をする。
- * 各セットでいずれかのチームが8点を先取した時点で両チーム共1名の競技者交代をしなければならない。
- * その他の競技者の交代は、1セットにつき2回まで出来る。



練習風景

【組織の紹介】

磐田市在住在勤の一般社会人を対象に、女性チーム並びに男女混成チームを主体として、性別、年齢、体力差などを問わず各地区で活動をしています。

インディアカに興味のある方、やってみたいと、ご希望のある方、チームなど連絡を頂ければ説明、指導に伺うことができます。

	準優勝	MAX・L
女性シニアの部	優勝	ミッキー
	準優勝	さくらクラブ
混成の部	優勝	アトム
	準優勝	スカイ

<役員紹介>

会長	渡瀬	訓孝
副会長	鈴木	健一
副会長	南澤	友枝
会計	鈴木	健一
事務局長	楠本	能充
事務局	岩谷	香代子
監事	森	辰夫
監事	吉野	静男
理事	杉本	節子
理事	仲松	ひな子
理事	鈴木	和良
理事	新村	陵汰



袋井大会優勝 Lazos 3月

【年間の主催大会予定】

初夏	会長杯大会
夏	サマー大会
初秋	親睦大会
秋	磐田市民大会
初春	新春大会

【最近の大会記録】

*親睦大会 H30.7.1		
女性の部	優勝	L azos
	準優勝	ミッキー
混成の部	優勝	アバンディ
	準優勝	武&静
*会長杯大会 H30.5.20		
女性の部	優勝	はやぶさ
	準優勝	静ちゃん
*新春大会 H30.1.21		
女性の部	優勝	Lazos

*市民大会 H29.11.5		
女性の部	優勝	Lazos
	準優勝	掛川ひまわり
女性シニアの部	優勝	さくらクラブ
	準優勝	ミッキー
混成の部	優勝	MIX
	準優勝	レッドペッパー
*親睦大会 H29.9.17		
女性の部	優勝	Lazos
	準優勝	ミッキー
混成の部	優勝	オリオン
	準優勝	アトム
*サマー大会 H29.7.2		
女性の部	優勝	Lazos
	準優勝	さくらクラブ
混成の部	優勝	侍
	準優勝	静ちゃん

加盟人数 15名前後

代表者 杉山 悟

創立年 昭和56年

磐田トライアスロンクラブ

1981年に磐田トライアスロンクラブがマラソン愛好家等に依り設立いたしました。

60年誌の時に歴史は掲載させて頂きましたが、10名から始まったクラブ員数も現在東京オリンピック2年前に成っても15名前後のクラブ員数しか居らず発展性が有りません。

2000年にはシドニーオリンピック大会では正式な競技種目として開催されました。

又・国内では2012年にはトライアスロン競技として国体の公開競技として、20016年には岩手県で正式競技種目として開催しテレビやマスコミ等に依り個人的には盛り上がりを見せており各トライアスロン競技大会では申し込み者が多く参加するのが困難な状況ですが我々の様なクラブには入部者が無く現在の会員も年齢を重ねるだけとなり若者達が入部しても長続きしません。何とか続けてもらおうと色々な行事を行ってまいりました。

スイム、バイク、ランの短い距離や長い距離のトライアスロンの練習会、スイム、ランやバイク、ラン等の2種目だけの練習会や各種目の単独の練習会と様々な行事を行って参りましたが回を重ねる事にクラブ員数が減少している状態です。

又、当トライアスロンクラブの主催2大会の内の一つフレンドリーデュアスロン大会はそれこそ小学生、中高生、一般男女まで愛知県は元より関東、関西より多くの選手が参加され楽しんで頂きました大きな大会でしたが。2015年22回をもちまして参加選手から惜しまれつつ我々も涙を飲んで大会を終了しました。理由としましてはスズキテストコース内でのバイクの競技中にある選手が単独の落車事故を起こしてしまい医師の指示に従い病院に救急搬送したところ救急車と共に2名の警察官が然も今まで来た事も無い刑事が付いてきました。根掘り葉掘り2時間近くも調査してスタッフも我々も、うんざりし次回の大会はやりたくない意見が多く、やむなく次回の大会を中止しました。

幸いにも事故者本人は軽傷でその日に車を運転して帰りました。この様に競技中に事故が起きて刑事が来て犯罪性だと調査すれば誰でも心配し驚きを感じます。(株)スズキ様には大変ご迷惑おかけしてし

まいりました。(きついお叱りを頂きました。)

現在では本年9月30日に開催される第26回サンライズイワタIN竜洋大会に安全に運営出来る様にスタッフ一同は頑張っています。この大会には日本各地より560名の参加者がいます。この大会には当然磐田トライアスロンクラブだけでは運営出来ませんので静岡トライアスロン協会の各クラブの審判員、ボランティアの皆様、ライフセイバーの皆様、磐田ボランティア講座の中学生、磐田農業高校水泳部、都市クリニックの先生及び看護師さん等のご協力を頂き安全な運営をして参加者には帰途に着いて頂きます。

この様に各種団体様のご協力により大きな大会が開催出来ますが、主と成る磐田トライアスロンクラブ員が少なく下準備する者の負担が年齢と共に大変に成って来ています。

静岡県トライアスロン協会も然り審判員もボランティアも26回大会も毎年同じ顔ぶれと成っていて将来を考えると大変不安を感じさせます。NPO法人磐田市体育協会の他のクラブはどうでしょうか？同じ様な悩みをお持ちでは無いでしょうか？それでもNPO法人磐田体育協会の為に頑張らしましょう。

2020年の東京オリンピックに向けて日本のトップアスリートはどの種目でも10代20代前半の選手が活躍し我々に夢と感動を与えてくれていますね。

私自身羨ましくも思うし頼もしく感じます。磐田トライアスロンクラブも50名位の会員数を有した時代も有りましたがスイム、バイク、ランと3種目行う特殊な競技で3種目指導出来る指導者がなかなか見当たりません。その為にどうしても個人練習に魅力を感じクラブには入部してくれません。これからの課題は指導者の育成を考えて行きたいと思っています。今回は消極的な記事しか乗せる事が出来ませんでした。

磐田サーフィンクラブ

加盟人数 10名

代表者 谷川 豊

創立年 平成19年6月22日

「海・砂浜をまもる」を合い言葉に活動しています。活動は大きく3本の柱があります。「海を守る活動」「海を親しむ活動」「海を伝える活動」

より多くの人に海の魅力を伝えたい、もっと多くの人たちが海に来るようになってもらいたい。

子供たちもお父さんもお母さんもおじいちゃんもおばあちゃんも……。みんな、海が好きになってくれたら、海はもっと笑顔でいっぱいになるはず。そして、海からいろんな事を知ることができるはず。わたしたちはみんながキラキラの笑顔で来られる海辺にしたいです。

活動内容

- 豊浜海岸でビーチクリーン
毎月 第一日曜日 9時より
- ビーチクリーン中学生ボランティア受入
(8月～12月)
- ビーチクリーンをひろめよう
- 磐田市長杯 Line-up cup 15回開催
- 海で遊ぼう親子ビーチチャレンジ(7月)



ビーチクリーン中学生ボランティア受入事業



磐田市長杯 Line-up cup

ビーチクリーンはわたしたちの根本的な活動であり、基本です。その活動の中から感じられた課題、問題に取り組んでいくために「海・砂浜をまもる」をわたしたちのテーマ、目標とし「海と人を結びつける」を合い言葉に活動しています。(附則NPO法人マリプロジェクト定款に準拠し活動する。)

日本少年野球連盟 磐田ボーイズ

加盟人数 35名
代表者 鈴木 毅
創立年 平成18年

【組織】

・チーム概要

公益財団法人日本少年野球連盟（ボーイズリーグ）静岡県支部に所属する、中学生の公式野球チームです。

・チーム方針

磐田ボーイズは創立以来、文武両道の考えのもと勝つことが最大の目的ではなく、野球を通じ礼儀・規律を重んじる人間形成の基礎を養成し、個々の攻・走・守・心技体のレベルを伸ばし高校、大学へ繋がる野球を目標に日々切磋琢磨し、夢の実現に挑戦しています。

・指導者氏名

監督	内藤 雅人	(静岡学園-東洋大学-ヤマハ)
ヘッドコーチ	青島 正人	(磐田南高校-青山学院)
コーチ	相羽 徹	(袋井高校)
コーチ	中島 進	(浜松商業)
コーチ	藤野 壮史	(浜北西高校)
コーチ	山崎 彬	(興誠高校(現浜松学院)-愛知大学)
コーチ	鈴木 克昌	(常葉菊川高校)

・団員名

3年生(10名)

伊藤 瑛司
篠原 大空
佐藤 琉生
原田 サムエル
守谷 瑛翔
長島 秀悟
寺田 亜喜
佐藤 至
大塚 浩祐
栗崎 翔馬

2年生(7名)

永井 元気
高橋 倭都
倉嶋 拓実
池田 真之助
竹下 夢真
山本 和輝
池谷 瞬

1年生(18名)

鈴木 大地
知念 宗太
齋藤 新太
栗崎 鷹斗
藤田 響輝
片岡 祐大
山口 志也
佐藤 翔生
竹山 尊斗
平出 奏翔
古山 海帆
松本 壱太
伊藤 隼希
藤田 琉斗
鈴木 湧陽
渡邊 諒賀
大手 壘
荻原 悠暉

【活動状況】

・練習日

土曜日、日曜日、祝日、火曜日、木曜日
※火、木曜日はナイター練習

・場所

静岡製機グラウンド(静岡製機(株)浅羽工場:袋井市浅羽諸井1300)
城山球場
豊岡球場 他

【近年の成績】

- ・ 第47回 日本少年野球連盟選手権大会出場
ベスト16
- ・ 第12回 東海理化旗・ゼット杯争奪愛知県東大会
第3位
- ・ 第9回 日本少年野球連盟磐田大会
優勝
- ・ 中日スポーツ杯 第12回日本少年野球中日本ブロック選抜大会出場
県予選4位
- ・ 読売杯 第33回日本少年野球中日本大会出場
県予選3位
- ・ 中日スポーツ杯 第13回日本少年野球中日本ブロック選抜大会出場

【卒団生の進路】

- ・ 静岡県外
早稲田実業高校、法政大学二高校、東大阪大学柏原高校
- ・ 静岡県内
静岡学園高校、静岡高校、静岡商業高校、常葉橘
高校、浜松商業高校、浜松工業高校、浜松市立高
校、浜松学院高校、浜松南高校、浜松東高校、浜
松湖東高校、浜松湖南高校、浜松日体高校、聖隷
クリストファー高校、天竜高校、浜北西高校、浜
名高校、磐田南高校、磐田西高校、磐田北高校、
磐田東高校、磐田農業高校、袋井高校、掛川西高
校、掛川工業高校



磐田ファミリーバドミントン協会

加盟団体数 20団体
加盟人数 187人
代表者 会長 村松 直司
創立年 平成19年12月1日

ファミリーバドミントンは、昭和63年京都国体のバドミントン競技会場となった長岡京市で手軽にバドミントンを広く親しめる独自のニュースポーツとして考案されました。

バドミントンはスピードがあるため、広い年齢層では難しく、誰でも手軽にできるものはないか、とアイデアを出し合い、日本の遊びの原点でもある羽根つき遊びとミックスさせるという案が提案され考えられました。ラケットはシャフトを短くしたもので、シャトルはスポンジボールとバドミントン用ナイロンの羽根をつけたものです。打ち込みが禁止のため滞空時間が長く空振りも少なく誰でも手軽にラリーを続けることができるスポーツです。



右 バドミントンのシャトル
左 ファミリーバドミントンのシャトル

ファミリーバドミントンは、子供からお年寄りまで「誰でもが、いつでも、どこでも、自分の好みや能力に合わせて、気軽に楽しめる」のが、特徴です。仲間との交流、家族とのふれあい、健康・体力づくりなど、様々な目的で楽しまれています。

本会は、ファミリーバドミントンの普及及び振興に努め、会員相互の連帯と親睦を図ることを目指しています。

<協会の歩み>

平成19年12月 設立
平成20年 4月 設立総会
平成20年 6月 磐周リーグ開始（3期）
平成20年 8月 第1回協会長杯
平成22年 2月 第1回きさらぎ杯
平成29年 6月 磐周リーグ（3期）
※県下のチームが参加
平成30年 6月 平成30年度磐周リーグ
（6月・9月・3月）
平成30年 6月 第11回協会長杯
平成31年 2月 第10回きさらぎ杯

<その他事業>

審判講習会
協会主催練習会
初心者教室開催



磐周リーグは、県内39チームが5部（各部8チーム）に分かれて、年3回のリーグ戦を戦います。静岡県は、ファミリーバドミントン発祥の京都府を抜いて、全国一盛んな県です。益々、リーグに参加したいチームが増えてきています。



平成30年度前期リーグ(平成30年6月3日) アミューズ豊田

ファミリーバドミントンの良さは、子供からお年寄りまで誰でも楽しめることです。今回から、「会長杯」「きさらぎ杯」では、オープンの部とフレンドリーの部を選択できるようにしました。親子3代で参加したチームがありました。正に、「ファミリーバドミントン」を感じさせてくれました。また、磐田市のレベルの高さを求めて、県外からも多くの人たちが参加してくれました。



第11回磐田ファミリーバドミントン協会会長杯
(平成30年6月24日)アミューズ豊田



第11回磐田ファミリーバドミントン協会会長杯
フレンドリーの部 (平成30年6月24日)アミューズ豊田



第4回きさらぎ杯(平成25年2月24日) 磐田市総合体育館

<役員名簿>(平成30年4月現在)

会 長	村松直司		
副会長	鈴木安弘	鈴木康哲	
総 務	中嶋英明	田尻大樹	
会 計	佐藤幸穂		
監 事	松井亮忠		
理 事	金原元司	小澤 透	高坂弘由
	鈴木 賢	大石貴紀	本間あすか
	武藤好永	山田浩昭	

磐田市ボディビル・フィットネス連盟

加盟人数 50名
代表者 南 佳壽夫
創立年 平成22年

【組織】

≪ 組織の紹介 ≫

本連盟は、日常生活に筋肉トレーニング（筋トレ）を取り入れて、自分の健康を自分で守り、日常生活を生き生きと送ろうとしている人達の集まりです。

学校を卒業すると同時に、多くの人々は日常の中で運動を行う機会を失い、その結果「生活習慣病」に陥るという方程式を歩んでいきます。

現在、厚生労働省が中心となって、「健康日本21」と題して生活習慣病対策に取り組んでいます。健康づくりや体力作りに、筋肉を合理的に強化する筋肉トレーニングが大変有効な手段であることは、周知のとおりです。



磐田市ボディビル・フィットネス連盟は、より多くの磐田市民が、もっと気軽に筋肉トレーニングに親しんでいただけるような機会を提供しつつ、磐田市民の更なる健康、体力づくりに寄与したいと考えております。

≪ 代表者 ≫

南 佳壽夫

≪ 指導者の紹介 ≫



後藤 多賀子
日本ボディビル連盟
1級指導員



小澤 弘明
日本ボディビル連盟
2級指導員



今西 香代子
日本ボディビル連盟
2級指導員



藤見 達也
日本ボディビル連盟
2級指導員

≪ ボディビル・フィットネス競技の魅力 ≫

肉体の美への憧れは、古代ギリシャ時代から変わる事の無い、人間の心の中にある本質です。

「ボディビル・フィットネス競技」とは、筋トレにより育まれた、健康的で美しい、魅力的で格好いい肉体を披露し、競い合う競技です。

いわば、「遠い昔から続いてきた永遠の価値」を披露、観客を魅了することそのものに、大きな魅力があります。観客は生きている芸術そのものを鑑賞しているといえます。



《活動状況》

- ・シニア女性対象「筋トレ講座」毎週1回（豊田町）
- ・ボディビル・フィットネス選手権大会
- ・ボディビル選手権大会
- ・フィジーク選手権大会
- ・ボディフィットネス選手権大会
- ・フィットネスビキニ選手権大会
- ・パワーリフティング選手権大会
- ・ベンチプレス選手権大会

各大会において、静岡県大会・東海大会・全国大会が盛大に開催されています

《優秀選手紹介》

- ・後藤 多賀子：1988 中部日本優勝
- ・鈴木 香：1989 県大会優勝
- ・後藤 多賀子：1989 ミス日本7位
- ・五十嵐 隆子：1990 県大会優勝
- ・後藤 多賀子：1990 中部日本優勝
- ・後藤 多賀子：1990 日本実業団優勝
- ・後藤 多賀子：1990 ミス日本5位
- ・後藤 多賀子：1992 ジャパンオープン優勝
- ・中野 久子：1994 県大会優勝
- ・松浦 弘至：2000 県・東海大会優勝
- ・鈴木 けい子：2001 県大会優勝
- ・後藤 多賀子：2001 日本マスタース2位
- ・小田 敏郎：2005 県・東海大会優勝
- ・伊藤 優介：2015 県大会優勝
- ・高木 紀義：2017 県大会優勝
- ・高木 紀義：2018 東海大会5位
- ・伊藤 達美

1999日本マスタースパワーリフティング大会

44kg級優勝 世界大会出場

2001 日本マスタースベンチプレス大会

44kg級優勝 世界大会出場

- ・寺田 万寿夫

2017 日本マスタースベンチプレス大会

105kg級優勝 アジ大会出場

- ・石川 雅人：2017 県ベンチ74 kg級優勝

その他入賞者多数輩出

《今後の目標》

日常生活に筋肉トレーニング（筋トレ）を取り入れることにより「生活の質が上がる」など、多くの恩恵を受けることができます。私たちが目指す「競技ボディビル」の普及はさることながら、磐田市の皆さんに、より気軽に「正しい筋トレ」を取り入れていただけるよう、体験の場を多く提供していきたいと考えています。

磐田ビーチサッカー振興協会

加盟人数 12名

代表者 鈴木 俊多

創立年 平成26年8月21日

クラブ・アレイア：東海ビーチサッカーリーグ所属

【現在の活動状況】

【組織】

○クラブ理念

- ・ビーチサッカーを通して地域と共に夢と感動をわかち合う。

○クラブミッション

- ・日本を代表する選手の輩出・育成
- ・スポーツを通して磐田から世界へ活躍する人材の育成

○クラブバリュー

- ・地域活性化集団としてビーチサッカーを通じて子ども達の心身ともに健全な環境づくりをします。
- ・地域活性化集団としてビーチサッカーの魅力あなたへ届けます。

○チーム戦歴

2014年

- ・東海ビーチサッカーリーグプレ大会優勝

2015年

- ・第1回東海ビーチサッカーリーグ第4位
- ・第10回全国ビーチサッカー東海大会優勝
- ・第10回全国ビーチサッカー大会出場

2016年

- ・第9回金武町長杯地球環境スポーツビーチサッカーチャンピオンクラス準優勝
- ・第2回東海ビーチサッカーリーグ優勝
- ・第2回ビーチサッカー地域リーグ

チャンピオンシップ第3位

- ・第11回全国ビーチサッカー東海大会優勝
- ・第11回全国ビーチサッカー大会出場

2017年

- ・第3回東海ビーチサッカーリーグ第2位
- ・第12回全国ビーチサッカー東海大会準優勝

2018年

- ・第4回東海ビーチサッカーリーグ第3位
- ・第12回全国ビーチサッカー東海大会準優勝

○ビーチサッカーの魅力

- ・オーバーヘッドキックやバイシクルシュートなど観ている人が驚くようなダイナミックでアクロバティックなプレーが魅力です。
- ・ビーチサッカーは音楽と共にプレーするためエンターテイメント性も魅力です。
- ・子ども達の育成として裸足で砂の上を走ったりボールを蹴ったりするので体幹や技術の向上にとっても有効です。



2018年7月14日15日 愛知県碧南市
第13回全国ビーチサッカー大会東海地域予選
決勝：準優勝（2大会連続の準優勝）



2018年7月7.8日 兵庫県明石市 国際親善試合
ビーチサッカー日本代表VSイングランド代表
左下14番：鈴木俊多

○優秀選手の紹介

- ・鈴木俊多選手（浜松市出身）
2011FIFAビーチサッカーW杯inイタリア出場
2018国際親善試合出場vsイングランド代表
2018全国地域リーグ選抜選手
- ・高橋亮祐選手（磐田市出身）
2017全国地域ビーチサッカーリーグ選抜選手
2018全国地域ビーチサッカーリーグ選抜選手
元プロフットサル選手
アグレミーナ浜松
イタリアフットサルセリエA2

○今後の目標と展望

- ・全国ビーチサッカー大会優勝
- ・ビーチサッカー日本代表選手の輩出
- ・磐田市の子ども達へビーチサッカースクールやクリニックでの指導
- ・磐田市をビーチサッカーの盛んな地域へと活性化させる

磐田武道協会

代表者 会長 松下 明

“武道とは?..” “真の武道とは?..” そんなテーマを追い掛けて、もう四十数年過ぎました。二十代で今の実践拳法に出会い、実際に突きを決め、蹴りを入れるという事が非常に衝撃的、かつ新鮮でした。

始めから“武道とは?..”などと考えていたわけではなく、強くなりたいたい一心でひたすらに稽古をしたのを覚えています。

近年は増えましたが、当時はフルコンタクトルールに対する理解度も低く、対外の試合も名古屋あたりまで行かないとできませんでした。

ですから大会も「東海地区選手権大会」を開催しても1回から20回くらいまで、他流派の参加はありませんでした。

そして二十年前に活動方針、指導方針に差異を生じ新組織を立ち上げましたが、やはり第1回目の大会の出場者は十四名(自道場のみ)でした。出場選手の多少を自慢する訳ではありませんが、回を重ねる毎に参加団体も増え、去年は二百名に迫る大会でした。

それでもまだ、一般的に武道、特にフルコンタクトに対する理解度は低く、「ウチの子は優しいから無理」とか、「だって野蛮じゃん」etc…

“優しい..”って何ですか? テレビゲームをおとなしくやっているのが優しさですか?

“野蛮..”って何ですか? 少年野球でエラーした相手の選手を全員で野次るのが上品ですか? サッカーのオウンゴールの相手をハヤシたてるのは野蛮じゃないのですか?

自分の子供を試合に出したいために、監督・コーチに対して過剰なサービスの噂を聞きます。

話を戻します。練習生のお母さんによく聞かれます。

「先生 どうすればウチの子は強くなれますか?」

「ハイ。まず第一は大きな声で挨拶をする事。これで自分に自信がついてきます。第二に履物をキチッと揃える事。これで行動に責任を持つ事が出来ます。」こんな事からが修行の入り口です。

「次は先生の技を素直にまねて下さい。“学ぶ”の語源は“真似る”ですよ(筆者自論)。」

小学校四年生の登校拒否の子供が磐田南高校に進学し、国立大学で外交官を目指して頑張っています。

中学も行かなかった不良少年が配管工になり、親方の片腕となって泥まるけの作業着で小説を借りに来ます。

“今こそ こんな時代だから 今こそ!! 真の武道を!!..”

毎週月曜日夜七時三十分から。大藤体育館。のぞいてみて下さい。



加盟団体の紹介
地区体育部

岩田地区体育部

加盟チーム数
加盟人数
代表者 青島 浄
創立年

現在この地区においては、自治会を主催に各地区より選出された男女各1名（計16名）の体育委員の協力を得て、地区住民がお互いに親睦を深めるための大切な機会（場）として交流センター附属体育館及びグラウンドにおいて、主に3つの体育行事が行われている。



<男女混合ソフトバレーボール大会>

7月に行われる男女混合ソフトバレーボール大会においては6チーム（約100名）が参加し、白熱したゲームの中でも勝ち負けを越えて和気あいあいとした試合が繰り広げられる。

そのうち、上位3チームが出場資格を得て、8月に向陽中学校体育館で行われる向陽ブロック球技大会へ参加する。

平成29・30年度の向陽ブロック球技大会においては、岩田地区代表チームが2年連続して優勝している。



<地区球技大会>

10月に行われる球技大会は、グラウンドにおいて、男子のソフトボール大会が3～4チーム（約60名）の参加者で熱戦が繰り広げられる。同時に体育館では、男女混合ファミリーバドミントン大会が10～12チーム（約70名）により、和やかに繰り広げられる。名前の通り、家族での参加チームもありほのぼのとした雰囲気につつまれた大会である。役員の皆様には大変重労働だが、地区住民のふれあいと親睦を深める場として、この行事が継続される事を望む。



大藤地区体育部

加盟チーム数
加盟人数 40名
代表者 田中 好二
創立年 昭和48年4月

組織の概要

- ・名称 大藤地区体育部会
- ・部員 40名
- ・構成 15自治会体育委員、体協社員、
体育指導員
- ・創立年 昭和48年4月

組織の変遷

- ・昭和48年4月 大藤地区自治会体育部事業として出発する。

当初は次の4種目が中心種目であった。

- (1) 婦人バレーボール大会
- (2) 父親ソフトボール大会
- (3) 水泳大会
- (4) 体育祭

大会・種目の変遷

- ・水泳大会
昭和48年～平成4年
- ・駅伝大会
昭和49年～昭和58年
- ・卓球大会
昭和55年～平成9年
- ・ドッチボール大会
平成4年～平成9年
- ・インディアカ大会
昭和61年～平成27年
- ・父親ソフトボール大会
昭和48年～現在
- ・年齢無差別ソフトボール大会
昭和51年～平成3年
- ・婦人会バレーボール大会
昭和48年～平成9年
- ・混成バレーボール大会
昭和50年～平成9年
- ・混成ソフトバレーボール大会
平成10年～現在
- ・体育祭
昭和48年～現在

現在の各種大会

- 《地区ソフトボール大会》
5月20日（日）天竜川グランド
- 《地区バレーボール大会》
7月29日（日）向陽中学校体育館
- 《向陽ブロック大会》
8月19日（日）向陽中学校体育館
- 《大藤地区ふれあい体育祭》
11月4日（日）開催日予定
大藤小学校グランド



地区ふれあい体育祭800m走

向笠地域づくり協議会『体育委員会』

加盟人数 向笠地区在住の住民
(約4,000人)
代表者 三浦 靖男
創立年 平成28年4月

これまで向笠地区自治会連合会傘下の委員会であったが、組織改編に伴い発足した向笠地域づくり協議会の健康福祉部に所属する体育委員会として新たなスタートを切った。

（組織の変遷）

昭和45年、向笠地区体育クラブ発足。自治会と公民館が連携して、ソフトボール、バレーボール、水泳、陸上、卓球、庭球、剣道を行う。

昭和51年、体育委員会と名称を変更し、住民の心身の健全育成と親睦を目的に、ソフトボール、バレーボール、陸上、卓球を行う。

平成元年、向笠地区自治会連合会に向笠地区自治会体育委員会が位置付けられ、スポーツの振興と住民の健康増進、親睦を目的に各事業を行う。

平成11年、これまでの各種体育事業を体育祭、ソフトボール、バレーボールの3つに絞って実施するようになる。

平成15年、体育委員会を「体育祭部会」「ソフトボール部会」「バレーボール部会」の3部制にして各事業を行う。

平成27年、向笠地区自治会連合会が、体育祭の存続について協議した結果、一時休止となる。

平成28年、向笠地域づくり協議会が、休止中の体育祭を中止と決定する。実施事業は主にソフトボール、バレーボールとなる。

【現在の活動状況】

- 目的 住民のスポーツの振興、健康の増進と親睦・交流の促進
- 役員 委員長（向笠地域づくり協議会理事）、副委員長、会計、バレーボール部長、ソフトボール部長
- 委員 向笠地区11自治会から選出されたバレーボール委員11名、ソフトボール委員11名の計22名
- 運営協力員 前年度委員及び役員経験者で、ボランティアで大会を支えるスタッフ

【現在の活動状況】

- 部会の開催 大会の事前打合せ、諸準備
- ソフトボール大会
5月に向陽調整池（通称サンボス）を会場に開催し、各自治会を単位にチームが出場する。



- 男女混合バレーボール大会
6月に向陽中学校を会場に開催し、各自治会を単位に十数チームが出場する。



- 向陽ブロック球技大会への参加
8月に向陽中学校で開催する男女混合バレーボール大会に、6月の大会で優勝、準優勝、3位の3チームが出場する。大藤地区、岩田地区のチームが対戦相手となる。
- ジュピロ・メモリアルマラソンへの協力（11月）
- その他 卓球大会（10月）
向笠バレーボール交流会（2月）

田原地区体育部

加盟チーム数
加盟人数
代表者 和田 行夫
創立年

田原地区の体育部は、玉越、西島、（八大）三ヶ野、明ヶ島団地、東部台、明ヶ島6地区の自治会より選出された部員により構成されている。

体育部の主な活動計画は、次のものである。

- 1 田原みんなの運動会
- 2 田原地区ソフトボール大会
同 ソフトバレーボール大会
同 インディアカ大会
- 3 田原地区ミニサッカー大会

上記の中では、地区住民が一堂に会して活動するのは、田原みんなの運動会である。

5年程前までは3世代運動会として実施していたが、現在は田原みんなの運動会として取り組んでいる。参加する人達が3世代均等に出場できかねる状況が生じていること。特に高齢者小子化の波が田原地区にも押し寄せ、人工の集中している自治会として人口の減少している自治会との差が大きくなり、競技種目ができなくなりつつある。地区によっては、運動会を廃止しだした所もあるようだが、年1回の催事は大切に、住民の絆づくりを大切にしようと考え、種目や開催時間等を工夫しながら取り組んでいる。特記すべきは、毎年中学生がボランティアとして、各係について取り組んでいることである。中学生の視点から地元の運動会を支え、将来の田原の為に活躍できるようになるきっかけになればと思う。

上記の運動会の他には、各自治会ごとで親睦を図りながら対抗する競技として、ソフトボール大会、ソフトバレーボール大会、インディアカ大会等がある。これらの競技も選手選出に苦勞する。また選手が年々固定化する傾向にあり、新しい人達の参入が課題である。

4 東部地区体育委員会の主催の球技大会については、御厨、西貝塚、南御厨、田原の各自治会から選抜された上位2チームで東部地区大会が行われる。例年7月の下旬頃に実施し、東部地区の皆さんとの親睦を図っている。なお、グラウンドゴルフ大会は、別の日に開催している。

東部の大会は、年度ごとに当番を決めて実施している。

5 スポーツクラブ田原について

七夕豪雨や長嶋茂雄が現役を引退した、1974年（昭和49年）に、田原サッカークラブは産声を上げた。そして、翌50年田原サッカークラブが正式に発足した。その後平成3年に、幼稚園児からシニアまでの活動を対象に、田原フットボールクラブを結成。監督やコーチ、父母の会などの着実な努力が実り。平成8年に、社会体育優良団体として文部大臣賞を受賞した。

サッカークラブでの活動は、家庭で教えられない心身の鍛錬、真の友情づくり、スポーツの楽しさをも体験できる。ここで育った初期の少年達は、すでに40代になり、社会人として立派に活躍している。

その後、平成19年には、総合型地域スポーツクラブたはらを設立し、翌年NPO法人化した。平成30年現在、所属は、幼稚園児が27名、ジュニア（1年～6年）が116名。フットサル（社会人）が16名と大所帯になってきている。



6 体育館を活用しての同好会や各種スポーツ

田原交流センターの体育館は、太田川を越えた旧田原小学校の跡地にある。少し離れているので不便さはあるが、地区の皆さんは計画的に活動し、良い汗をかいている。

ちなみに、定期的に活動している団体は、田原バドミントンクラブ、田原チューリップ組、錬武会（剣道）、デポルターレ、明団インディアカ、三ヶ野スポーツ同好会、八大体育部、磐田ひまわり会等である。

御厨地域づくり協議会

加盟チーム数
加盟人数
代表者
創立年

新貝 雅海

当体育部は、御厨地域づくり協議会の部会の一つである文教部会に所属し、育成部・福祉部・東体部・文化部の各部とともに御厨地域の活性化とふれあいの場づくりを目指した各種行事に携わっています。

構成委員は13名で、毎年9月に開催される「御厨地区体育祭」が体育部としてのメイン行事となります。

当該体育祭は今年で61回を迎え、御厨地域に久しく親しまれてきた体育事業となっています。

体育部では、毎年前回の反省を踏まえて種目選定を行い、競技内容を検討しプログラムを作成します。

一昨年あたりから少子高齢化の影響により地区内での入選が難しくなり、年代別個人競技を編成することが困難になってきました。

今年から年代別種目を減らし、団体戦に移行すると共に全体の種目数も少なくして対応を図りました。

次に、当日の大会が円滑に進行できるように、一週間前準備、前日準備、そして運営全般にわたり各部会との事前調整を行います。

当日の文教部会委員総勢100名と毎年お手伝いいただく地域内在住の神明中学校の生徒さんを含めた方々の役割分担を明確化し、指示出しをしています。

種目数等の変更・調整により、今年から午前中のみのお祭りとなりましたが、各競技で熱戦が繰り広げられ例年と変わりなく充実した大会となったのではないかと感じています。

今後も時代変化に対応した大会にしていきたいと考えています。

東体部(自治会東部ブロック体育部)は、磐田市東部4地区(西貝・南御厨・御厨・田原)で各地区持ち回りの各競技大会を主幹しています。

当部会の構成委員は14名で、各競技に委員を配置し、各地区役員と共に協業し開催しています。

7月にソフトボール大会、ソフトバレーボール大会、インディアカ大会、12月には、グラウンドゴルフ大会が行われます。

それぞれの地区の代表が競技に集中しつつも、競技から離れば和気あいあいとした楽しい地域間の交流の場となっています。

ここでも競技人口が年々減少してきた影響で不参加となる地域も出てきており、見直しへの意見も出てきています。

各地域内行事が輻輳する中での日程調整、さらに今夏のような猛暑への対策も考慮しなければならなくなり、運営全般についての見直し検討も必要となってきました。

地域における様々な課題とも向き合いながら、体育部会として今後も地域住民の皆様への「親睦」「交流」「健康づくり」に率先して協力し推進していきたいと思っています。



地区対抗綱引き



来賓・シニア対幼児 対抗玉入れ

南御厨地区体育部

加盟チーム数

加盟人数 地区体育委員 20名

代表者 体育部長 山下 真稔

創立年

南御厨地区の体育部は9の単位自治会の体育委員20名で構成されており、地区体育祭・地区親睦の球技大会等を主事業として活動しております。そのうち特に力を入れている事業は地区体育祭であります。

毎年、保育園・小学校・中学校の運動会の日程を考慮しながらの9月初旬の日曜日開催が恒例となっております。この時期はまだ残暑が厳しい時期ではありますが、他の行事とのからみから、この時期の開催となっております。



体育委員はプログラムの検討や役割分担の決定等の準備を行ない、当日の運営には体育委員の外、地区役員や各部会員、ボランティア等も加わります。また、地区在住の神明中学校の生徒もボランティアとして参加をしてもらい、各種目の準備等、貴重な戦力として活躍をしてもらっております。



なお、近年の少子高齢化により、今年度の平成30年度にはリレー種目や園児の種目を削除する等、時代の変化に対応を図らざるを得なくなりました。しかしながら、南御厨地区で多くの人が集まり、自治会単位で競い合いながら親睦を深める事業は他に

は見当たりませんので、今後はその時の変化に対応していける体育祭として、創意工夫をしながら、これからも進めてまいりたいと考えております。

その他、地区球技大会として次の競技を行います。

- ・10月中旬 ソフトボール大会
- ・1月中旬 ソフトバレーボール大会
- ・2月中旬 インディアカ大会
- ・1月初旬 グラウンドゴルフ大会

また、東部ブロック球技大会は「田原」「西貝」「御厨」「南御厨」の4地区の当番制で次の競技を開催しております。

- ・7月下旬 東部地区ソフトボール大会
- ・7月下旬 東部地区ソフトバレーボール大会
- ・7月下旬 東部地区インディアカ大会
- ・12月 東部地区グラウンドゴルフ大会

体育部としては今後も、地域住民の「親睦」「健康づくり」等に率先して協力をしてまいりたいと考えております。

西貝地域づくり協議会 体育部

加盟チーム数
加盟人数
代表者
創立年

中村 和良

西貝地区は、体育部の生い立ちより入りたいと思います。60年誌でも述べたとおり体育部の設立は、体協発足と同じく70年前、地区文化の融合と

体力増進（体育祭）の2面の目的をもって地区体育委員会が発足いたしました。

特に、先人たちが地区のグラウンド造成に尽力された事は、いまだに語り継がれております。当時は、子供たちの将来を見据えた、町内挙げての体育祭やラジオ体操・徒手体操・縄跳び等グラウンドで出来るものに重点を置いたものでした。

50年前（昭和47年）地域コミュニティー施設としての体育館が出来上がり、外では父親ソフト、室内では婦人バレーやバトミントンや卓球・ミニバスケット等、室内競技も盛んに行われました。

この頃、他地区においても体育館ができ区内での体育行事中心から田原、御厨、南御厨・城之崎を集めた東部地区全体の体育競技（地区対抗バレー・ソフト・インディアカ）も盛んに行われるようになりました。

また、昭和60年前半には公民館の再編により城之崎体育部が西貝地区に加わり昭和62年第13回を最後に翌年より合同の体育祭となった。

合同体育祭への参加延べ人数は、1800人、会場は公民館グラウンド、時間8:00～15:00、種目15競技と大がかりなものであった。

圧巻は、上南田地区で全14世帯にもかかわらず地区対抗の学年別リレーと年代別リレーに参加し好成績を上げていたことであった。

平成に入り、地区内にJ1ジュビロ磐田が誕生し、当地区でもサッカーが盛んになり、少年サッカーチームが出来た程であった。

体育祭の競技グラウンドも公民館グラウンドから、東部小グラウンドそして現在は安久路多目的広場と変わり現在に至っている。

現在は、地区の高齢化が進み体育祭の種目も、競技中心から老若男女誰でもが、参加できる種目への変更を図り、楽しんでいただく方向に舵を切っています。時間も午前中に終わるように心がけシニアにやさしい大会となっています。

平成26年には、西貝公民館が、西貝交流セン

ターに名称変更になり公民館運営協議会も西貝地域づくり協議会に変更になりましたが、体育部は、7部会の一翼として参加しています

近年は、子供たちは、野球・タグラグビーやサッカー 若者は、運営ボランティアへの積極参加 シニアは、町内散歩やグラウンドゴルフも盛んに行われ無理のない運動を長く行う支援を側面より応援しています。地域スポーツが市民スポーツに将来はオリンピックに繋がるように地区体育祭を通じた地区民の原点は、今も生きています。

（文責 磯部知明）

平成30年度 体育部年間行事予定

（委員会 年6回 委員数20名・体協2名）

5月 西貝地区球技大会

7月 東部ブロック球技大会

9月 西貝地区体育祭

11月 ジュビロマラソン地域協力

2月 グラウンドゴルフ大会（トン汁交流会）

3月 磐田市グラウンドゴルフ予選会



29年度体育祭（安久路多目的広場）

南地区体育部

加盟チーム数
加盟人数 16自治会
代表者 吉添 繁雄
創立年

【組織】

・組織の概要

南地区「地域づくり協議会」の専門部の一つとして体育部がある。

・組織の紹介

体育部は本部役員と専任役員及び各町体育部長が委員となり、交流センターが事務局となっている。

・役員の紹介

地域づくり協議会長	鈴木 義親
体育本部長	小澤 勉
体協理事	寺田 和弘
スポーツ推進委員	田中 則夫
	長谷川 ひとみ
	杉本 輝雄
専門部インディアカ	鈴木 健一
ソフトボール	那須 正
	松本 武夫
卓球	鈴木 好浩
	萩原 早苗
バレーボール	鈴木 一郎
	水内 宏枝



「体育の集い」の写真

・活動状況

競技は各自治会の体育委員が中心となり参加者を募っている。大会は高齢者でもできる輪投げ、個人戦で競う卓球。競技人口の多いインディアカ。誰でもできる、ソフトバレー、ファミリーバトミントン、ソフトボールの6競技。これら競技は体育部本部が中心となり実施している。

「体育の集い」は地域づくり協議会が主催であるが、体育部の方々の協力で運営している。必ず16自治会が参加のもと実施。年に一度「体育の集い」だけが全町内が顔を合わせる機会であり、大変貴重なイベントとなっている。競技の多くが町内対抗戦で行われる。昔ながらの綱引きや紅白玉入れ、パン食い競争などを行っている。特徴ある競技は「防災リレー」で競技を通して防災意識の向上を狙っている。また、地域がいつまでも栄え繋がるように願いを込めて「年代別リレー」を最後の目玉にしている。小学生、10代、20～30代、40代以上の男女8人が町内の名誉を担って走る。全競技の参加延べ人数は1,000人以上で毎年大いに盛り上がっている。

・今後の目標や展望

競技は昔から行われているものばかりなので、新しい競技も今後検討していきたい。「体育の集い」は高齢化と少子化が進み各町内で選手の選出が難しくなっている。オープン参加を増やすなどの検討も今後していきたいと考えている。

長野地域づくり協議会 体育健康部会

代表者 協議会長 古山晴海
体育健康部会 部長 酒井勇二
創 立 年 平成27年
(長野地区体育委員より事業移管)

【組織】

長野地区（12の自治会で構成）では、平成27年度よりひとつの自治会の枠を超えて、地域住民や各種団体が連携して事業に取り組むために『長野地域づくり協議会』を立ち上げ、その協議会の1部会として、地域住民相互の交流はもとより体育健康に寄与する事業を担う部会『体育健康部会』を設けた。

体育健康部会の構成員は、スポーツ推進員でもある部会長の他、自治会代表・体育祭実行委員・体育委員で構成され、この他、地区ボランティアが協力して事業を実施している。



子ども向け講座『体育館であそぼう』
小学生とシニア世代との運動・ゲーム交流
(手伝い：中学生ボランティア)



『みんなでラジオ体操』

【現在の活動状況】

体育健康部会の事業については、『長野地区体育祭』を、誰でも参加できる『長野スポーツ・レクリエーションフェスタ』に代えるなど、地域の実状をふまえ新しい体育事業の企画実施を行っている。

各種スポーツ大会も地域の方々の協力により実施している。

また磐田市で取り組む『みんなでラジオ体操』は、地区2か所で毎週土、日曜日に開催し多くの参加者が継続して参加している。

その他、長野交流センターとも協力し、地域の実状にあわせた講座の実施をしている。

長野スポーツ・レクリエーションフェスタ

(長野地区体育祭に代わり、平成30年度より長野交流センターにて実施)

年齢に左右されず皆が楽しめる運動やゲーム大会を開催

シニア向け講座『はつらつ長野』

シニア世代の運動不足解消や脳トレ、健康維持のために月1回第4火曜日に長野交流センター体育館で実施

子供向け講座『体育館であそぼう』

交流センターの講座として、年2回実施

シニア世代も一緒に運動し、また中学生のボランティアも参加している

『みんなでラジオ体操』

地域交流・健康増進のため磐田市が奨めるラジオ体操を地区2か所で毎週土・日曜日の朝に実施

効果的な正しい体操の動きを教える『ラジオ体操講座』を7月に開催

各種スポーツ大会

卓球、ファミリーバドミントン、インディアカなど、地域のボランティア（サークル）が運営を手伝い実施

見付地区体育部

加盟チーム数
加盟人数
代表者 林 浩巳
創立年

見付地区体育部（体育振興部）は、見付交流センター（平成27年3月まで見付公民館）の発足以来、見付地区26自治会推薦により組織されている2専門部の1つであり、平成30年4月からスタートした見付地区地域づくり協議会の地区交流部に所属している組織である。

見付地区は、市立の小学校2校・中学校1校を有し、約8,000世帯の体力づくりと地区のスポーツ活動振興及びコミュニティづくりを図るべく、見付地区体育祭・グラウンドゴルフ大会・卓球大会が実施されており、今年で35回目を迎え歴史の重みを感じさせる。

①見付地区体育祭

毎年10月に見付地区26自治会の就学前の幼児からお年よりまで幅広い年齢層の人約1,000人が参加しての、自治会対抗の体育祭である。

35年の歴史を重ねるうちに幾多の変遷を経て現在は、玉入れ・順送球・大玉ころがし（今年から長縄跳びから変更）の三種目で競っている。

特別種目として、小学生以下250人を対象にしたパン食い競争も行われている。

体育振興部員が運営・進行し、城山中学生25人がボランティアとして参加して、地域の住民とのふれあいの場となっている。



平成29年度 見付地区体育祭

体育振興部員が運営上最も留意している点は、26自治会が一同に会する場合は、体育祭のみであり、勝敗よりも互いの情報交換と親睦を深め理解し合う場の提供である。

②グラウンドゴルフ大会

毎年6月に個人戦のグラウンドゴルフ大会を磐田北小学校のグラウンドで実施しており、住民の体力向上と親睦に寄与している。

参加者は、60代～90代が主で、高齢化社会を実感させられるが、底辺を広める努力をして愛好家の増加を期待している。



平成30年度 グラウンドゴルフ大会

③卓球大会

水谷隼選手・伊藤美誠選手のゆかりの地である見付地区は、卓球熱も高く、9年前から卓球大会が開催されている。大会は、男女混合ダブルスで20チーム40人が集い、予選リーグ戦の後、決勝戦では、1位～4位トーナメント戦に分かれて順位を決定している。

今後卓球の普及と卓球愛好家の親睦を深める場として開催していく。

④その他

現在、見付交流センターを基点として活動しているスポーツ団体は、43団体ありスポーツが広域化する中、地域の活性化のためのスポーツ又は趣味の多様化と高齢化社会を迎え、それに対応できるニュースポーツの普及を今後考えていきたい。

中泉地区体育部

加盟チーム数

加盟人数 中泉地区 27 自治会

代表者 地区長 星野 勝彦

創立年 昭和 59 年

【組織】

昭和59年4月、現在の中泉交流センターの前身の中泉公民館が開館。公民館運営のため中泉公民館振興会を組織し、コミュニティ推進部、青少年健全育成部、スポーツ振興部、文化振興部の各部を立ち上げた。

スポーツ振興部は、地区スポーツ活動の振興と体力づくりを目標とし、ソフトボール、バレーボール、ゲートボール等の大会を実施してきた。

平成3年には社会体育指導員4名、体育協会地区委員1名を中心に各自治会より選出された体育部委員で組織を強化した。

平成5年、グラウンドゴルフ、インディアカ、ソフトバレーボール等のニュースポーツを普及させるため大会も行ってきた。また、学校5日制に伴い、児童生徒が家族とともにスポーツを通じて触れ合える場として、バドミントン、卓球大会等も行ってきた。

しかし、徐々に参加者も少なくなっていき、各種の大会も組織を衰退をさせていった。

こうしたなか、平成19年に中泉地区自治会の規約改正が行われ、中泉地区自治会に各町の自治会長で組織する体育部会が設けられた。そして、ソフトボール、グラウンドゴルフ、ソフトバレーボール大会が行われたが、平成22年からはこのうちのソフトボール、グラウンドゴルフの2大会が行われてきている。

【現在の活動状況】

現在は、平成29年7月に中泉地区地域づくり協議会が設立され、この協議会と中泉地区自治会が連携し、スポーツ大会を運営している。運営の中心となるのが、自治会長及び各自治会から1名ずつ選出されている中泉地区活動推進委員（文化・体育部会員）である。大会は、グラウンドゴルフ大会、ソフトボール大会の2大会が地区の定例事業として定着している。

（1） グラウンドゴルフ大会

近年は、市大会への予選会を兼ねた3人1組の団体戦と個人戦の2大会を実施してきたが、今年度は団体戦のみの開催とした。参加者は、高齢者を中心に愛好者が多く、80人前後の方が参加している。

（2） ソフトボール大会

自治会毎のチーム構成で、例年8チーム前後が参加している。各チームともに選手の高齢化傾向にあるようだが、10代20代の若手の参加もある。いずれにしても各チームとも根強い愛好者はいるものの人集めに苦労しているようだ。



どのくらいで打とうかな？ H. 29 グラウンドゴルフ大会から



体育館までとどけ！ H. 29 ソフトボール大会から

福田地区体育部

平成17年4月の磐南5市町村の合併により、福田町体育協会は磐田体育協会福田支部となりましたが、もともと福田町体育協会の加盟団体は競技中心であったため、支部活動より磐田市の競技団体に加盟し活動してきました。

競技団体に属さない支部の団体は福田地区内だけの活動となりましたが、ジュピロマラソンに関しては福田地区内がコースになっていることもあり、競技団体と協力し、福田地区ソフトボール愛好会が中心となり、交通整理、会場準備等、大会を盛り上げるため尽力しております。

福田地区は戦前のオリンピック金メダリスト、寺田登氏やロサンゼルスオリンピックの女子柔道銀メダリスト溝口紀子氏を輩出したことからわかるように、スポーツが盛んで磐田市の体育協会の各部に参加し現在に至っております。

スポーツ少年団活動も合併前から盛んでしたが、現在も福田地区の少年団として、未来の選手を育てております。

又、グラウンドゴルフに関しては、太田川河川敷や地区の広場を利用し、時間があれば集まり年配者の憩いのスポーツとして広まっております。

今後もジュピロマラソンには、福田地区としてなお一層の協力をするとともに、磐田市体育協会の発展のために人材の発掘、育成の努めていく所存です。

福田地区役員

竜洋地区体育部

加盟チーム数
加盟人数
代表者
創立年

白井 彰

竜洋地区体育部は、竜洋地区全39自治会と竜洋スポーツクラブとの協同で事業を実施している。主な活動は、次のものである。

- 1 竜洋地区水泳大会
- 2 竜洋地区駅伝大会
- 3 竜洋地区卓球大会

平成22年以降の事業

- 平成22年度 第47回水泳大会(12自治会)
第52回駅伝大会(23自治会)
- 平成23年度 第48回水泳大会(12自治会)
第53回駅伝大会(22自治会)
- 平成24年度 第49回水泳大会(13自治会)
第54回駅伝大会(22自治会)
- 平成25年度 第50回水泳大会(10自治会)
第55回駅伝大会(17自治会)
- 平成26年度 第51回水泳大会(13自治会)
第56回駅伝大会(18自治会)
- 平成27年度 第52回水泳大会(13自治会)
第57回駅伝大会(20自治会)
- 平成28年度 第53回水泳大会(11自治会)
第58回駅伝大会(18自治会)
- 平成29年度 第54回水泳大会(10自治会)
第59回駅伝大会(18自治会)
- 平成30年度 第55回水泳大会
第60回駅伝大会

現在の竜洋地区スタッフ

- 会長 松下 孝
(竜洋スポーツクラブ卓球部部長)
- G. M 山下 安範
(竜洋スポーツクラブテニス部部長)
- 副会長 金田 一比己
(竜洋スポーツクラブバレーボール部部長)
- 会計 白井 彰
(竜洋スポーツクラブ地区長)
- 坂口 弘和
(竜洋スポーツクラブ野球部部長)
- 杉浦 英之
(ソフトボール部部長)
- 杉山 悟
(トライアスロン協会会長)
- 鎌田 要之助
(磐田市グラウンドゴルフ協会会長)
- 古田 政美
(卓球部副部長)

豊田地区体育部

加盟チーム数

加盟人数

代表者 水野 貞男

創立年 昭和34年

旧豊田町の体育活動は昭和30年頃より各地域でグループができ、各グループにより親善試合が行われるようになりました。

そこで昭和34年に行政指導で豊田町体育協会が設立され、運動会を中心に競技スポーツの普及が図られ豊田地区のスポーツ発展の基礎が築かれました。

設立当時は陸上競技部・野球部・排球部・卓球部・水泳部・剣道部・柔道部の7部によって構成されていました。このようにしてスタートした豊田町体育協会は、平成の合併後はスポーツ人口の減少に伴い現在では同好会としてソフトボール・バレー部が活動しています。

昭和62年豊田ソフトボール協会を20チーム参加で発足し、昭和63年よりA・Bクラスに分かれてリーグ戦を実施、また親善を図る目的で父親ソフトボール大会および議長杯も実施するようになりました。

平成17年1市3町1村が合併し新しい磐田市が誕生しました。合併を機に協会は解散して、現在では、親睦・健康増進を目的とした豊田ソフトボール親睦会を発足して活動しています。

平成20年磐南親睦ソフトボール大会開催 平成21年よりリーグ戦・豊田ソフトボール大会 磐南親睦ソフトボール大会を開催平成30年度活動計画は4月から11月まで豊田ソフトボールリーグ戦前期・後期磐南親睦ソフトボール大会11月・12月を予定しております。

平成9年に13チームで豊田バレーボール協会を設立し活動しておりましたが、合併により豊田地区バレー部に組織を変更し再出発して現在に至っております。

平成20年長藤杯・平成21年クラウンメロン杯・平成25年ナイトリーグ大会を開催しております。現在は、12月男女混合バレー大会・3月親睦ソフトバレーボール大会を開催して活動しております。

また、豊田町時代から行われていた磐田市長杯車いすツインバスケット大会及び長藤マラソン大会・ジュピロマラソン大会等の体育協会主催の行事にも積極的に協力しています。

その他グランドゴルフ・ウォーキングを生涯スポーツとして推進しています。

豊岡地区 体育部会

加盟チーム数
加盟人数 6人
代表者 松島 正司
創立年 平成17年

【組織】

・組織の概要

社員は旧豊岡村体育協会の体育部会の方でわずかな人数で活動しています。

・組織の紹介

平成21年度より豊岡駅伝大会より、豊岡地区スポーツフェスティバルに競技名を変更致しました。

豊岡地区住民の多くの方にスポーツに参加をし、楽しんで頂けるようにとの想いで進めて第10回目を迎えるまでになりました。この期間、幾度かこのまま開催し続ける事が出来るかと不安な思いをした事もありましたが、自治会連合会豊岡支部役員の応援を頂き、ここまで進める事ができました。

・役員の紹介

松島正司

(豊岡地区代表、事務及び連絡等を担当)

村松邦明

(野球部所属で豊岡地区での行事では、司会・競技進行等を担当)

佐藤智洋

(少年サッカー教室所属で豊岡地区での行事では、司会・競技進行等を担当)

佐藤元則

(陸上教室所属で豊岡地区での行事では、会場設営・競技進行等を担当)

伊藤光弘

(剣道部所属で豊岡地区での行事では、会場設営・競技進行等を担当)

鈴木 勉

(野球部所属で豊岡地区での行事では、会場設営・競技進行等を担当)

・活動内容

豊岡地区スポーツフェスティバルでは、以下の競技種目を開催しています。

① バランスボール体験(6月)

対象年齢：3歳～12歳まで

② ファミリーバドミントン(10月)

対象年齢：9歳以上

③ グラウンドゴルフ(10月)

対象年齢：年齢制限無し

(グラウンドゴルフは磐田市5地区選抜予選会)

・活動状況

最近、バランスボール体験について高齢者の方から参加申し込みがありました。そのため今後の募集方法について参考にしたいと思っています。

ファミリーバドミントンについては、第10回目を迎え、参加者の競技技術があがり、中には指導者と対等の方が見受けられる様にもなってきました。携わっている身としてとても嬉しいことです。

また、グラウンドゴルフでは、地域外の大会が増え、皆さんの競技意識が強まりました。今までローカルルールで行ってきましたが、本大会に近いルール改正の声が出てきています。そのため、ルール改正を行いながら進めています。

・今後の活動について

豊岡地区体育部会は、平成30年度より豊岡中央地域づくり協議会の地域交流部会に籍を置くようになりました。最初の活動としては豊岡中央交流センター軽トラ市への参加です。

参加方法としては、輪投げを開催して行事の盛り上げを致しました。今回の参加対象は3歳～12歳で競技距離を2種類にして行なった所、計223人の参加者がありました。競技協力者としましては、フェスティバル実行委員・元体育指導員・体育協会社員で計8人でした。

今後の活動については、各会合等の場所にて体育協会の加入及び各行事協力の声掛けをしていきたいと思っています。



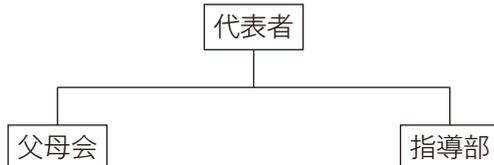
加盟団体の紹介
スポーツ少年団

青城ジュニアフットボールクラブ

【組織】

- ・目的
サッカーを通じて、協調しあい
豊かな友情で結ばれる
心身ともに健全な子供の育成に努める。

・組織概要/指導者



・指導部

監督	齋藤敏通 (C級)	富田宏司 (C級)
	竹川逸人 (D級)	青木賢治 (D級)
	豊田幸弥 (D級)	齋藤真志 (D級)
	清水貞義 (D級)	菊地里紗 (D級)
	鳥居節夫 (D級)	倉島利幸 (D級)
	大杉俊彦 (審判員)	
	田中達也 (審判員)	
	神谷正巳 (顧問)	

【現在の活動状況】

【競技の魅力】

- ・体を動かすことの楽しさを知ること
- ・固定観念にとらわれず
自らの考えやアイデアを生かせること
- ・仲間とともに成長できること

【活動状況】

5年生	1名	トレーニング
4年生	12名	毎週水曜日
3年生	10名	19:00~21:00
2年生	13名	毎週土曜日
1年生	14名	9:00~11:00
キッズ	4名	大会・招待試合等
2018/8		土・日

【年間行事】

- 静岡県サッカー協会4種主催大会への参加
- 各カテゴリー招待試合への参加
- 8月 三重遠征 (ホームステイ)
- 1月 初蹴り 3月 青城カップ主催

【チームの目標】

- NTTカップ県大会出場
- 中学・高校年代でも活躍できる選手の育成
- 基本技術の習得
- クリエイティブな選手の育成

【各学年集合写真】



【3年生】



【4年生】



【2年生】



【1年生】

豊田南サッカースポーツ少年団

加盟人数 46名

代表者 落合 茂

創立年 昭和52年

【組織】

・組織の概要

豊田南小の児童を中心に発足しました

スポーツ少年団として、サッカーだけでなく、夏のキャンプや豆まきなど、季節の行事も取り入れた活動をしています。

・組織の紹介

毎年元旦に行われる初蹴りには、中学生から社会人まで、多くの卒団生や、その保護者も集まるアットホームな団です。

・運営メンバーの紹介

- ▶ 団 長 落合茂
- ▶ 副団長 米田俊彦、大橋慎吾
- ▶ 指導部 馬淵喜久、山田新一、寺田立志、
野々山大介、大橋佳晃、江塚知史、
飯田敏彰、高塚淳
- ▶ 審判部 横田川祥弘
- ▶ 顧問 前田晃、堀田和行

【現在の活動状況】

・競技の魅力

サッカーは団体競技ですから、一人では最良の結果は得られません、意見を伝え・聴き、互いを励まし高め合う環境があります。

小学生世代（4種）のサッカーは、現在8人制が主流です。

11人制に比べて、より早い判断が必要とされ、得点シーン、攻守の切り替え、更に一人一人のボールへの関わりも増えています。

技術と体力だけではなく、サッカーを通じて、各家庭と共に、諦めない心を育て、そして礼節も身に着けていきます。

入団時は、殆どの子がサッカー初心者ですので、安心してください。

・活動状況

日時 / 毎週(水)19:00-20:30と(日)9:00-11:30の練習を原則として試合が入れば(土)等も活動します。

場所 / 主に豊田南小グラウンド

対象 / 年少～小6（幼児は日曜のみ）

試合 / 主要な大会を含め各種に出場
ジュピロ前座試合にも参加



豊田ジュニアフットボールクラブ

加盟人数 100人
代表者 寺田 義則
創立年 平成15年

チーム創立 2003年より活動。
地域にとらわれず、他地域より募集し5名程からのスタート。

小学生のサッカー指導を行う。

今では、年中・年長のサッカー指導も行う。現在は、豊田北部小学校や豊田東小学校の小学生が多い中、他地域からの小学生も在籍する。

各学年ごとに指導者を決め、豊田東小学校、豊田北部小学校のグラウンドを使用し活動。

チーム活動をしながら、トレセン、県トレセン、ナショナルトレセン、東海トレセンコーチ、監督も行ってきました。

3つの柱

- ☆ 子供達が楽しく真剣にサッカーができる環境
 - ☆ 責任ある指導者による 質の高い練習環境
 - ☆ 保護者の皆様の負担を最小限に
- ・ 個人技術の習得
 - ・ サッカーを通じて健全な心と体の育成をめざして日々努力しています。
 - ・ 年中／年長
 - ・ 小学校1年～6年
- ☆ OG OBの中にはなでしこリーグ、代表候補として活躍中の選手もいます。
寺田 郁美 なでしこ2部
安間 帆乃香 代表候補

代表 寺田 義則
コーチ 山田 哲志 (トレセンコーチ)
コーチ 石川 恵一郎
コーチ 高橋 満
コーチ 原 拓也
コーチ 青嶋 謙典



磐田豊岡 JFC

加盟人数 51名

代表者 佐藤 智洋

創立年 平成5年4月

豊岡地区の小学校に在籍する1学年から6学年の児童を対象にサッカーを通じて、子供達の健全な精神と身体を育てることを目的として活動しています。

<事務局>

会長 鈴木治
副会長 藤見由美子
副会長 野口里美
書記 青木智子
会計 豊田智佳

<コーチ>

幼稚園 佐藤智洋
1年2年 平野尚洋 藤森新五
3年 鈴木優佑 鈴木茂
4年 川合隆 皆田和幸
5年 黒柳直希 松野元樹
小林文彦
6年 安蔵晴夫 倉橋圭一
鈴木信二 倉橋翔也

<活動状況>

豊岡総合センター多目的グラウンドで毎週土曜日、日曜日の午前中の練習、月に1~2回近隣のチームとの交流試合を中心に活動しています。

個人のスキルの上達はもとより団体競技なので、チームの団結力も大事にしたいと考えています。

3年生以上は近隣で夏の合宿を行い、5年生は長野まで遠征合宿に出かけ、チームの親睦を深めています。

3年生は4月12月の2回、2年生は9月、1年生3月に招待試合を計画し近隣のチームとの親睦をはかっています。

また、アグレミーナ浜松に3期卒団生の蓮池紳吾選手が在籍していました。

<今後の目標>

- ・設立した目的通り、地域に密着した縦と横の繋がりを大人になっても持てる人材の育成
- ・第二、第三のプロ選手の育成と豊岡地区のサッカーの普及と強化
- ・県大会出場

以上の事を三本柱として掲げ努力していきたいと思っています。



U-10.11楽しい合宿を控えて



U-12浜名湖カップ表彰式

福田サッカースポーツ少年団

加盟人数 80名
代表者 栗田 正孝
創立年 昭和46年4月



昭和46年4月旧福田町体育協会サッカー部として福田サッカースポーツ少年団の活動開始。

合併前の昭和52年に磐田サッカー協会の設立とともに同協会に加盟、現在に至る。

平成17年4月の磐南5市町村の合併により、福田町体育協会は磐田体育協会福田支部となりましたが、もともと磐田サッカー協会に加盟していたので、何の違和感もなく活動を続けています。

団の歴史は前述のとおり、サッカー少年団としては市内で一番長く活動していると自負しております。卒団生も700名を超え、親子2代にわたり少年団で活動している団員も数多くおります。

団の信条は、「親子で楽しむ」を掲げ、選手と子供が一緒になって活動できるように心がけています。

それと我が団が他のチームと大きく違う点があります。

それは試合の時の審判です。保護者で審判を協力して下さる方もたくさんいますが、子供が卒団しても保護者の方で審判を協力して下さる方が多くいることです。これは他のチームからもうらやましがられています。

これはこれからも継続していきたいと思っています。福田サッカースポーツ少年団の一番誇れることです。

現在幼稚園児から6年生まで80名余りが在籍しています。スタッフも10名以上がボランティアで協力してくれております。

「優勝よりも、記憶に残るチーム」を目指してこれからも磐田市体育協会加盟団体として活動して行きたいと思っています。

活動については、ホームページをご覧ください。

磐田市体育協会の益々の発展を祈念し、我々も微力ながらお手伝いして参ります。

福田サッカースポーツ少年団
代表 栗田正孝

竜洋FCスポーツ少年団

加盟人数 90名
代表者 長谷川 公男
創立年 平成12年4月

【組織の概要】

旧竜洋町の小学校3校で約20年、小学校単位でそれぞれ活動していた少年団活動を平成12年に一本化して現在に至っている。

平成30年現在、指導者22名、団員90名で活動している。また、下部組織として幼稚園の年中・年長児を対象とした竜洋キッズも活動をしている。

【目的】

サッカー活動を通じて心身の健全な育成に資することを目的とする。

- ・ 団員一人一人の知性、徳性を高める。
- ・ 心身の鍛錬を目指し、スポーツの振興と安全教育の推進を図る。
- ・ 健全な家庭作りと地域学習により文化の振興を図る。

また、上記の目的を果たすために保護者の会が組織され、選手・指導者・保護者の会が三位一体となって協力し合い、それぞれの役割を果たして活動を行っている。

【指導方針】

サッカーの上手な選手だけを中心としたチーム作りではなく、子供達の心身の健全な発達を目指し「スポーツ」と「人間教育」の両方に取り組む。

- ・ サッカー技術の向上
- ・ 体を鍛える。
- ・ 心を鍛える。



平成30年度 6年生チーム写真

【活動状況】

週3回、竜洋地区小学校のグラウンドや近隣のグラウンドで活動。

- ・ 木曜日 19:00~21:00
- ・ 土曜日 9:00~12:00
- ・ 日曜日 9:00~12:00

【過去5年間の大会成績】

- 平成26年度
 - ・ NTT県大会出場（6年生）
- 平成28年度
 - ・ しんきんカップ県大会出場（4年生）
 - ・ しずぎんカップ県大会出場（5年生）
 - ・ NTT県大会出場（6年生）
- 平成29年度
 - ・ NTT県大会出場（6年生）

【団主催の大会】

- ・ 匂坂産業杯U-10サッカー大会（8月）
- ・ 匂坂産業杯U-11サッカー大会（8月）
- ・ 竜洋U-7サッカー大会（12月）
- ・ 竜洋U-10サッカー大会（12月）
- ・ 竜洋カップU-11サッカー大会（1月）

田原フットボールクラブ（田原FC）

加盟人数 143人
 代表者 山本 好夫
 創立年 昭和50年

【組織】

組織の概要：

昭和50年 田原サッカークラブとして天竜東地区初のサッカー協会登録

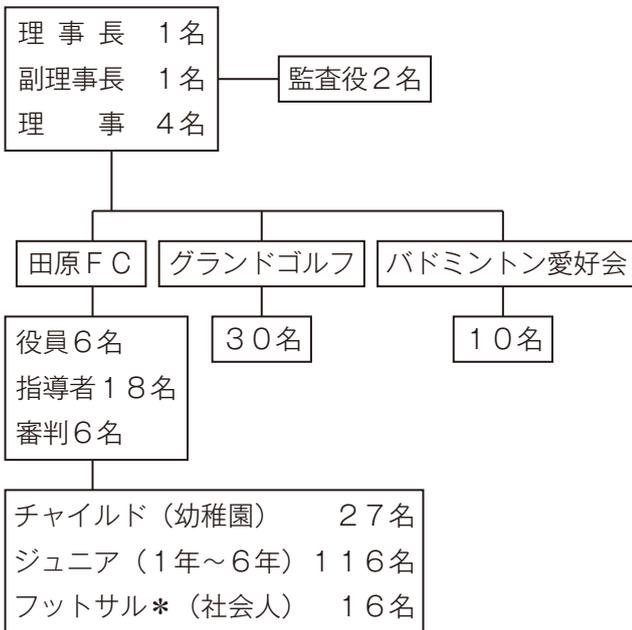
平成3年 幼稚園児からシニアまでの活動を対象に田原フットボールクラブ結成

平成8年 社会体育優良団体として文部大臣賞受賞

平成19年 総合型地域スポーツクラブたはら設立し、翌年NPO法人化

現在 下部組織として田原FCの活動中心

組織の紹介：NPOスポーツクラブたはら



* アグレミーナ浜松の母体



昭和50年磐田教育長をお迎えしての結団式



平成30年初蹴り

【現在の活動状況】

目的：地域に愛されるクラブ作り

生涯スポーツとして一生楽しめる基礎作り

サッカー指導の考え方：見る人に感動を与える（プレーに意図がある）サッカーボールを持てる、ボールを失わない選手の育成

活動状況：トレーニングは火、水、木のナイターと土曜日 日曜日は休みとし大会、トレーニングマッチに当てる

優秀選手：本田FCの10番をつけた柴田潤一郎、アグレミーナ浜松の松本行令

目標、展望：もっとより多くの子供たちがスポーツにかかわれる環境作りをする

スポーツを楽しみたい子、もっと上を目指したい子、それぞれの目的に合ったトレーニングシステムの構築

スポーツをする子、指導する者、見守る者それぞれが成長し、地域コミュニケーション作りに役立ちたい

FCポーラスター磐田

加盟人数 69人

代表者 黒野 行彦

創立年 昭和56年7月

【年間行事】

- ① 全日本少年サッカー大会、とんぼカップ、トダックス杯U-10サッカー大会、HondaカップU-11サッカー大会等、各種大会への参加
- ② その他スポーツに関わるイベントへの参加

【活動紹介】

長年にわたり、スポーツを通じた青少年の健全育成を目的としたスポーツ少年団の理念に基づき、サッカーを中心とした活動を行っています。しかしながら、近年における生活環境の変化により、園児など低年齢層の運動能力の低下、成人のスポーツ実施率の低下や生活習慣病など、スポーツ離れによる健康への影響が心配される時代となりました。

そこで、2006年12月より総合型地域スポーツクラブを目指した『NPO法人スポーツコミュニティ磐田・ポーラスター』を設立し、地域のより多くの様々な人たちがスポーツを楽しめる環境づくりに取り組んでいます。

2016年にチーム名を現在のFCポーラスター磐田に変更し、従来のジュニアスポーツクラブの活動の他に、社会人サッカーサッカークラブの運営や、幼稚園児から小学6年生までを対象としたサッカースクールや出前キッズサッカー教室。幼稚園児から中学生までを対象としたフットサルスクール。さらには、大人の個人参加型イベントや、家族みんなで楽しめるファミリー参加型のサッカー、フットサル、そしてビーチサッカーなどのイベントも開催しています。また、サッカー以外のスポーツでは、ヨガ教室なども開催しています。

2018年からは、新規事業としてリーベ式運動あそびを導入し、幼稚園・保育園へ出向いての運動指導を行っています。今後は、多世代・多種目スポーツクラブとして新しいスポーツにもチャレンジし、大人から子どもまで全ての人が気軽にスポーツを楽しめる環境を目指して『サッカーのまちいわた』、『スポーツのまちいわた』としてスポーツ文化が発展するよう活動していきます。

これらの活動は、クラブ公式ホームページにて紹介しています。

HPアドレス <http://polarstar.jp/>



磐田第一ジュニアフットボールスポーツ少年団

加盟人数 97名
代表者 宮田 豊久
創立年 平成13年4月

(組織)

少子化で人数が少なくなり少年団の存続が出来なくなり二つの少年団(磐田西、磐田中部)が一つになり今日の少年団磐田第一JFSSが誕生しました。

U-6 12名、U-7 12名 U-8 16名
U-9 13名 U-10 19名 U-11 14名
U-12 11名

役員を紹介します

代表 宮田 豊久 監督 伊藤 常昭
コーチ 今村 均 深田 眞一
長谷山 寛 平野 晴裕 米田 翔
伊藤 仁志 小島 淳 平田 建士
安間 健喜 野末 定伯 鈴木 真人
中島 寿之 徳本 貴久 天野 達哉
藤田 将行 柿本 公明 丹羽 智紀
伊藤 恭朗

資格 C級 10名 D級 9名
キーパーコーチ資格 C級 1名

活動状況

県大会出場 23回 フットサル県大会
11回

今後の目標、展望

スポーツを通じて学んでほしい
常に向上心と主体性のある人に、そして何事にも諦めない粘り強い継続性、仲間との協調性の大切を学んでもらいたい。

サッカーについて

一つ一つのプレーに自信を持ち判断し、粘り強く諦めずにプレーをし、そして何事にも目標を持って望んでもらいたい。

活動状況

土曜日、日曜日の練習
8時30分よりU-6,U-7
10時よりU-8,U-9
磐田西小学校グラウンド
8時30分より U-10
10時より U-11,U-12
磐田中部小学校グラウンド



テンマサッカークラブスポーツ少年団

加盟人数 120名
代表者 金原 秀則
創立年 昭和61年

事務局 〒438-0077
磐田市国府台7-11
Tel: 0538-33-5001
Fax: 0538-33-5002
Mail: tenma@sfa-west.com

活動拠点 磐田市立富士見小学校のグラウンド

活動日 週2日 土・日

種目 サッカー

指針 サッカー競技を通じて、少年たちの健全な心身の育成、相互の技術の向上を図ると共にフェアプレー精神、リスペクト精神を養い、正しく強くそして想像力豊かな人間の育成を目指します。

保護者会 会長 古川 真一
副会長 北谷 康代
会計 青島 智子
1年 柿原 将俊
2年 樋口 奈緒
3年 西村 未弥美
4年 馬淵 実穂
5年 鈴木 ひろみ
6年 吉田 美保
クラブウエルフェアオフィサー 袴田 晃央

直近3年間の主な戦績

2016年度 U-12 全日本少年サッカー大会県予選
準優勝



指導スタッフ 総監督 中村 正則
1年監督 宮地 淳
2年監督 瀬戸垣内 誠
3年監督 小野 敦也
4年監督 渡邊 仁志
5年監督 中西 啓太
6年監督 石原 淳
技術委員 山下 和行
審判委員 松井 健吾
広報担当 兒島 和樹

アシスタントコーチ 岩田清一、川崎和博、佐藤真仁、
松田弘幸、岩本佑亮、杉山大介、
平田雅一、稲垣孝芳、北川貴久、
田中 徹、川口広樹、山田博之、
伊藤薪吾、山内利文

U-12 NTT大会 県大会出場

U-12 JAときめき杯 優勝

2017年度 U-10 しんぎんカップ県大会出場

U-11 しずぎんカップ県大会出場



2018年度 U-10 しんぎんカップ県大会出場

*今年度も各学年県大会出場を目標に練習に励んでいます。

ASKAサッカークラブ

加盟人数 90人
代表者 伊藤 賢三
創立年 平成6年



私たちは、21世紀を担う子供たちにサッカーを通じて夢と感動を与えるとともに、リスペクト精神を育んだクリエイティブなサッカー選手の育成と、地元地域の誇りとなる選手の育成を目指した活動を行っています。

この理念のもと、民間スポーツクラブの立場からサッカーを通して地元地域スポーツの発展と振興のため経験豊富な指導者が精一杯指導にあたっています。

現在の日本サッカーは、世界で活躍する選手を続々と輩出し、ここ数年ほどで目覚ましい躍進を遂げています。このことから小学生～中学生世代のゴールデンエイジの育成が最も大切であると感じています。

その子供たちが、発育発達していく過程で身体面においても精神面においても健全で正しい成長ができることを願い、教育的立場に立ってASKAサッカークラブを創りました。

クラブは、サッカースクールを幼児、小学校低学年、高学年、中学校に至るまでの子供たちを対象に、各段階でコース別に展開するとともに、ジュニアチーム、ジュニアユース選抜チームを有し、多方面から一貫した指導を行っています。

磐田南フットボールクラブスポーツ少年団

加盟人数 46名

代表者 橋本 則彦

創立年 平成11年4月

【組織】

代表 監督 各カテゴリーコーチを中心に運営を行っております。

父母会の支えがあり、助けていただいています。

そうした周りの人々の思いをリスペクトできる子供たちを育てていくことが大切だと考えます。

- ・代表兼低学年コーチ 橋本 則彦(D級指導)
- ・監督兼高学年コーチ 山下 祐一(B級指導)
- ・高学年コーチ 榊原 剛(D級指導)、大箸 孝晴(D級指導)、山内 克浩
- ・5.4年コーチ 吉村 映史(トレセン担当、C級指導/フットサル指導)、菊井 勝義(D級指導)
- ・低学年コーチ 山田 晃司(D級指導)

【現在の活動状況】

- ・サッカーを通じて、心と身体を育み成長させる。
- ・各種大会への参加、自団体主催の大会もあり。
- ・とにかく楽しむ！！それが大事。

年間行事

夏季合宿 クリスマス会 初蹴り豚汁ふるまい

団主催大会開催 親子サッカー 卒団式

各カテゴリー別大会参加



豊岡わんぱくサッカー大会参加写真

バディフットボールクラブスポーツ少年団

加盟人数 50人
代表者 西尾 和孝
創立年 平成3年

【組織】

代表 西尾和孝
監督 金田泰樹
コーチ 鈴木隼人
西尾佳之
篠原寛季

バディフットボールクラブは平成3年に磐田市の国府台に保育園の遊びの一環として活動を開始しました。当時は5～6人でのスタートでした。まだまだ、サッカーと言えるものではなくユニフォームだけは全員揃いの物をそろえ公園の片隅で練習開始、しかし小学校のグラウンドで沢山の小学生が練習している所をうらやましく思ったこともありました。

平成6年にはフットボールクラブの母体であるバディ幼稚園が見付に移転、園児の数も少しずつ増えサッカー好きなお父さんも練習に加わって少しずつサッカーらしくなってきました。そして、

平成10年に協会への登録が完了。

登録当時は試行錯誤の日々、周りのチームの方々に助けられ教えられ大会への参加も実現しました。そして、翌年には地区予選（天竜東地区）を第3位ながら初の県大会の出場権を獲得。子供たちの自信に繋がりました。

【現在の活動状況】

今回のロシアワールドカップでのジャパンプルー日本代表のベスト16は日本に大きな感動と日本のサッカーの底力を見せた試合となったと思います。

現在バディフットボールクラブで練習に励んでいる選手一人一人も刺激を受け大きな目標が出来たと思います。

選手に目標を聞くとJリーグになりたい。ワールドカップに出てみたいと大きな目標を持っています。

この目標に近づくためには日々の練習を頑張っています。

バディフットボールクラブとしてもサッカーの底辺拡大に貢献すべくU-6年代の練習にも力を入れています。



(5年生磐田JC杯)
磐田第一との決勝戦

豊田クラブスポーツ少年団

加盟人数 30人
代表者名 大場 直一
創立年 昭和55年

【組織】

昭和55年：初代監督田宮定夫氏のもとに旧磐田郡豊田町の小学生を中心に結成される。

昭和58年：飯田彦一氏に監督が引き継がれる。

昭和59年：第3代監督に大場直一氏が就任。現在まで35期現役続行中！

豊田東小・豊田北部小・豊田南小・青城小・竜洋東小・岩田小・豊岡南小などの児童で構成。

学童（5.6年生中心）・ジュニア（5年生以下）・スーパージュニア（4年生以下）の各大会に参加しています。



【県大会出場決定！】

【現在の活動状況】

○活動日時

毎週土曜日朝8時～12時（午後自主練）

毎週日曜日朝8時～17時（冬期16時）

毎週木曜日ナイター練習（自由参加）

○活動場所

豊田加茂グラウンド

豊田地区小学校（主に東小）など

県大会出場、各選抜大会上位入賞を目標に、毎週末厳しくも楽しい練習を行っております。高学年になると、年間の試合数も多く実践経験もたくさん積んでいます。指導者は保護者がメインで、お子様との貴重な時間を共に過ごしています。

スポーツの中でもルールが複雑で、練習時間が長くなりがちですが、週末が待ち遠しく感じるクラブを心がけています。野球はプレーとプレーの間に考える時間・チームメイトと意思疎通を図る時間があるスポーツです。野球技術の向上はもちろんのこと、コミュニケーション能力、あいさつや感謝の気持ちなど、社会に出てからも必要な能力の会得にも貢献できております。平成30年度で約340人の子供たちが豊田クラブから巣立っています。この卒団生の中から、高校球児・プロ野球選手・メジャーリーガーが多く出ることを期待しつつ、今後も楽しく活動を続けていきたいと考えております。

磐田市スポーツ少年団豊田グリーンズ

加盟人数 400人
代表者 鈴木 忠
創立年 昭和56年

【組織】

1981年10月30日初代監督村瀬佳男氏、伊藤修三氏、仲井喜四作氏、佐々木伸氏4名が発起人となり、豊田町スポーツ少年団として発足。

1983年静岡県軟式野球連盟福田支部に加盟、公式戦に参加その後優秀な成績をおさめプロ野球選手1名、大学・高校で大活躍選手を多数輩出し今日に至る。

平成30年指導者

代表者（団長）	鈴木 忠
監督	佐藤 今朝男
ヘッドコーチ	佐藤 正吉
高学年コーチ	内山 匡記
低学年コーチ	大橋 正高

団員

市内4小学校の1年生～6年生



近年は少数精鋭みんないい顔やる気満々



地元福田大会で選手宣誓豊田グリーンズ
主将酒井君“大きい声で素晴らしい”

父母会

団員の母・父・祖父母

【基本方針】

軟式野球100年の歴史の1ページを、元気な子供たちと父母会、指導者三位一体となりよい環境を作り、明るく楽しく団活動を進めていく。

野球をとおして心身共に健全育成

- ・明るく楽しく元気よく行動する団員を育てる。
- ・しっかり挨拶ができるルールを守れる団員を育てる。
- ・勝つ喜び負けるくやしさを仲間を思いやるやさしい気持ちを感じられ表現できる団員を育てる。

【活動方針】

チーム力をいかに発揮し勝利に向かい全力プレーをする

- ・力強くバットを振る全力疾走をする大きな声を出す基本通り守備をする
- ・病気やけがをしない様十分注意する万が一の時は完治するまで無理はしない
- ・常に団員を増やし活気ある団を維持する
- ・ティーボール体験会の実施（ポールに乗ったボールを打つので誰でも楽しめるよ）
- ・餅つき大会（ペッタンペッタンそしておいしいお持ち食べよう）
- ・バーベキュー・食事会（お肉野菜たくさん食べて元気よく）



低学年4年生大会に向かってガンパロー

豊岡野球スポーツ少年団

加盟人数 32人
代表者 鈴木 東吾
創立年 平成16年

【組織】

豊岡地区の小学生が中心の少年団ですが、他地区からの小学生が2名加盟しています。また、女子も3名加盟しています。

・役員

団長 鈴木東吾
副団長 掛井利浩
監督 鈴木健之

団員 6年 8名（女子1名）
5年 14名（女子1名）
4年 7名（女子1名）
3年 1名
2年 2名

【現在の活動状況】

・練習日時 毎週土曜日・日曜日
午前9時～午後5時
・練習場所 旧豊岡東小学校グラウンド

現在、32人の団員が5・6年生と4年生以下で分かれて練習しています。5・6年生はグラウンドで実践的な練習および試合への参加、4年生以下は芝生のグラウンドで野球を楽しむことを主体に基礎練習に励んでいます。

練習や試合以外にも地域行事への参加や、レクリエーションとして、花見やバーベキューなどを行い、全学年の団員が交流し、親睦を深めています。また、他の少年団とも交流を図り、友好な関係を築いています。そのほか、父母会のOB会を行い、父母OBの親睦も図っています。

少年野球を通じ、団員相互の協力・友情・親睦を深め、心身を鍛錬し、立派な人間としての基礎を養っています。そして、子どもたちが中学生・高校生になっても野球を続け、いずれは少年団OBが地元の社会人野球に携わるような人材の育成を目指しています。



福田ベースボールクラブスポーツ少年団

加盟人数 29人

代表者 山崎 昭久

創立年 平成8年4月

【組織】

当団は、少年スポーツの継続性の確保と中学生の健全育成を目標に、平成8年に発足し、この22年間で約270人の卒団生を輩出しました。

現在は中学野球部顧問の匂坂先生、大塚先生を中心とし父母会組織で、団活動を支えています。父母会役員は、会長、副会長、会計、コーチからなり、それぞれ最終学年の父母が中心となって活動し、団代表として会長である山崎が就いています。

当団が主管する大会は、中学野球福田大会で、本年度の大会で22回目を迎え、多数のチームが参加して熱戦を繰り広げています。



第15回しずおか中学軟式野球クラブ大会 熱戦の様子

【現在の活動状況】

野球競技の魅力は、何といてもドラマ性にあると思います。

たった1球、あるいは1プレーで局面が変わり、ピンチになったりチャンスになったりします。また、誰でもヒーローになれるチャンスがあるのも野球という競技の特徴です。ルールが複雑で頭を使う競技でもあります。

当団の活動状況は、週4回部活動での約2時間練習と休日昼間の練習試合あるいは練習が中心です。

また、生徒達の夏休み時期を利用して愛知県へ遠征し一泊二日の合宿を行っています。合宿では、他県のチームと練習試合で交流を深めています。

また、毎年レクリエーション活動として先生・生徒・父母会員でのバーベキューを実施し野球とは別の活動も実施しています。

今年の中体連の大会が終わり3年生が抜け、2年生主体となる新チームで現在活動しています。9月現在での成績は、19勝6敗と0.760と健闘しています。チームの雰囲気も良く厳しい練習の中でも元気で楽しく毎日汗を流しています。

特に目立った選手はいませんが、堅い守りと積極的な走塁で活路を開くのが当団の野球です。

当面の目標は、中体連大会の県大会出場です。スポーツ競技において結果が必需となりますが、失敗を恐れず元気に楽しくプレーする事も同様に必需と考えています。

団発足から22年目を迎え、年々活動内容も充実し、成績も上昇しつつあります。今後は、団の理念である「少年スポーツの継続性の確保と中学生の健全育成」を希求する中で、野球の楽しさ面白さを子供達に伝えていきたいと思っています。

福田本町野球スポーツ少年団

加盟人数 17人

代表者 大竹 一夫

創立年 昭和49年10月

【組織】

役員の変遷

・代表者（団長）

初代 鈴木秀治（昭和50～53年）

2. 石川 勲（昭和54年）

3. 夏目 郁夫（昭和55年～平成元年）

草創期の団長から

現団長（8代）大竹一夫（平成18年～）

・父母会長

初代 加藤喜代次（昭和50年）

2. 寺田平次郎（昭和51年）

各年度6年生の代表が会長を務め

現会長（44代）西畑欣哉（平成30年）

・現団員の構成（平成30年8月現在）

監督 鈴木 豊

コーチ 中村久己 永田寿治

主将 西畑圭人（6年生）

副主将 星子颯希（6年生）

副主将 北原都蒼（5年生）

四年生 2名

三年生 2名

二年生 6名

一年生以下 4名 計17名

【少年野球の魅力とは】

主役はもちろん“子供達”です。

入団時、何も出来なかった子がいつの間にか野球の基本（投げる・捕る・打つ）を習得し、

高学年には“選手”として立派な姿に！

そして、練習・試合の中で良いプレーには

「ナイスプレー、ナイスバッティング」

みんなでお互いを褒めたたえ、失敗には

「ドンマイ！」と声を掛け合う、信頼できる大切

な仲間を作り、同時に礼儀正しく挨拶が出来る子になっています。時に厳しくも温かい指導のもと、勝利を分かち負けて何かを学ぶ…

“成長”を親子で楽しめる、それが少年野球です。

【活動状況】

練習 3回/週 ・各種大会に参加（通年）

年間行事 総会・結団式・卒団式・納会

合宿・奉仕作業

☆ 福田支部所属6チームにて

選抜少年野球福田大会

若潮大会（4年生以下）を共催

過去の戦績 全国大会出場 3回

東海大会出場 4回

県民スポーツ祭優勝 8回

各種県大会優勝 5回

☆平成7年度 社会体育優良団体として

文部大臣表彰を受ける。

☆平成26年度 静岡県体育協会より、静岡県

スポーツ少年団顕彰を受ける。



【今後について】

少子化に他競技への選択肢が増える中での団員の確保が非常に厳しい状況になっています。

地域の方々のご理解とご協力を頂き、子供達が楽しく野球が出来る環境作りに最善を尽くして参ります。そしていつの日かまた“全国大会出場”を目標に“福田本町野球スポーツ少年団”が末永く輝き続ける事を願います。

新田野球少年団

加盟人数 28名
代表者 佐藤 繁
創立年 昭和53年

チーム紹介

新田野球少年団は昭和53年、当時旧福田町新田地区で子供会ソフトボールの延長として少年野球チームを創立しました。

創立後40年経過しましたが、今では福田地区全域より28名(平成30年8月現在)小学1年生から6年生までの子ども達が週2回の練習、試合と明るく楽しく元気よく活動しています。

また、他チームとの友情を深めるために交流会などを行っています。各種大会にも多く参加し、優勝めざして日々練習に努力しています。

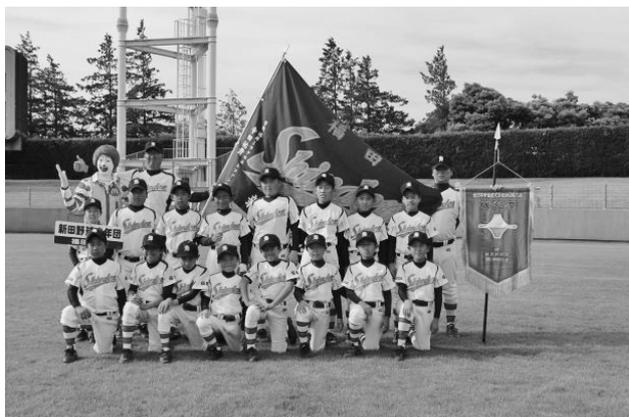
そして野球だけではなく、全団員参加の1泊の合宿、レクリエーション、食事会、卒団旅行なども実施しています。

活動は父母会を中心に行っており、親子共通の話題で家庭内での触れ合いも大切にしています。

活動場所は磐田市聖苑グラウンドで土、日、祝日午前8:30から練習を行っています。



初練習での全体写真



高円宮全日本学童軟式野球大会



福田大会入場行進

竜洋野球スポーツ少年団

加盟人数 16名

代表者 兼子 則夫

創立年 平成元年

代表者名 竜洋野球スポーツ少年団
代表 兼子 則夫

設立年 平成元年

加入連盟 静岡県野球連盟福田支部

ホームグラウンド 竜洋海洋公園野球場

問い合わせ先 兼子 則夫 0538-66-2777

指導者 監督 兼子 則夫
コーチ 茂野 雅敏
滑川 秋光
鈴木 宏幸

団員構成 6年生 8名
5年生 4名
4年生 2名
3年生 2名

合計 16名

◆◇団員募集中◇◆

お気軽に練習見学にお越し下さい！



第39回 選抜少年野球福田大会 にて

【活動状況など】

[練習日] 毎週土曜日と木曜日の2回
土曜日練習 (実践練習)
時 AM8:30~12:00
於 竜洋海洋公園野球場
木曜日練習 (基礎練習)
時 PM7:00~8:45
於 竜洋中学体育館

[主な行事] 夏のレクリエーション交流会
六年生を送る会
卒団旅行
各種公式大会参加
各種大会 祝勝会

【過去の主な戦績】

第31回静岡県学童野球選抜富士大会 ベスト8
第27回中遠広域少年野球大会 準優勝

【チームの特徴】

竜洋野球スポーツ少年団は
「礼儀正しく、明るく、楽しく、思いっきり」
の指導のもと取り組んでいます。

三振しても思いっきり振ってくればよし。
エラーしても思いきりのプレーであればよし。
大きな声で全力プレーを。！

大好きな野球をみんなで声を掛け合い、
全力でプレーしています。



富士見スポーツ少年団

加盟人数 17名
代表者 村田 将
創立年 昭和49年

【組織】

スポーツはチームワークとフェアプレーが大切です。

富士見スポーツ少年団は、野球を通じて体を鍛えるだけでなく、子どもたちにスポーツそのものの楽しさや奥深さを知ってもらえるように少年団活動に取り組んでいます。

「仲間を思いやる気持ち」

「周りの人たちに感謝する気持ち」

「諦めない心」

を学んで、大きく成長してくれればと思っています。

野球に限らずいろいろな競技では、脇役や控え選手、大勢の人が集まって、互いに支え合うからこそチームは強くなります。

富士見スポーツ少年団は、子どもたちにチームワークの大切さを教えながら、野球以外の生活面でも人間力を磨いてくれることを期待し、父母も含めた全員で野球を楽しんでいます。

監督 磯部 直宏

【現在の活動状況】

練習場所 東大久保グラウンド

練習日 土曜、日曜

練習試合や県大会予選、各地区の選抜大会にも参加しています。

現在の団員は17名と少ないですが、その分全員が仲間意識を持ち、声を掛け合って頑張っています。

昨年は投手力、攻撃力のバランスがとれたチームで、19年ぶりに磐田支部の代表となって、県大会へ2回出場を果たす好成績を収めることができました。

特別な選手がいたわけではありません。全員の力を結集させたチームワークの勝利でした。

また夏休みのレクリエーション、お花見、自治会の運動会、クリスマス会、卒団旅行などで、団員と父母会、指導者の親睦を図っています。

お父さん、お母さん、親子で一緒に野球を楽しみませんか？

野球に少しでも興味のある子どもたち、東大久保グラウンドに遊びに来てください。

女の子も大歓迎です。

多くの子どもたちの入団を、心待ちにしています。



劣勢の試合展開で反撃のホームラン打ち、喜び合う選手たち



H30年度初めの全団員 (現在はここから3名入団しました)

加盟人数 24人
代表者 山下 雅弘
創立年 昭和51年

見付北クラブスポーツ少年団

1976年（昭和51年）

見付スポーツ少年団として創立

1992年（平成4年）

北星パワーズと合併し現在の名称となる

総監督 小林 茂樹

【活動状況】

- ・活動場所 専用グラウンド（鶴ヶ池北側）
磐田北小学校
- ・活動日時 土曜日・日曜日
※祝祭日も行う場合あり
8時30分～17時
※季節や日程により変更あり
- ・ナイター練習 火曜日・木曜日
19時～21時

【今後の目標】

県大会出場を目指して練習に励んでいます。

野球を通して勝つ喜び、負ける悔しさを味わうことで礼儀、最後まで諦めない気持ち、仲間を思いやる心など数多くのことを学ぶことができます。

同じ目標に向かって努力を続け楽しく野球が出来る仲間を増やしていけたらと思っています。



キャンプにて



試合中での作戦会議

磐田スモールキング野球少年団

加盟人数 17名
代表者 竹下 良道
創立年 昭和54年

【組織】

会長：青島安宏
団長：竹下良道
監督：竹内秀彦
コーチ：寺田克浩
コーチ：江塚悟
コーチ：山中康史

【平成30年度成績】

- ・磐田市春季大会 優勝
- ・しずぎんカップ磐田支部予選 優勝
- ・しずぎんカップ県大会 3位
- ・全日本学童磐田支部予選 準優勝
- ・はましん杯 ベスト8
- ・しずちゅう旗磐田支部予選 準優勝

【活動状況】

練習日時：土曜日（8:00～12:00）
日曜日（8:00～15:00頃まで）
大日精化グラウンドにて
ナイター練習：水、木曜日（19:00～21:00）
十輪寺グラウンドにて
試合：大会や練習試合の内容によってスケジュール
が変わります。

イベント：夏のレクリエーション
（キャンプ、BBQなど）
じゃがいも掘り（6月頃）
冬のレクリエーション
（ボウリング、スケートなど）

【チームの特徴】

- ・自分たちで考え判断・プレーが出来る選手育成を目指しています。
- ・礼儀正しい子、元気な挨拶が出来る子、根気強い子の育成を目指しています。
- ・好球必打、フルスイング、積極的に攻める野球をし、野球への情熱はどのチームにも負けません。
- ・団員数は少ないですが、チームワークで勝利を目指します。

中泉クラブスポーツ少年団

加盟人数 38人

代表者 松井 隆雄

創立年 昭和54年

【組織】

今年、創立40周年を迎え、300名以上のOBを輩出した軟式野球のスポーツ少年団です。

「ガッツだ！ファイトだ！中泉」を合言葉に、現在も38名の団員、指導者、父母が一丸となって活動しています。

中学、高校へとつながる野球の土台づくり、夢づくりのための技術向上のための練習、試合のみならず、挨拶、思いやり、感謝の心など人間力の向上にも取り組んでいます。

【指導者】

監督 松井隆雄 コーチ 岩田雅史
コーチ 山下益且 コーチ 京橋忠資

【団員】

6年生：7人 5年生：16人 4年生：9人
3年生：5人 2年生：1人 (H30年8月)

【活動状況】

土曜日 午前中 (8:30～12:30)

日曜日 1日 (8:30～15:30)

※平日夜も週1～2回のナイター練習

3月～11月は各種公式戦に参戦

【戦績】

県大会 準優勝 7回・3位 2回

各種選抜大会 優勝17回・準優勝13回

【年間行事】

1月 元旦マラソン・卒団旅行

2月 豆まき・卒団式

3月～(11月) 各種大会に出場

8月 夏合宿

12月 OB戦・体験会

※シーズン中も親子ティーボール大会や座禅会などを開催

※月1回の「かぶと塚清掃」、年数回「小さな親切運動(今之浦公園周辺の清掃)」に参加するなど団員たちの助け合いの心や地域貢献の気持ちを養う活動も実施



磐田南クラブスポーツ少年団

加盟人数 16人
代表者 湯山 賢二
創立年 昭和56年

【組織】

チーム紹介

昭和56年、南スポーツとして発足し、南クラブに名称を変更。

現在、団員は16名で6年2人、5年4人、4年5人、3年3人、2年2人で構成されている。

団員は磐田南小学校を中心に、長野小学校、竜洋西小学校、磐田中部小学校、今井小学校から入団している。

役員紹介

代表・・・湯山賢二
理事・・・平野高光
父母会長・・・重松保紀

指導者紹介

監督・・・福代淳則
コーチ・・・猪股恒夫
鈴木正輝
田畑元春
中山達也
柴田裕則

【現在の活動状況】

「野球を通じて人間性を豊かに育て、子供も大人も成長する」がチームの理念である。

理想の姿は、

- 1 子供達が声をかけあって、励ましあって、楽しくのびのび野球をしている。
- 2 勝つことの喜び、負けることの悔しさを知り、一生懸命と礼儀を大切にしている。
- 3 試合に勝つことも目的の一つとしているが、人としての成長を最終目標としている。

練習は、毎週土・日曜日の9:00から16:00まで、主に衛生プラントで行っている。また、練習ばかりでなく、お花見、バーベキュー、クリスマスイベントなどのレクリエーションも多数取り入れ、リフレッシュを図ることにより、より一層のチームワークの強化にも努めている。

昔から現在に至るまで、父母・団員ともに仲良しでチームワークは抜群である。

今後、県大会出場を目標に、打撃・守備・投手力・走力のさらなるレベルアップを図るべく、日々練習に精を出している。



ライオンズジュニア 準優勝



袋井大会にて

磐田東野球スポーツ少年団

加盟人数 34人
代表者 小池 桂三
創立年 昭和62年

<チーム紹介>

野球の上達以上に、礼儀、挨拶が出来る子供の育成を指導の中心においています。チームは小粒で飛び抜けた選手はいませんが、不足している所をみんなですぐに補いながら、繋げる野球を目指しています。

卒団生は頻りに後輩の練習の手助けをしてくれます。また、高校など進路の節目には顔を見せてくれるなど、少年野球から離れても心が通じているチームです。

<監督>

総監督 川島 嘉亨
監督 井下田 覚

<平成30年の成績>



第16回JA共済静岡県軟式野球大会支部予選
優勝

8年ぶりの県大会出場でチーム全員が喜びを味わい、チーム一丸となりました。



第25回マクドナルド静岡ジュニア大会支部予選
優勝

5年生以下の試合も優勝する事ができ、ブロック大会に出場しました。

第13回スーパージュニア学童軟式野球大会
準優勝

第12回しずおかTボール西部地区大会支部予選
準優勝

東野球はチームが一丸となり試合ではベストを尽くし、明るく元気にプレーします。

<練習日時>

土曜日：8時30分～12時30分

日曜日：8時30分～15時30分

場 所；東部小学校

ナイター練習

木曜日：19時～21時

場 所；神明中学校（雨天変更）

<その他のイベント>

- ※ 元旦マラソン
- ※ 卒団旅行
- ※ 卒団式
- ※ 夏のレクリエーション 他

磐田向陽ベースボールクラブ

加盟人数 25人

代表者 藤田 健幸

創立年 平成29年4月21日

【組織】

- ・対象は主に向陽中学校区内の小学生
- ・「磐田向陽スポーツ少年団」が元々あったのですが休団となっていました。「地元で少年野球チームを」との強い思いに賛同したメンバーと共に、2013年から4年の歳月をかけて、チーム名を新たに再興し、2018年度から正式加盟しました。

・役員の紹介

代表兼監督：藤田健幸

初代父母会長：西尾喜暁

・指導者

ヘッドコーチ：匂坂功司

コ－チ：青嶋隆敦

コ－チ：高塚紀彦

コ－チ：金子成都

コ－チ：寺田優太

【現在の活動状況】

- ・野球を通じた心と体の成長、礼儀正しく思いやりの心を持った子どもの育成を目的として活動しています。

・活動状況

毎週土・日曜日の日中を主に活動中です。

・主な活動場所

向陽調整池スポーツ広場(向笠サンボス)

・今後の目標や展望

スタートしたばかりで力と経験不足は否めませんが、少しずつでも前進して常に上位を争えるようなチームにしていきたいです。

そして、野球に限らず高校、大学、社会人などで活躍できるようなOBを数多く輩出し、少年野球時代の経験が礎となっていると思ってもらえるようなチームにもしていきたいと思っています。

・その他

見学、体験はいつでも歓迎です。

我々と一緒に心に残る小学生時代の1ページを刻みませんか。



大会参加記念撮影時の1枚

日本空手協会豊田支部

加盟人数 38人

代表者 佐藤 賢

創立年 昭和62年3月

【組織】

組織の概要

昭和62年3月に高田清貴氏により創立。

創立後22年が経過。

豊田南中学校体育館2F格技場にて水曜日と土曜日の週2回稽古を行っている。

私共豊田支部（徳志館）は創立22年が経過します。22年という時間の経過の中、一時は週4回稽古を行ってきた時期もありましたが、現在は指導員の本業との時間の制約もあり週2回の稽古を行っています。

指導員たちも自己の仕事等で忙しい中、自己の技術の上達・若手の育成指導と日々精進を続けています。私たちは若手の指導をしていく中で礼儀を重んじるという点を特に大切にしています。礼儀というのはすべてのことに通じるものであり、技術が良いだけでは人としての成長が未熟だと考えるからです。

私は、人の背中を見て学び、人として成長していくと考えます。

私たちの道場は町道場であり、規模的には大きいとはいえない道場です。

しかし、反面幅広い年齢層の人が稽古に励んでいます。

年長者の人から人としての礼儀や経験を学び、若手から生命エネルギーをもらう。

最近の核家族社会の中ではなかなか学ぶことが出来ないことが経験できるのが私たち町道場の利点ではないかと考えます。



竜洋空手スポーツ少年団

加盟人数 23名
代表者 平田 直巳
創立年 平成11年

【組織の概要】

公益社団法人 日本空手協会に所属し、5つの道場訓をもとに日々稽古に励んでいます。

- 一、 人格完成に努むること
- 一、 誠の道を守ること
- 一、 努力の精神を養うこと
- 一、 礼儀を重んずること
- 一、 血気の勇を戒むること

そして、平成11年より竜洋空手スポーツ少年団として、地域に密着した活動を行っています。

【組織】

・役員・指導者

平田 直巳
山内 敏史
渡辺 誠
伊藤 優孝

・構成年齢別

小学6年生	8名
小学5年生	3名
小学3年生	2名
小学2年生	3名
年長	1名
中学3年生	2名



【現在の活動状況】

・活動場所

竜洋中学校 武道場(駐輪場2F)

・活動日時

毎週火曜、金曜日 19:00~20:30

・競技の魅力

稽古は基本と形、組手の稽古を行っています。

「基本」は立ち方や構え方、受け方、突き方、蹴り方を級、段の階級に応じて単独の動きから連続技になっていきます。また、「形」は平安の形から選定形、自由形と数多くの形があり、大変奥深い稽古をすることができます。そして、「組手」では基本組手で相手との間合いや受け、攻撃の仕方を学んで、自由組手に入っていきます。

進級については、白帯(10級)から始めて、緑、紫、茶帯と進級していきながら黒帯を目指します。黒帯(初段)を取るまで、最後まで諦めずに稽古を重ねていく過程は子どもたちにとって大変貴重な(成功)体験に繋がっていると考えています。

大会は日本空手協会の開催する西部大会、県大会に参加し、東海大会、全国大会を目指して日々稽古を重ねています。多くの選手を全国大会にも輩出しています。

・年間行事

稽古、大会以外

1月：お正月の「新年の儀」

2月：豆まき

8月：バーベキュー

4月、8月、12月：昇級審査会

・会員募集

現在会員を募集しています。男女問わず、年少(5歳)さんから受け入れていますので、自由に見学に来ていただきたいと思います。

ぜひ一緒に稽古しましょう。

磐田空手道スポーツ少年団

加盟人数 30人
代表者 密岡 恭之
創立年 昭和34年

【組織】

昭和34年9月創立、同年11月磐田市体育協会加盟。
昭和51年スポーツ少年団加盟、現在に至る。
文部科学省認可 公益社団法人日本空手協会所属。

空手道を通じて礼節を知り、努力をあきらめない精神（こころ）を養い、明るく行動できる力を伸ばして次代を荷う人の育成に努めたいと励んでおります。

【役員】

支部長 密岡 恭之（県本部顧問）
顧問 鈴木 雅博
副支部長 木村 浩一
事務局長 永見 基全

【指導部】

指導部長 今井 政明
指導副部長 高橋 征史

指導員

寺田次伺、石野和幸、名倉則宏

スポーツ少年団認定指導者

密岡恭之、今井政明、永見基全
木村浩一、高橋征史

【現在の活動状況】

所在地：磐田市富丘786-1
磐田バイパス豊田東IC北側

稽古日： 毎週 火、木、日曜日
時間： 火曜日 19：30～20：30
木曜日 19：30～20：30
日曜日 10：30～12：00

入会、見学は随時。



役員及び一般会員



指導員、および会員



練習風景

修空会スポーツ少年団 (全日本空手道連盟和道会)

加盟人数 77名
代表者 大庭 信博
創立年 平成3年4月

【組織】

師 範 大庭信博
師 範 代 山田忠明
顧 問 寺田 浩
支 部 長 菊川秀樹
副支部長 寺田和重 岡本宏喜
審判技術本部長 加藤公人
審判技術副本部長 横山昭吾
事 務 局 寺田正子
指 導 員 和田浩彰 大石浩介 川井基弘
菊川純子

【主要大会】

静岡県少年少女空手道選手権大会
和道会静岡県空手道競技大会
和道会東海少年少女空手道競技大会
和道会全国空手道競技大会
しずおかSF西部地区空手道競技大会
杉浦錬成空手道競技大会

【年間行事】

合同稽古、寒稽古（元旦）、交流会

【活動状況】

私たちは空手道四大流派の一つである和道会に属しています。練習は週4回、練習内容は、攻撃や防御を取り入れた動きを稽古する形と、防具をつけて相手と技をかけあう組手を行っております。

日々の練習の成果を試すのに、昇級審査や昇段審査、そして各大会に積極的に参加しています。

修空会では、肉体的な強さ（健康）だけでなく、精神面の向上、特に挨拶などの礼の心を日々学ぶように心がけて練習を行っております。



【平成30年度優秀選手】

福井しあわせ元気国体2018 静岡県代表選手
小田 峻也



磐田天理空手道場スポーツ少年団

加盟人数 40人

代表者 鈴木 勇喜

創立年 平成19年

【組織】

組織の概要

空手道を通じ会員の道場生と共に日本発祥の伝統文化を未来に、そして将来を担う青少年に健全な形で伝えていきたいと考えています。

加盟団体

全日本空手道連盟
日本空手道連合会
静岡県空手道連盟
磐田市スポーツ少年団

指導員の紹介

代表 鈴木勇喜

全日本空手道連盟公認五段
全日本空手道連盟公認全国組手審判員
全日本空手道連盟公認都道府県形審判員
日本体育協会公認空手道コーチ
日本体育協会スポーツ少年団認定員

指導員 鈴木 直

全日本空手道連盟公認三段
全日本空手道連盟公認都道府県組手審判員
日本体育協会公認空手道上級指導員
日本体育協会スポーツ少年団認定員



【現在の活動状況】

私たちが活動している空手道は突きや蹴りを相手に当てないノンコンタクトです。形は4大流派の中で糸東流の形を軸に稽古を行っています。

4歳から50歳まで初心者から経験者まで共に汗を流し空手道を通して交流を深めています。

親子で空手をしている会員も多くいます。
無料体験を常時行っています。

稽古は週4回磐田市内で行っています。
いつでも見学、体験を受け付けています。

幼児や低学年に優しい午後クラスがあります。
夜の送迎などが困難な方はおすすめです。

稽古会場

毎週火曜日 場所：磐田第一中学校武道場
時間：19：30～21：00
毎週水曜日 場所：磐田市総合体育館武道場
時間：幼児15：30～16：30
時間：児童16：30～17：30
毎週金曜日 場所：磐田南部中学校武道場
時間：19：30～21：00
毎週土曜日 場所：磐田第一中学校武道場
時間：19：00～21：00

優秀選手

第55回賢友流全国空手道選手権大会
小学5年生男子組手 優勝 佐田峻太郎
小学6年生男子形 優勝 谷川 太一

連絡先

〒438-0078磐田市中泉621-2
携帯090-3309-8317

HP www4.tokai.or.jp/iwaten/index.html

公益社団法人 日本空手協会大空塾

加盟人数

代表者名 田中 尚道

創立年 平成18年10月1日

体協創立70年おめでとうございます。早いもので60周年記念誌発行から10年、この間色々な出来事がありました。深く御礼申し上げます。今後ともよろしくお願いいたします。

(公社)日本空手協会大空塾

代表者名：田中尚道

詳細：<http://www.minamistyle.net/> をご覧ください。

新会員随時募集中です！



地味で退屈な稽古を乗り越えて、皆さん立派な黒帯になりました。



全国大会で優勝しました(日本武道館)



第61回全国空手道選手権大会(東京体育館)
団体組手第3位になりました



全国大会に出場しました(宮城県グランディ21)



県大会で優勝しました(静岡県武道館)

磐田松涛館スポーツ少年団

加盟人数 48名
代表者名 池田 勝郊
創立年 昭和57年

当団体は、全日本空手道連盟磐田松涛館に所属し、一般会員、少年会員が活動しております。

また、磐田気功愛好会も同会に所属しており三ツ谷金秋会長のもとに活動しています。

【概要】

- 1982年 旧福田町にて空手団体【弘武館】設立
- 1983年 磐田市にてサッカーと空手の複合団体
テンマスポーツクラブ少年団を設立
- 1983年 団体名を【磐田松涛館】に変更
- 1984年 東部支部設立
- 2005年 市町村合併後、福田支部、富士見支部
東部支部、中央支部の4支部となる
- 2008年 サッカー部をテンマスポーツ少年団
空手部を磐田松涛館スポーツ少年団に分離
現在に至る

【年間行事】

- ① 月・火・水・木 の稽古日（毎週）
- ② 春：県内対象の松涛館大会の主催
- ③ 夏：市内対象の松涛館大会の主催
- ④ 秋：東海地区対象の東海大会の主催



基本組手の練習



姉妹による団体形

【指導者紹介】	名前	段位
	池田 真人	5段
	池田 大祐	5段
	太田 靖国	3段
	加藤 敏晃	3段
	柴田 貴恵	3段
	田村 萌弥	2段
	今村 昂来	2段

下記の“稽古の教え”を稽古前に唱和します。

これが武道精神の原点です。

【稽古の教え】

- ・ 1つの突き、1つの蹴りに心を込めて [集中力]
- ・ 皆んな武道の仲間、仲良く [人間関係]
- ・ 他人に勝つより、自分の弱さ
努力の足らなさを思い [反省]
- ・ 思いやりを持って、相手を大切に [尊重]
- ・ 胸を張って、自分にチャレンジします [積極性]

★優秀選手紹介★

- ・ 池田 真人
静岡県空手道連盟選手権大会 組手 3位 (2006年)
- ・ 萩田 帆風
静岡県少年少女空手道選手権大会 形4位(2008年)
- ・ 柴田 雅 東海大会優勝(2017年)
- ・ 柴田 貴恵 西部フェスティバル3位(2017年)
- ・ 俣平 葵 東海大会準優勝(2017年)
- ・ 川島 裕矢 東海大会優勝(2017年)
- ・ 川島 昊也 西部フェスティバル3位(2017年)
- ・ 伊藤 叶紗 袋井大会3位(2017年)

本来は、護身術ですが

組手の練習においては防具を付け安全性を高め、怪我のない方法を採用しています。

難しい技に挑戦し、それが出来た時の喜びは格別です。

思いを自分自身の中で高め喜び、また他人には親切に、多くの友達作りを奨励したい。

ブラジル、中国の少年たちも素晴らしい仲間となって稽古に励んでいます。

見付バレーボールクラブスポーツ少年団

加盟人数 28人
代表者 首藤 正之
創立年 平成6年

【組織】

○クラブ概要

大人(20歳)の運動神経を100とすると、個人差はありますが、12歳までに95%出来あがると言われています。

見付バレーボールクラブではバレーボールを通して、小学生で必要な運動神経づくりを行い、スポーツの楽しさを学び、何より人としての成長を考えた指導を心がけています。

バレーボール以外にも、いろいろなリレーションを行っていますので、お気軽に見学、体験にいらしてください。

○クラブ員構成(2018年8月時点)

- 6年生：9名
- 5年生：6名
- 4年生：4名
- 3年生：5名
- 2年生：4名

○クラブ指導者

- 首藤 正之(クラブ代表)
- 東野 義治(クラブ事務局)
- 今村 純
- 斎藤 晃
- 田中 章太郎



クラブ員集合写真

【現在の活動状況】

○競技の魅力

バレーボールはネットを挟んで対戦する球技で、対戦相手と接触しません。しかし、点を取れば仲間とハイタッチ、点を取られれば「はい、次！」などと言いながらタッチをします。点を取っても取られても、1点1点、仲間とふれあい、協力し絆を深めていきます。このような競技は他にはありません。バレーボールが生涯スポーツと言われる理由はここにあると思います。バレーボールの楽しさを多くの人に知ってもらいたいです。

○活動状況

クラブ員は小学1年生から6年生の男女を受け入れています。5、6年生は市内外の大会に、4年生以下はソフトバレーボールの大会にも出場しています。練習は、以下のように週2回行っています。

- ・練習日：毎週水曜日 19:00～21:00
- ：毎週土曜日 9:00～12:00

- ・練習場所：磐田北小体育館 他

バレーボールには、「筋力、瞬発力、持久力、敏捷性、柔軟性」など多くの体力を必要とします。見付バレーボールクラブでは、小学生時代に身につけておきたい「体を巧みに動かす力(巧緻性)、姿勢を上手に整える力(平衡性)、体を素早く動かす力(敏捷性)」について特に重点を置いています。

○指導について

小学生は、心も身体も発育段階で大人の半分しかできていないので無理はさせません。

私たちの指導方針は、「子ども達にバレーボールを通して人間形成をしてもらう」こと。見付バレーボールクラブが人間性や見識(判断力)を高める場であることを心がけています。

また、技術面は、無理のない体の使い方、故障が少なくかつパフォーマンスを生み出す、最新のバレーボール技術を取り入れています。小学生時代に作った運動神経と、中学や高校で発達する筋力との相乗効果で、バレーボールに限らず様々なスポーツで才能を発揮することを願っています。

磐田東部バレーボールクラブスポーツ少年団

加盟人数 29名
代表者 永田 実
創立年 平成元年

代表者 団長 永田 実
創立年 平成元年
団員数 29名(29期生～33期生)
女子28名 男子1名
指導者 永田 実 ほか11名
今年4月より卒団生(12期生男子)が指導者として加わり後輩の指導に頑張っています。まだまだ未熟ですがより良き指導者になる為に勉強中です。
指導理念 ボールを繋いで心を繋ぐ！
バレーボールの向上は、もちろん、あいさつのできる子を育てる！
年間行事 団員・・・入団式 卒団式
お楽しみ会
クリスマス会
初打ち(初詣)
節分 まめまき
父母会・・・年度初めの顔合わせ会
指導者 (父母会総会)
忘年会
今後の行事 来年度 磐田東部バレーボールは創立
予定 30周年を迎えます。
10周年、20周年のときにも記念式典を行いましたが、30周年も盛大に催したいと考えているところです。
内容をちょっとだけ紹介しますと
昼の部 歴代1期生から現役団員、
コーチまで織り交ざりバレーボール大会をします。
夜の部 市内会場にて記念式典
こんな内容でこれから企画していこうと考えているところです。(^^)
*これを見た卒団生は是非、参加してね

【現在の活動状況】

練習日 毎週 金・土・日 他
練習会場 神明中学校
東部小学校
田原小学校
地域交流センター 他
チーム構成 5・6年生チーム
5年以下チームの2チームがあります。
現役団員の功績 H22年から毎年、県大会に出場しています。
H29年(28期生)念願の東海大会出場
卒団生の功績 23期生・25期生 島田商業
インターハイ出場
27期生 西遠中学
全国大会出場



29期・30期・31期 試合後に！



心を繋いで！さあ！プレーボール！

竜洋バレーボールスポーツ少年団

加盟人数 14名
代表者 大庭 正明
創立年 平成17年

【組織】

竜洋地区を拠点に地元の小学生が集まりバレーボールを楽しんでいます。

竜洋VSCの“V”はバレーボール、“S”はスポーツ、“C”が少年団の意味です。

現在は竜洋地区と近隣の小学生が集まって練習に励み、各大会に参加しています。

近年では、ソフトバレー（軽量100㍓）にも積極的に参加し、低学年にも楽しくバレーを教えています。

本部長兼監督

大庭正明

コーチ・スタッフ

村上小太郎・伊藤優子・中山易子

父母会会長

中尾尚美

団員（平成30年4月現在）

6年生2名・5年生4名・4年生1名

3年生2名・2年生2名

【現在の活動状況】

★競技の魅力

バレーボールを通して、仲間との連携や思いやり、さらにはその家庭の中で協調性や創造性などを育み、豊かな心で楽しめるスポーツです。

★活動状況

基本練習日

水・金曜 19:00~21:00

第2・4土曜日 9:00~12:00

練習場所

竜洋西小体育館

主な出場大会

全日本バレーボール小学生県大会

会長杯県大会

西部選抜優勝大会・6年お別れ大会

ソフトバレーボール大会（県・市）

西部選手権大会

ジュピロ杯・磐田市長杯・磐田市民大会

その他

練習試合にも積極的に参加しています。

お楽しみ会・クリスマス会

★今後の目標

県大会（年3回）に出場

県ソフトバレーボール大会（年1回）の

チャレンジ部門で西部地区ベスト4以上

気持ちで負けない強い精神力・仲間との絆を大事にし、チームがひとつになって大会に臨むこと目標にしています。

●興味のある子はいつでも遊びに来てね。

元気なお友達を待っています。



福田バレーボールスポーツ少年団

加盟人数 10名

代表者 小野田 孝好

創立年 平成6年4月

【チーム紹介】

福田バレーボールスポーツ少年団は、来年度が創立25周年となります。

福田本町スポーツ少年団さんが野球と並行して女子のためのバレーボールチームをとの事で始めたのがルーツです。

それ以来、人数の増減や男子の加入など変化を乗り越えて現在に至っております。

時代の流れの中で、指導方法や運営で試行錯誤を繰り返しています。

それでも常に基本にあるのは、子どもたちの笑顔と歓声があふれるチーム作りです。

子どもたちには、それぞれ無限の可能性を秘めています。

地元福田地区での活動を通じて、バレーボールを選んでくれたことに感謝して、指導者一同、子どもたちに真正面から向き合って成長のお手伝いをさせていただけたらと思っています。

【現在の活動状況】

- ・ 毎週月、水、金曜日19時～21時 主に福田小体育館で練習をしています。
- ・ 現在団員5年生5人、4年生2人、3年生3人で活動中です。（団員募集中！）
- ・ 行事としては、初詣、三ツ谷杯選抜福田大会、卒団式、豆まきのほか、BBQなどのお疲れ様会などを行なっています。
- ・ 県小連、西部小連開催の大きな大会や各地区に招待いただく大会に出場しています。
- ・ 現在の目標は、1つでも多く賞を取ること、そして県大会に出場できるように日々練習を積み重ねていきたいと思っています。！

【チームメイト】



いっしょにバレーボールやろう！

加盟人数 12名
代表者 新貝 州一
創立年 平成10年

豊岡JVCスポーツ少年団

豊岡JVCは、2018年で創立20年目になる
バレーボールのスポーツ少年団です。

創立者は、新井 長蔵 氏（現 顧問）

創立当時は、週一回水曜日に練習をするバレー
ボール教室でした。

【団の活動理念】

「バレーボールを通じた人間力の向上」

前回の記念誌から、10年間は団員減少等で常に
チームの存続危機あり。試合に参加出来ない大変な時
期もありました。

その中でも選手、保護者、卒団生が一丸となり頑
張り抜いた事により、平成29年度は念願であった県
大会出場する事が出来ました。本当に団が継続してい
る事に心から感謝をしました。

今後も豊岡JVCが続いていけるようスポーツ少年
団の理念を忘れずに頑張っています。

現在は、1年生から4年生の団員12名でバレー
ボールを楽しみ練習をしています。これからも、今ま
で以上に地域に根ざした皆様に愛されるチーム作りを
目指して行きたいと団員一同頑張っています。



磐田向陽スポーツ少年団

加盟人数 10名

代表者 伊藤 滋朗

創立年 昭和62年12月

【組織】

・指導者

団長 伊藤滋朗

コーチ 秋元富敏、須山勝巳

・組織の紹介

磐田市中北部に位置する向笠小・大藤小・岩田小（向陽中学校区）の児童で構成するバレーボールチームです。小学1年生から、最近は女子だけではなく男子も共に活動しています。

「めざせ！夢舞台」



平成30年6月3日磐田市長杯5年の部にて

【現在の活動状況】

・バレーボールの魅力

嬉しい時も苦しい時も仲間と一緒に、努力が実り達成した時の喜びは最高です。

・活動日

水曜日、木曜日 19時半～21時

土曜日 午前中

・年間行事

市内大会、西部地区大会、県大会、招待大会など、年間15回程度の大会に参加しております。

・主な成績（県大会・東海大会）

過去において、県大会へ十数回出場しております。

「県大会」平成24年

静岡県小学生選抜優勝大会 第3位

全日本小学生静岡県大会 ベスト8

静岡県小学生大会 第3位

「東海大会」平成24年

東海小学生新人大会 第9位

・力を入れている活動

「バレーボールを楽しむこと」

低学年を対象にしたソフトバレーボールの部が人気です。週一回、水曜日の夜1時間半の練習ですが、多くの子どもたちが親子で練習に参加しており、ゲームを楽しんでいます。

「生きる力を育むこと」

自然豊かな春野にて行う合宿では、子ども達はまき割りから火起こし、かまどでの炊飯や調理体験などを通し、仲間と協力することの大切さや自立する力（生きる力）を育てています。また、指導者・保護者においても、お互いの親睦をより一層深めています。

加盟人数 男子11名 女子21名

代表者 市川 良一

創立年 平成5年

磐田豊田バレーボールスポーツ少年団

【組織】

・組織の概要 ～ 設立当時

大橋友義・市川良一両氏は、地域のバレーボールに参加し、こんな楽しいスポーツを子供たちに教えたいと10年ほど話し合っていました。平成3年に現在のスタッフに声かけをして、平成4年バレーボール教室を立ち上げました。この時85名が参加してくれました。この年、スポーツ少年団に格上げする為、各種講習会に参加して資格を得て、平成5年豊田バレーボールスポーツ少年団を立ち上げることができました。

・組織の紹介

監督コーチで組織する指導部と保護者で組織する父母会（母集団）で構成。

・役員 指導者

団長・女子監督	市川 良一
男子監督	市村 智
女子監督	高塚 光秀
父母会会長	門奈 利明



2018 夏 BBQ

【現在の活動状況】

・競技の魅力

団体競技で、多くの仲間との意思疎通・助け合い・励まし合いがなくては、試合もできないし、勝つこともできない。それと共に、集団行動の規律・生活態度の基本を学ぶ場所となっている。

・活動状況

男子・女子チーム共に

練習日は水・金 19時～21時

日曜日は半日練習

練習試合・大会参加の場合は1日

バレー以外では夏はBBQ、冬はクリスマス会や豆まきなどお楽しみ企画もあります。

指導者・保護者は各種講習会にも参加しています。

・卒団生

多くの卒団生が中学・高校で活躍し、インターハイに出場した子供もいます。男子は全国大会に出場した時のメンバーの一人が現在筑波大で正セッターとして活躍し、昨年全日本のメンバーに登録されました。2020東京オリンピックが楽しみです。

・今後の目標

まずは試合に勝って県大会出場が目標です。一人でも多くの児童にスポーツの楽しさを伝えていきたいと思います。

・今後の展望

現在は児童数も減り団員確保が難しくなっていますが、卒団生の子供が入団してきており、この流れが続くと良いと思います。

福田ミニバススポーツ少年団女子

加盟人数 14人
代表者 伊藤 雅人
創立年 平成3年

【組織】

・組織の概要

少年団員は、磐田市（旧福田町）に住む小学1年生から小学6年生の女子

少年団の目的を達成するために指導者を置き、指導運営にあたっています。

・指導者の名前

監督 伊藤 雅人

コーチ 加藤 和美、高野 智行

審判 伊藤 雅人

・部員

No.4 寺田 早織 6年

No.5 森 美羽音 6年

No.6 大橋 凜 6年

No.7 西郷 聖莉奈 6年

No.8 大石 来 6年

No.9 伊藤 優月 5年

No.10 佐藤 彩莉 5年

No.11 廣野 美羽 5年

No.12 寺田 小桜 5年

No.13 田中 壱架 5年

No.14 高野 晴子 4年

No.15 内野 春菜 6年

No.16 秋山 華凜 6年

No.17 梅村 悠乃 5年

【現在の活動状況】

・競技の魅力

持久力や体力が付き、練習やゲームを通してチームワークが育まれます。

・活動状況

練習…週3～4日

場所…福田小学校体育館、豊浜小学校体育館

・年間活動状況

5月 エコパカップ、会長杯

6月 交歓大会

7月 芳川北招待試合、チャイルドカップ、黒潮サマーカップ

8月 水窪SC招待大会、引佐サマーキャンプ

9月 磐田選手権、ドラゴンカップ

1月 おしるこカップ

2月 新人戦

3月 卒団式

・今後の目標や展望

常に全力、最後まであきらめずに、1つでも多く勝利します!!



2018年7月28日 黒潮サマーカップ



2018年6月10日 春季交歓大会

福田スポーツサウンドクラブ (男子ミニバスケット) スポーツ少年団

加盟人数 32名
代表者 落合 正裕
創立年 平成12年4月1日

【組織】

指導者・監督 2名

コーチ 5名

少年団員は磐田市福田・豊浜地区に在住

の小学1年生から小学6年生の男子

【理念】

チームスローガン『躍進』

日頃の練習の成果を生かし、試合では願っている以上の結果を出せるように、との思いが先輩たちから引き継がれている

【競技の魅力】

身体全体を使い、持久力・瞬発力を伸ばし、チームプレーを学べるスポーツ

【練習日】

火曜・木曜日 19:00~21:00

土曜・日曜日 9:00~12:00

練習場所 福田小学校・豊浜小学校等

【年間行事】

5月	磐田会長杯
6・7月	協会長杯 西部大会・県大会
9月	磐田選手権
10・11月	パナホーム西部大会・県大会
11月	磐田4年生以下大会
12月	磐田新人戦
2月	磐田理事長杯

☆お楽しみイベント☆

7月 バーベキュー&プール

12月 クリスマス会

2月 豆まき

【活動実績】

- ・平成25年 シャンソンカップ ミニバスケットボール大会 県大会出場
- ・平成25~30年 磐田新人戦 優勝
- ・平成28年 磐田4年生以下大会 準優勝
- ・平成30年 磐田理事長杯 優勝
- ・平成30年 磐田会長杯 優勝
- ・平成30年 県会長杯ミニバスケットボール春季大会 県大会出場

【今後の目標】

『磐田選手権の優勝、そしてパナホームカップミニバスケットボール大会 県大会出場』
そのために、個々の技術面・精神面を磨き、チーム一丸となり、日々の練習に精一杯取り組んでいます。



平成30年5月 エコパカップ Aブロック 優勝
(エコパアリーナにて)

豊田北部少年剣道クラブスポーツ少年団

加盟人数 40名

代表者 西森 和男

創立年 昭和51年

【組織】

磐田市剣道連盟加盟団体

組織の概要

小・中学生の父母、小・中学生、剣道指導者の3者で構成され、クラブの運営、資金調達等は父母会の会則に則って父母中心に行われている。指導者13名、小学生19名、中学生6名、未就学児2名も加わり、時には高校生や大学生、一般者も参加して稽古している。

稽古日 : 水、土曜日

時間 : 19:00~20:30

(初心者・小・中学生中心)

20:30~21:30

(小学校高学年~一般中心)

会費 : ¥2,000/月

組織の変遷

初代代表者 : 齋藤亮一

2代代表者 : 渡辺達夫

3代代表者 : 青山為太郎

4代代表者 : 前田秀明

5代代表者 : 西森和男

【活動状況】

剣道とは

もともと剣道は剣術であり、そのもっと昔は勢力争いを背景にした棍棒による叩き合いでありました。

江戸時代の平和な時代が訪れるに従い、剣術は人を殺す技術から武士としての人間形成を目指す「活人剣(かつにんけん)」へと昇華し、技術論のみでなく生き方に関する心法まで拡がりました。武士たちは剣道の稽古、修行を通じ日常生活は厳格質素で、才能を磨き、善悪を知り、一旦緩急があれば藩のため、国のために命を捧げる覚悟を持っていました。ここで生まれた武士道精神は日本人の心として現代も生きています。

剣道は防具を着用し竹刀を用いて一対一で打突しあう運動競技と見られますが、稽古を続けることによって心身を鍛錬し人間形成を目指す「武道」です。

活動状況

稽古 : 2~5回/週

納会 : 1学期ごと3回/年

試合 : 約10回/年

昇段審査 : 3回/年

1~3級、初段~



平成28年度二学期の納会終了後の写真です。

納会は小学生が対象で、初心者の部、低学年の部、高学年の部の三部に別れ、それぞれに1学期間の稽古の成果を競い合いました。どの子も寒さに負けずに力を出し合い、頑張りました。

豊田南部少年剣道クラブスポーツ少年団

加盟人数 30名

代表者 後藤 寛典

創立年 昭和51年5月

【変遷】

増田、斎藤両氏が豊田南小学校体育館で指導を開始、のちに青城小学校体育館に活動の拠点を移した。今年度（H30）で創部42年目となる。

現在は歴代館長も五代目となり、当道場の卒業生であるOB・OGが中心に小中学生の指導に当たっている。



【活動状況】

敬愛の精神に基づき、幼稚園の年長から中学生まで毎週火・金曜日に青城小学校体育館で稽古に励んでいます。

子供たちは厳しい先生方の指導の元、真剣に練習に取り組んでいます。練習時間が短いため基本練習を主に合理的な練習に取り組んでいます。結果として様々な大会でも入賞を果たしています。

現在は、県内で行われる錬成会などに数多く参加して生徒たちのレベルアップに努めています。

また、広く門戸を開いていますので、他道場からの出稽古にくる小学生、中学生、高校生、大学生、一般の多くの剣士たちを受け入れています。

【優秀選手の紹介】

過去に多くの優秀な選手を輩出していますが、最高戦歴を残した選手と過去5年間の優秀選手たちを紹介致します。

太田泰代さん

- ・3年連続全日本女子剣道選手権出場

三井佑夏さん

- ・中体連東海大会個人 5位 (H26)
- ・高体連県大会団体 2位 (H29)

後藤朋香さん

- ・中体連県大会団体 優勝 (H27・28)
- ・中体連東海大会団体 優勝 (H28)
- ・高体連東海大会団体 2位 (H30)

後藤湊太さん

- ・中体連県大会団体 3位 (H29・30)
- ・中体連東海大会団体 2位 (H30)

【今後の目標】

私たちは結果より過程を大切にしています。いつか子供達が見つけた目標や夢の途中、苦労や挫折を感じた時に当道場ですごした時間、経験が子供達の「壁を越える力」になってくれることを望んでいます。



夏の全国大会（日本武道館）



試合前の円陣

福田剣道スポーツ少年団

加盟人数 10名

代表者 寺下 信幸

創立年 昭和34年

【組織】

昭和34年に福田剣友会少年部として発足、昭和44年に日本スポーツ少年団に加盟。

小学生、中学生、高校生、一般と、共に楽しく日々稽古に精進している。

全国大会、県主要大会に於いても、入賞の実績あり。

団長 寺下信幸

副団長 伊藤貴夫

副団長 寺下善彦

寺田廣之 教士7段

伊東孝悦 教士7段

橋本昌行 教士7段

内山 覚 錬士6段

寺下信幸 6段

伊藤貴夫 5段

寺井益久 5段

寺下善彦 2段

【現在の活動状況】

剣道を通じて、礼儀作法、言葉使い、人を思いやる事を学んでいる。

福田中学校 格技場にて、
月曜日 水曜日 金曜日
19時15分～21時まで

土曜日 日曜日、大会等の参加あり。

夏季合宿 クリスマス会 新年稽古会 初日の出
豆まき 他団体との交流 6年生を送る会等。

※防具、剣道着、袴の貸し出しをしています。

県代表として全国大会、東海大会等、多数輩出している。

子供達には、礼儀作法 言葉使い 仲間を思いやる気持ちを育てていき、剣道の楽しさを知ってもらい、長く続けるよう指導している。

豊田柔道スポーツ少年団

加盟人数 20名(平成30年度登録人数)
代表者 鈴木 敏幸
創立年 昭和48年 豊田町柔道
スポーツ少年団として設立

【団紹介】

- ◇ 活動日 火曜日・金曜日
 - ◇ 活動時間 19:00~21:00
 - ◇ 活動場所 豊田南中学校格技場
 - ◇ 運営費 2,000円/月
 - ※ 日曜日等に大会の参加あり。
 - ※ 練習以外にも各種行事あります。
- 団の運営は父母会役員を中心に活動を行なっています。

【練習】

団員の上級生が中心となり、下級生の面倒を見ながら、練習を進めています。

卒団後、中学、高校、一般となっても、練習に参加したり、子供たちの指導をしてくれる卒団生がいっぱいいます。



練習風景(みんな一生懸命稽古に励んでいます。)



練習前後は、きちんと座礼を行なう。

【基本方針】

『礼儀正しく、仲間を大切にして、何にでも思いつき頑張れる子』を目標に稽古に励んでいます。

我々、豊田柔道スポーツ少年団の基本方針として、第一優先の目的は、稽古を通して、子供たちの心身の健康を向上させること。ただ柔道の試合に勝つことが目的ではなく、柔道や運動等の得意な子・不得意な子もそれぞれの良いところを伸ばすことを心がけ、その過程で基礎体力や精神力の向上をはかることはもちろん、集団活動の中での個人の役割と行動・協力・協調・責任について、また努力の尊さ・礼節について教え向上させることであります。

これからも、日本の武道としての柔道の心を、多くの子供たちに伝えていきたいと思えます。

【団員募集】

随時 小学1年生~6年生
(幼稚園~大人まで可)

見学、入団を希望される方、興味のある方は練習日に直接、お越しください。

加盟人数 女子49名(幼児~中学生)

代表者 上田 陽子

創立年 平成18年10月1日

いわた体操クラブ

【組織】

平成18年10月に、「いわた体操クラブ」が、磐田の地に発足いたしました。当時は器械体操と新体操の活動を行っていましたが、平成28年1月より名称はそのままに、女子新体操の活動のみになりました。

活動理念は、発足当時と変わらずスポーツ活動を通して子ども達の運動能力向上、及び健全育成を目的とし、多くの人に自らの身体を動かすことの楽しさを体験、経験してもらいたいと考えています。

指導者 望月京子
大石都萌

【現在の活動状況】

オリンピック競技でもある『新体操』ですが、私達のクラブでは、そのスポーツの入り口となる部分、誰でも楽しめる『新体操』を多くの方に知っていただき、子どものころから自分の身体を動かすことの楽しさ、体力向上を目標に活動しています。

新体操ではリボン、ボール、フープ、ロープの道具を使いますが、それらを使い、練習の中ですべての運動の基本となる、柔軟性、リズム感、表現力を培っています。

4月から基本練習と同時に演技の作品制作にも取り掛かり、3月のクラブ発表会での演技披露を目標に、みんなで力を合わせて練習しています。



加盟人数 39人
代表者 松下 孝
創立年 昭和55年

竜洋西卓球スポーツ少年団

1980年に創立し、今年で38年目になります。

代表（団長）：松 下 孝

団 組 織：コーチ陣 9名、団員/小学生39名

練 習 場 所：竜洋西小学校 体育館

練 習 時 間：毎週土曜日18時30分～20時00分
(20時00分から21時00分迄は自由練習。中・高生や一般の人達も来ます)

「竜洋西卓球スポーツ少年団」は竜洋地区内の小学生達で構成され、十数年前は100名程の団員がいましたが、子供の数が少なくなったと同時に、子供達のスポーツ離れ等で、近年は40名程度の団員数で推移しています。

団の運営方針は、以下の三つの目標をもって活動をしています。

- (1) 色いろなスポーツを行う事が出来るような基礎体力を付けて、スポーツは楽しいと感じさせる。
- (2) 団体行動や基礎的なマナーを、日常の練習の中で身に付ける。
- (3) 卓球技術の向上を図る。

コーチ陣は、学生時代に卓球経験がある人や当スポーツ少年団の出身者などが当たるので、コーチの皆さんは青少年スポーツ活動に関心を持ち、地域に於ける生涯スポーツを考えている人達です。

代表者（団長；松下）としての考え

私は学生時代柔道をやってきて、スポーツの持つ意義・効用は十分解っています。

そして、縁あって「竜洋卓球スポ少」の運営に携わって以来、36年程になり、千人を超える子供達と関わって来ましたが、その経験から近年の子供達の運動機能の衰えやスポーツ離れ等、危機感を覚える程です。

“スポーツ”の持つ力として、体力の向上や忍耐力の鍛練等が挙げられますが、近年はコミュニティ作りや高齢化対策の手段としても重要視されていますが、“スポーツ”に親しむのは、子供時代に如かずと考え、故に「スポ少」活動が重要と考えます。

豊田町卓球スポーツ少年団

加盟人数 20人

代表者 水谷 信雄

創立年 平成6年4月1日

- ・対象 小学生～中学生
- ・年間行事 主に県内外の卓球の試合
ボーリング大会
クリスマス会 等
- ・練習場所 ラリーナ又は、他近隣の体育館
- ・練習日 毎週 水・木・金曜日
- ・練習時間 19:30～21:30

【団の紹介及び活動内容】

当団の卒団生に2016年リオデジャネイロオリンピックで卓球競技個人種目日本人初の銅メダル、団体銀メダルを獲得した水谷隼選手、そして同じく最年少団体銅メダリストの伊藤美誠選手を始め、全国大会で活躍する選手を多数輩出しています。

今年で発足25年、かぶと塚公園内に待望の卓球専用施設ラリーナが4月にオープンし、毎週 水・木・金曜日にはこの新しい施設で、中学生10名、小学生10名が練習を行っています。

日々の練習ですが、準備運動、ランニング、ラダー縄跳びの後、ボールを打ち始めます。

練習は、多球によるフォアハンドの基本技術の習得に始まりフットワーク、飛びつき、上級になるに連れ、1球を集中してラリーをしています。そして最後に必ず試合というのが主な練習の流れです。

また、発足当時から、この団を支えてくれています植松コーチは、常に心・技・体・知・の重要性を幼少期の隼選手や美誠選手の当時を交えて子供達に判りやすく伝えてくれています。

そして、卒団生のOB父兄や卒団生がコーチとなり後輩達の指導をしてくれています。

団の運営については、父母会のもと父兄のご理解とご協力により球拾い、練習場の確保、用具の運搬等の子供達のサポートをお願いしています。

今後の目標ですが、やはり全日本選手権で活躍出来る選手を育てる事、卓球を生涯スポーツとして継続していく選手を多く育てる事です。

子供達の目標である、「夢に向かって」これからも感謝の気持ちを忘れず多くの子供達に、卓球の楽しさを伝えていきたいと思えます。



伊藤美誠選手と水谷隼選手



平成30年3月度の団員及び指導者

加盟人数 46人
代表者 芥川 倫子
創立年 平成11年

龍池舎（リュウチシャ）

【組織】

わが龍池舎は、小学生のドッジボールチームです。これまでの活動でOBが110名います。

龍池舎の名前は、明治時代の初頭に磐田市池田地区に実在した「小学校」の名前にあやかっています。現在の豊田南小学校の前身の「西之島学校」の分校として建てられた学校です。われわれは「龍池舎」という名前を、先人の英知と偉業に敬意を表し、また「地域子どもたちは地域で育てる」という熱い思い・願いを込めて名付けました。

今後もドッジボールを通じて、子ども達の自主性を伸ばし、地域への愛着を持てるように保護者の方達と一緒に「子ども達を地域の中で育てていきたい」という理念で活動していきます。

指導者は全員がボランティアで指導しています。

選手は、豊田北部小を中心に、豊田東小、豊田南小、青城小、竜洋東小、福田小から参加しています。磐田市内の小学生ならば、ドッジボールが好きであれば、学校は問いません。

これまでの主な成績

- ・キッズ部門（小2以下）、ジュニア部門（小1～4）は、数々の県内の大会で優勝及び入賞。
- ・オフィシャル部門（小3～6）
第28回全日本ドッジボール選手権 全国大会出場
（平成30年8月12日開催）

【現在の活動状況】

ドッジボールは誰もが小学校の休み時間などで経験しており、非常にお手軽な感じですが、やってみるとなかなか奥の深いスポーツです。試合時間は5分。その中での一進一退は見ている側も熱中してしまいます。

わがチームでは、男の子も女の子と一緒にプレイをしています。チーム内には運動神経のいい選手ばかりではありません。まったくボールの投げられない子もボールを怖がる選手もいますが、できるだけ子どもたちに寄り添い、自信がつくように指導を心がけています。チームプレイのため、誰もが必ずチームの力になることができる良さがドッジボールにはあります。

毎週水・金曜日に豊田中学校の体育館で練習、練習以外にも運動会や節分などのイベントも行い、一体感を作っています。

入部前にお試し期間を設け、チームの雰囲気等に慣れてからの入部をお願いしています。また保護者会はありません。

スポーツチームなので強くなること、つまり試合で勝つための指導をしています。それ以上に小学校（スポーツ少年団）を卒業以降も、見本となる人材になれるように指導をしています。

強いだけのチームではなく、常に心技体がそろい、誰からも憧れられるチーム作りを目指しています。



加盟人数 10人

代表者 山下 安範

創立年 平成17年4月1日

テニス（硬式）スポーツ少年団

種目 テニス ドッジボール他 軽スポーツ
対象学年 小学1年生～中学3年生
活動場所 竜洋B&G海洋公園内
竜洋リバーサイドテニスコート

【練習風景】

挨拶のあと、練習の開始は縄跳びでウォーミングアップです。体を温めて怪我のないように準備します。各種目の練習、回数を飛べるようにそれぞれの力に合わせて努力しています。テニスでは基本練習を中心にボールをしっかり見てラケットにしっかり当てることを心掛けています。フォアハンド、バックハンド、ボレー、スマッシュ、サービスと個人差はありますが、確実に上達できています。練習の後半では、サッカー、長縄とび、ドッジボール、インディアカなど児童が仲間と協力することを学ぶ場として取り組んでいます。

中学生のソフトテニスでの参加もみられます。小学生からの継続で昨年平成29年度は、磐周大会に優勝して県大会で活躍しました。

【指導者資格 他】

日本テニス協会公認指導員

日本スポーツ協会公認ジュニアスポーツ指導員

日本スポーツ協会公認スポーツ少年団認定育成員、
体力測定員、障がい者スポーツ協会公認初級指導員、
日本テニス協会公認B級審判員、公認B級レフェリー、
公認B級チーフアンパイア

静岡県テニス協会審判委員長

【組織と活動の背景】

平成17年4月にスタートした活動も15年目を迎えました。県西部地区唯一のテニス少年団（県内4）も発足当時のテーマを継続しつつ楽しく活動しています。少子化の波には勝てませんが、世界レベルの錦織 圭選手（世界ランク28位）大坂 なおみ選手（世界ランク18位）などの活躍により参加児童が少しでも増加するよう活動していきたいと思えます。

近年パラリンピックも注目されているように車いすテニスを経験したいという声もあり車いすの児童も健常者と一緒に楽しむことができます。底辺の拡大に少しでも貢献できればと考えています。

（ランキングは平成30年7月10日現在）



テーマは「みんなで遊ぼう」です。

団の目標に以下の3つを掲げ、児童、生徒の健全育成に取り組んでいます。

- 1 あいさつのできる子
- 2 やくそくを守る子
（ルールを守る子）
- 3 がまんのできる子
（団体行動のできる子）

加盟人数 大人3名、小学生13名

代表者 近藤 泰典

創立年 平成24年8月

磐田ソフトボールクラブ

【組織】

磐田市東部地区およびその周辺地域の小学生1～6年生と指導者にて構成されています。

平成24年8月に、御厨子ども会ソフトボール、南みくりソフトボールクラブのメンバーを中心に、本クラブを結成し活動を開始しました。

小学生1～6年生の選手全員が学年の枠を越えて仲がよいチームです。

“楽しく真剣に”をモットーに、小学生たちの思い出に残る活動を目指しています。

最近では、浜松市の約50チーム参加の大会で連続優勝など、結果も伴うようになってきており、活動にも活気が出てきています。

【現在の活動状況】

基本的に毎週土日祝日の午前練習と午後合同自主練習と月2回程度の大会参加を行っています。その他、食事会や遠征合宿などの交流活動も行っています。

ソフトボールは、野球と似たスポーツですが、塁間が短いことなどから、よりスピード感があり、プレーひとつずつの正確性が求められるスポーツで、そこがまたソフトボールの面白さでもあります。プロ野球選手でも、ソフトボール出身の選手も多く存在します。

静岡県西部小学生ソフトボール支援連盟、静岡県小学生ソフトボール育成会の主催大会を中心に、年間15～20の大会に出場しています。

今年は、上級生の少ない構成となり、一回戦突破がやっとというところですが、毎週の練習や試合など、チーム全体で楽しんで活動しています。

その他、本チームの主催にて、ソフトボール教室、磐田秋季・春季大会の開催など、地域ソフトボールの活性化と青少年健全育成にも貢献できたらと考えています。



MARIO FUTSAL SCHOOL/ SANTOS FC SOCCER ACADEMY JAPAN IWATA

加盟人数

代表者

創立年

安光 マリオ(Yasumitsu Mario)

平成12年12月 MARIO FUTSAL SCHOOL

平成21年2月 SANTOS FC SOCCER ACADEMY JAPAN

ブラジルと日本の交流、フットサル、サッカーを通して、仲間、人を思いやる心のこと、仲良くなること。3歳からカテゴリーに分かれて活動しています。

人間のことを一番大事に、そこからフットサル、サッカーをやる楽しみ、面白さ、を学び、みんなで活動しています。

【活動内容】

MARIO FUTSAL SCHOOL

磐田総合体育館 2階小体育場

3歳から各カテゴリーで。

毎週月、金曜日

SANTOS FC SOCCER ACADEMY JAPAN

豊田天竜川第7グラウンド他

5歳から各カテゴリーで。

毎週土曜日 13:00~

スクールで各大会等にも参加しています。

MARIO FUTSAL SCHOOL U-18

(2012年度全日本U18フットサル選手権大会
全国大会出場)

MARIO FUTSAL SCHOOL U-15

MARIO FUTSAL SCHOOL U-12

(2016年度バーモンドカップ第26回全日本少年
フットサル大会 全国大会出場)

MARIO FUTSAL SCHOOL U-11、U-10、
U-9、U-8、U-7 U-6

SANTOS FC SOCCER ACADEMY JAPAN

ブラジルのクラブ「SANTOS FC」公認日本支部の
サッカーアカデミーのチーム。



特定非営利活動法人 磐田タグラグビークラブ

加盟人数
代表者年
創立年

55人(平成30年8月現在)
木船 英雄
平成26年磐田タグラグビース
ポーツ少年団として発足平成28
年「特定非営利活動法人」格取得

【組織】

組織の概要

磐田市立富士見小学校の課外活動中止に伴い、タグラグビー活動を継続するためにスポーツ少年団として活動を開始した。その後タグラグビーの楽しさを広く伝えるため、法人格を取得し、富士見小学校に限らず団員を募集。現在まで田原小、向笠小、磐田南小、磐田西小、豊岡南小、広沢小、曳馬小から参加者が集まり活動をしてきた。

組織の紹介

法人としての社員は15名です。いずれもタグラグビーの普及に意欲を持つ現職・退職教員、保護者で構成しています。団員は小学校1年生から6年生までの男女が元気に活動をしています。

組織のねらい

タグラグビーの技術力向上を目指すとともに、

- ・生涯にわたり運動を楽しむ態度作り
- ・基本的な生活習慣の徹底
- ・コミュニケーション能力を高める
- ・感謝の気持ちと奉仕の心の育成
- ・学区を越えた仲間づくり

等に寄与することを目的としています。

これらを実践、実現するために、子供たちの合言葉は、『日本一の小学生』です。

役員・指導者の紹介

理事長	木船 英雄
副理事長	松下 悟(監督)
理事	八木 聖二(コーチ)
理事	寺田 龍太郎(コーチ)
理事	伊藤 友佑(コーチ)
理事	中西 真弓
監事	水野 千とせ
監事	藤田 友美
コーチ	弘中 良和
コーチ	袴田 博秋
コーチ	乗松 繁好
コーチ	平田 隼也
コーチ	星井 幸二郎
コーチ	塚原 隆弘
コーチ	梅田 泰宜

【現在の活動状況】

タグラグビーの魅力

タックルの代わりに腰につけたタグをとる、キックはしない以外はほとんどラグビーと同じ。ボールを抱えて前に走るという分かりやすいスポーツです。身体接触がなく安全であり、男女関係なく同じピッチで競技できます。パスは後ろにしかできないため、バスケットボールやサッカーのように上手な子だけが前でプレーしてしまうことが少なく、どの子にもボールを持ちプレーするチャンスがめぐってきます。コートも30m×40mと小さく体育館内でもできます。そこで、小学校学習指導要領にも紹介され、各学校において取り組みが広がっています。

活動状況

毎週金曜日(体育館)、土曜日・日曜日(グラウンド)を練習日と設定しています。

あいさつ、Haka、ランニング(7分間)、体操、体幹トレーニング、ハンドリング、パス練習、実戦練習というメニューです。練習前に高学年と低学年でのペアをつくり、練習中互いに注目し合い練習後にそれぞれのよかった点を伝え合っています。これ

は、ラグビーの精神的なであるONE FOR ALL, ALL FOR ONE.の実践とコミュニケーション能力の向上を図ることをねらいとしています。

定期的に練習会場を近隣小学校に変え、タグラグビーの紹介、体験会を実施。グラウンドの草取り、砂入れ、水まき等感謝の気持ちをもち取り組んでいます。

交流会は各地で行われ、神奈川県、東京都、愛知県、滋賀県等、年間4～5回の遠征を実施、8月是他県からチームを招待し1泊2日のサマーキャンプを実施し、技術力の向上を図るとともに各地の友人との親睦を深めています。

戦績

タグラグビー界では、唯一地方大会から全国大会につながる「サントリーカップ全国小学生タグラグビー選手権大会」を最大の目標としています。ここでは県大会優勝の1校が県代表として東海ブロック大会に出場する。東海ブロック大会上位2チームが全国大会に出場します。全国大会は全国各ブロック代表24チームにて行われています。発足以来の戦績は、

平成26年度 県大会優勝
東海ブロック大会第2位
全国大会第11位

平成27年度 県大会準優勝

平成28年度 県大会優勝
東海ブロック大会優勝
全国大会第3位

平成29年度 県大会優勝
東海ブロック大会優勝
全国大会第9位
(プレートトーナメント優勝)

と、ここまで安定した結果を残してきました。

今後の目標、展望

タグラグビーのさらなる普及を

現在、大会選手権大会に参加する団体は、県西部地区では磐田市に2団体、浜松市に2団体と少ないのが現状です。学校体育での取扱いも一時の盛り上がりには比べれば停滞しています。各学校での指導者の理解と意欲によるところが大きいのです。私たちが各校をまわり、体験会を開くことで、より多くの子供たちに関心を持ってもらうことが必要となります。

団員確保

サッカー、野球、バスケットボール等他のスポーツクラブに所属している子供がほとんどです。タグラグビーに目を向けてもらうには、今後さらなる努力が必要となります。

県全体のタグラグビー競技力向上

現行のタグラグビーチームとの交流、切磋琢磨の機会を増やし、県全体のタグラグビー競技力向上を図っていきます。

レフェリング力の向上

子供たちのレベルアップに伴い、近年のタグラグビーのゲームはスピードアップが図られています。そこにマッチしたレフェリーの育成も必須となります。県ラグビー協会との連携を高めて、その機会を増やしたいと考えます。



みんなでHaka

第4章 体育賞に輝いた方々

平成21年度 体育賞に輝いた方々

	推薦団体	氏名（団体名）
功 労 者 賞	磐田市テニス協会	中山 守
	豊岡地区	川合基之
		深田清次
	福田地区	新味義弘
太田英裁		

	推薦団体	氏名（団体名）
優 秀 指 導 者 賞	磐田市バレーボール協会	松井文孝
		市村 智
	見付北クラブスポーツ賞年団	竹下良道
	福田地区	栗田正孝

	推薦団体	氏名（団体名）
優 秀 選 手 賞	磐田市陸上競技協会	平松巧至
		青島綾子
		加藤由記
		鈴木詩織
		高木桃子
		白澤領亮
		中村真悠子
		栗田晃任
		清川将貴
	磐田市テニス協会	中村彩乃
		夏目脩平
	NPO 法人磐田剣道連盟	吉永有里
		中山亮介
	磐田市水泳協会	金田有加
	磐田市アーチェリー協会	小笠原琢磨

	推薦団体	氏名（団体名）
奨 励 賞	磐田市テニス協会	長谷川 新
		高田晴暉
		新村優理子
	磐田卓球協会	伊藤美誠
	磐田市相撲連盟	太田雅章
磐田市ラグビーフットボール協会	磐田市立東部小学校タグラグビー部	



平成22年度 体育賞に輝いた方々

	推薦団体	氏名（団体名）
功 労 者 賞	磐田市陸上競技協会	寺田明夫
		柳下泰子
	県野球連盟福田支部	鈴木秀治
	豊岡地区	古川栄一
	磐田スモールキング野球スポーツ少年団	鈴木俊夫
	中泉クラブ少年野球スポーツ少年団	寺田成吉
	豊田町卓球スポーツ少年団	植松賢治

	推薦団体	氏名（団体名）
優 秀 指 導 者 賞	磐田市バレーボール協会	市川良一
		佐藤広海
	向笠地区自治会連合会	磯部義弘

	推薦団体	氏名（団体名）
優 秀 選 手 賞	磐田市陸上競技協会	鈴木綾乃
		古橋弘章
	磐田市テニス協会	夏目脩平
		乗松夏希
		金田有加
		熊谷 遥
		清水良祐
磐田市アーチェリー協会	小笠原琢磨	

	推薦団体	氏名（団体名）
奨 励 賞	磐田市陸上競技協会	鈴木海景
		磐田市立竜洋中学校女子4×100mRチーム
	磐田市テニス協会	三浦明仁
	磐田市ラグビーフットボール協会	磐田市立東部小学校タグラグビー部
	磐田市アマチュアボクシング協会	川井勇利
	磐田剣道連盟	磐田市立豊岡中学校剣道部女子
	豊田町卓球スポーツ少年団	伊藤美誠
桑原穂実		

	推薦団体	氏名（団体名）
特 別 賞	磐田市水泳協会	小池和也
	豊田合気道クラブ	豊田合気道クラブファミリーチーム

平成23年度 体育賞に輝いた方々

	推薦団体	氏名（団体名）
功 労 者 賞	磐田市陸上競技協会	佐川正治
		内藤正之
		雪嶋省五
	磐田市空手道連盟	永見基全
	磐田市ソフトボール協会	鈴木正良
		寺澤好雄
	磐田市ゲートボール協会	大島敏男
福田地区	相場良造	
豊岡地区	緩鹿秀夫	
	稲葉昌美	

	推薦団体	氏名（団体名）
優 秀 選 手 賞	磐田市陸上競技協会	鈴木綾乃
		鈴木海景
		名倉彩夏
	磐田卓球協会	水谷茉央
	磐田市水泳協会	浅山美貴
		金子晴香
金田有加		

	推薦団体	氏名（団体名）
奨 励 賞	磐田市陸上競技協会	後藤和嗣
		末次里穂
		高橋拓也
	磐田卓球協会	桑原穂実
	磐田市テニス協会	関塚若菜
		馬淵航太
	磐田市ソフトテニス協会	磐田市立豊田南中学校ソフトテニス部
		鳥居華央
		和泉萌花
	磐田市アーチェリー協会	小笠原奨悟
磐田市ラグビーフットボール協会	磐田市立東部小学校タグラグビー部	
豊田合気道クラブ	神村怜衣	

	推薦団体	氏名（団体名）
特 別 賞	磐田卓球協会	内山 毅
		伊藤美誠



平成24年度 体育賞に輝いた方々

	推薦団体	氏名（団体名）
功 労 者 賞	磐田市体育協会	小出幸雄
	磐田市陸上競技協会	大庭安一
	磐田市ソフトボール協会	木俣周吉
	磐田市水泳協会	川島文雄
	福田地区	大庭常道
	豊田地区	佐藤康夫
	豊岡地区	氏原勝美

	推薦団体	氏名（団体名）
優 秀 選 手 賞	磐田市陸上競技協会	名倉彩夏
		鈴木海景
		杉浦はる香
		鈴木綾乃
		青島綾子
		中村真悠子
		寺田慧
		鈴木義啓
	磐田市テニス協会	松島美智留
	磐田市水泳協会	静岡県立磐田農業高等学校女子リレーチーム
		古賀ビアンカ・ヒトミ
		金子晴香
		浅山美貴

	推薦団体	氏名（団体名）
奨 励 賞	磐田市陸上競技協会	太田明里
	磐田市アーチェリー協会	小笠原奨悟
	磐田市ラグビーフットボール協会	磐田市立東部小学校タグラグビー部
	磐田市ボクシング協会	川井道夢
	磐田市テニス協会	関塚若菜
		三浦明仁
	磐田市ソフトテニス協会	栗野翔真
		大谷樹生
磐田卓球協会	伊藤美誠	
	豊田町卓球スポーツ少年団	

	推薦団体	氏名（団体名）
特 別 賞	磐田市ゲートボール協会	松島松枝

平成25年度 体育賞に輝いた方々

	推薦団体	氏名（団体名）
功 労 者 賞	豊岡地区	河村 剛
	磐田市陸上競技協会	大石成志
	磐田市ソフトボール協会	松家伸和

	推薦団体	氏名（団体名）
優 秀 選 手 賞	磐田市陸上競技協会	新野紀代美
	磐田市陸上競技協会	名倉彩夏
	磐田市陸上競技協会	杉浦はる香
	磐田市陸上競技協会	加藤修也
	磐田市空手道連盟	田中斗暉也
	磐田市水泳協会	浅山美貴
	磐田市水泳協会	市川大智

	推薦団体	氏名（団体名）
奨 励 賞	磐田市ソフトテニス協会	和泉萌花
		烏居華央
	磐田市ソフトテニス協会	渡辺大凱
		内藤慎思
	磐田市ボクシング協会	川井道夢
磐田市ラグビーフットボール協会	磐田市立東部小学校タグラグビー部	



平成26年度 体育賞に輝いた方々

	推薦団体	氏名（団体名）
功 労 者 賞	磐田市ソフトテニス協会	藤澤俊夫
	磐田弓道協会	石井日出雄
	磐田市ソフトボール協会	永井光男
	磐田市ソフトボール協会	白井達己
	豊岡地区剣道部会	春田昌恵
	磐田市陸上競技協会	鈴木 博

	推薦団体	氏名（団体名）
優 秀 指 導 賞	豊岡地区剣道部会	大隅啓進
	磐田市陸上競技協会	松本寿夫

	推薦団体	氏名（団体名）
優 秀 選 手 賞	磐田市水泳協会	静岡県立磐田農業高等学校水泳部男子チーム
	磐田市水泳協会	静岡県立磐田農業高等学校男子 400mメドレーリレーチーム
	磐田市水泳協会	静岡県立磐田農業高等学校水泳部男子 800mリレーチーム
	磐田市水泳協会	市川大智
	磐田市水泳協会	矢持京之
	磐田市水泳協会	鈴木達大
	磐田市水泳協会	野沢佑紀
	磐田市水泳協会	戸崎 祐
	磐田市陸上競技協会	中西大輔
	磐田市陸上競技協会	新野紀代美
	磐田市陸上競技協会	熊岡寛訓
	磐田市陸上競技協会	後藤和嗣
	磐田市陸上競技協会	中村真悠子
	磐田市陸上競技協会	名倉彩夏

	推薦団体	氏名（団体名）
奨 励 賞	磐田市ラグビーフットボール協会	磐田市立東部小学校タグラグビー部
	磐田市陸上競技協会	國松 士

	推薦団体	氏名（団体名）
特 別 賞	磐田市陸上競技協会	加藤修也
	磐田市陸上競技協会	杉浦はる香
	磐田卓球協会	伊藤美誠

平成27年度 体育賞に輝いた方々

	推薦団体	氏名（団体名）
功 労 者 賞	磐田バスケットボール協会	榎本行宏
	磐田市テニス協会	大石博之

	推薦団体	氏名（団体名）
優 秀 指 導 者 賞	磐田市バレーボール協会	吉岡伊作

	推薦団体	氏名（団体名）
優 秀 選 手 賞	磐田市アーチェリー協会	小笠原奨悟
	磐田市水泳協会	静岡県選抜少年男子水球チーム
	磐田市水泳協会	静岡県立磐田農業高等学校男子400mメドレーリレーチーム
	磐田市水泳協会	戸崎 祐
	磐田市水泳協会	鈴木達大
	磐田市水泳協会	菊地愉友
	磐田市水泳協会	松浦可苗
	磐田市陸上競技協会	佐原幸奈
	磐田市陸上競技協会	長谷川勇次
磐田市陸上競技協会	長崎飛袈菜	

	推薦団体	氏名（団体名）
奨 励 賞	磐田市水泳協会	宇田翔貴
	磐田市水泳協会	岩井瞭
	磐田市水泳協会	内田嵐
	磐田市水泳協会	加藤愛夏
	磐田市テニス協会	馬淵麻実
	磐田市ラグビーフットボール協会	木船英雄（団長）
	磐田市陸上競技協会	平野智也

	推薦団体	氏名（団体名）
特 別 賞	磐田市陸上競技協会	中村真悠子



平成28年度 体育賞に輝いた方々

	推薦団体	氏名(団体名)
功 勞 賞	磐田弓道協会	伊藤英男
	磐田市ソフトボール協会	青島一憲

	推薦団体	氏名(団体名)
優 秀 選 手 賞	磐田市陸上競技協会	小野田拓
	磐田市陸上競技協会	佐原幸奈
	磐田市陸上競技協会	鈴木健太郎
	磐田市陸上競技協会	鈴木麻名実
	磐田市陸上競技協会	中谷桐子
	磐田市陸上競技協会	長崎飛袈菜
	磐田市陸上競技協会	本多慶紀
	磐田市陸上競技協会	静岡県立磐田農業高等学校男子4×400mリレーチーム
	磐田市陸上競技協会	大場廉
	磐田市陸上競技協会	本多慶紀
	磐田市陸上競技協会	太田龍生
	磐田市陸上競技協会	満山ケビン
	磐田市水泳協会	戸崎祐
	磐田市水泳協会	菊地愉友
	磐田市水泳協会	松浦可苗
	磐田市陸上競技協会	熊岡寛訓
	磐田市アーチェリー協会	小笠原奨悟
	磐田剣道連盟	杉本順子
磐田剣道連盟	田中将士	

	推薦団体	氏名(団体名)
奨 励 賞	磐田市陸上競技協会	大滝佐和
	磐田市陸上競技協会	鈴木創士
	磐田市陸上競技協会	鈴木創太
	磐田市陸上競技協会	平野智也
	磐田市水泳協会	新井はる佳
	磐田市水泳協会	樋口朋花
	磐田市水泳協会	松本珠梨
	磐田市水泳協会	PISCINA静岡Aチーム(小学生選抜男子水球チーム)
	磐田市ソフトテニス協会	後藤菖
	磐田市ソフトテニス協会	酒井菜穂
	磐田市アーチェリー協会	小林万里子
	磐田剣道連盟	松下夏生
	磐田剣道連盟	磐田市立第一中学校女子剣道部
	磐田市ラグビーフットボール協会	磐田市立東部小学校タグラグビー部
	磐田市ソフトテニス協会	小笠原鳳太
	磐田市ソフトテニス協会	小島大輝

平成29年度 体育賞に輝いた方々

	推薦団体	氏名（団体名）
功勞者賞	磐田市バレーボール協会	佐藤広海
	磐田市テニス協会	品川幸夫

	推薦団体	氏名（団体名）
優秀指導者賞	磐田市バレーボール協会	小鷹茂登司
	磐田市テニス協会	栗田紀二

	推薦団体	氏名（団体名）
優秀選手賞	磐田市アーチェリー協会	小笠原奨悟
	磐田剣道連盟	女子剣道部
	磐田市陸上競技協会	小野田拓
	磐田市陸上競技協会	長崎飛袈菜
	磐田市陸上競技協会	伊藤利奈
	磐田市陸上競技協会	金原奈津実
	磐田市陸上競技協会	鈴木優花
	磐田市水泳協会	鈴木創
	磐田市水泳協会	菊地愉友
	磐田市水泳協会	松浦可苗
	磐田市水泳協会	静岡県立磐田農業高等学校400mメドレーリレーチーム

	推薦団体	氏名（団体名）
奨励賞	磐田市ソフトテニス協会	小笠原鳳太
	磐田市ソフトテニス協会	小島大輝
	磐田市陸上競技協会	平野智也
	磐田市陸上競技協会	鈴木優花
	磐田市陸上競技協会	磐田市立神明中学校男子低学年4×100mリレーチーム
	磐田市水泳協会	松本珠梨
	磐田市水泳協会	長井翔汰
	磐田市水泳協会	袴田有美
	磐田市水泳協会	静岡県選抜少年男子水球チーム（PISCINA静岡）A区分（12歳以下）
	磐田市ラグビーフットボール協会	磐田タグラグビークラブ

	推薦団体	氏名（団体名）
特別賞	磐田市陸上競技協会	青島綾子



創立60周年記念特別表彰に輝いた方々



特別功労賞

大場基好 様

平成3年以来平成13年までの永木にわたり、会長を補佐し、当会発展のためにご尽力されました。

尾高利男 様

平成7年以来平成16年までの永木にわたり、副理事長、理事長を歴任され、当会発展のためにご尽力されました。



感謝状

磐田信用金庫 様

永年にわたり当会への賛助及びジュビロ磐田メモリアルマラソンへのご協賛並びに人的ご支援などその功績は多大であります。

ヤマハ発動機株式会社 様

永年にわたり当会への賛助及びジュビロ磐田メモリアルマラソンへのご協賛などその功績は多大であります。

株式会社ヤマハフットボールクラブ 様

永年にわたりジュビロ磐田メモリアルマラソンへのご協賛、並びにご支援、ご協力などその功績は多大であります。



スポーツ大賞

新野正仁 様

2008年の北京パラリンピックに出場されたほか国内でのマラソンにおいても優秀な成績をおさめられるなど、その功績により多くの人々が勇気と希望を与えていただきました。

水谷 隼 様

2008年の北京オリンピックに出場されたほか、全日本卓球選手権大会四連覇を成し遂げられるなど、その功績により多くの人々が勇気と希望を与えていただきました。

編集後記

NPO法人磐田市体育協会が、創立70周年の節目の年を迎え、記念誌を発行できましたことにお礼を申し上げます。

記念誌作成にあたり、主に60周年から70周年の間の出来事を掲載しております。

今年度に入り70周年記念式典と記念誌発行の実行委員会を発足し、刊行の準備を進めてまいりました。度重なる会議の中、原稿の依頼、式典の日程、内容等を協議し難問を乗り越えて本日記念すべき式典を迎え、記念誌を皆様にお届けすることができました。

70周年を新たな歴史の1ページとして、更に10年後の未来に向かって磐田が活性化し発展して行くことを願っています。

最後に当記念誌の編集にあたり、お忙しい中原稿、資料をお寄せいただいた方々、記念誌作成に、ご協力いただいた編集委員に心から感謝を申し上げます。

平成31年2月17日

創立70周年記念誌 編集長 宇藤 栄治



実行委員：寺田 悦 宇藤栄治 小林春男 松井良子 石井日出雄 増田英雄
片倉 正 草地博昭 山下安範 國武春作 山下信好 中嶋英明

創立70周年記念
NPO法人磐田市体育協会 体育史

発行日	平成31年2月17日
発行	NPO法人磐田市体育協会
製作	創立70周年記念実行委員会
印刷／製本	大日堂印刷株式会社

